

21世紀・新しい時代の 健康教育推進学校の実践

—第1集—



21世紀・新しい時代の 健康教育推進学校の実践

— 第 1 集 —

発行にあたって

現在、学校現場では、いじめ、虐待、不登校、性の問題、喫煙・飲酒・薬物乱用や生活習慣病の兆候など多くの健康問題を抱えていることは、ご存知のとおりであります。そして、このような健康問題の解決には、学校内の推進体制の確立のみならず、学校と家庭・地域社会が一体となって取り組む、地域に根ざした健康教育の確立が喫緊の課題であります。

日本学校保健会では、このような観点から、新しい視点での全国的な表彰制度を創設することにより、学校における現代的な健康課題について意欲を持って取り組むインセンティブになるものと考え、また、多くの学校保健会からの強い要望もあり、平成14年度から実施したところであります。

平成14年度は、各都道府県・政令指定都市学校保健会の審査を経て、80校が推薦されました。本会の健康教育推進学校表彰審査委員の先生方に、熱心に選考を重ねていただき、最優秀校3校、優秀校11校、特別奨励校1校、優良校65校が決まり、平成15年2月20日日本医師会館（東京都）で中央表彰式を行ないました。いずれの学校も、それぞれ健康教育や学校保健活動に工夫をこらされ、表彰校にふさわしい成果を挙げておられます。

この表彰事業は、今後とも継続して実施することとしておりますが、単に表彰に止まることなく、表彰校の実践記録集を作成して広く学校保健関係者に配布し、学校保健の進歩向上に役立てたいと考え、このほど最優秀校3校、優秀校11校、特別奨励校1校の実践をまとめ、「21世紀・新しい時代の健康教育推進学校の実践－第1集－」を発行することにいたしました。

現在、学校現場で求められるのは、“健康教育の重要性”であります。本書が多くの学校保健関係者の実践活動に十分活用されることを、心から期待しております。

末尾となりましたが、本書の作成にあたってご尽力いただきました皆様方に、心から感謝申し上げます。

平成15年10月

財団法人 日本学校保健会
会 長 矢 野 亨

目 次

| | |
|--------------------------------|-------------------|
| 発行にあたって | (財)日本学校保健会会長 矢野 亨 |
| 平成14年度 健康教育推進学校表彰実施要項 | 1 |
| 平成14年度 21世紀新しい時代の健康教育推進学校表彰校一覧 | 3 |
| 平成14年度 表彰校の実践記録 | |
| I 最優秀校 | |
| <小学校> | |
| ・ 一戸町立一戸小学校 | 7 |
| ・ 熊本市立城東小学校 | 16 |
| <中学校> | |
| ・ 高崎市立高松中学校 | 24 |
| II 優秀校 | |
| <小学校> | |
| ・ 八戸市立種差小学校 | 33 |
| ・ 高崎市立浜尻小学校 | 42 |
| ・ 北区立王子第二小学校 | 49 |
| ・ 大野市下庄小学校 | 56 |
| ・ 東浦町立藤江小学校 | 64 |
| ・ 白浜町立北富田小学校 | 73 |
| ・ 赤来町立来島小学校 | 80 |
| ・ 小石原村立小石原小学校 | 87 |
| <中学校> | |
| ・ 川口市立小谷場中学校 | 94 |
| ・ 大多喜町立西中学校 | 104 |
| <高等学校> | |
| ・ 熊本県立宇土高等学校 | 114 |
| III 特別奨励校 | |
| <高等学校> | |
| ・ 東京都立九段高等学校 | 123 |

平成14年度健康教育推進学校表彰事業実施要項

1. 趣 旨

学校現場では、いじめ、虐待、不登校、性の問題、喫煙・飲酒・薬物乱用や生活習慣病の兆候など多くの健康課題を抱えている。このような心や体の健康問題は、校内の推進体制の確立のみならず、学校保健委員会を中心とする学校と家庭・地域社会との連携による地域ぐるみの取り組みが必要である。

このような観点から、学校における健康問題を中心として、健康教育の推進に積極的に取り組み、成果を挙げている学校を表彰し、学校保健の充実に寄与する。

2. 主 催

財団法人 日本学校保健会

3. 後 援

文部科学省・厚生労働省・(社)日本医師会・(社)日本学校歯科医会・日本学校薬剤師会・全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国高等学校長協会・全国学校保健主事会・全国養護教諭連絡協議会・(社)日本PTA全国協議会・(社)全国学校栄養士協議会

4. 協 賛

P&G

5. 表彰式の期日及び場所

平成15年2月20日(水) 10:00～ 於 日本医師会館

6. 表彰の対象

国公立の小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校及び養護学校

7. 被表彰候補校の推薦

- (1) 応募する学校は、健康教育推進学校活動状況調査票(別紙様式2, 以下「調査票」という)に健康教育推進活動の要点を記入し、都道府県学校保健(連合)会及び政令指定都市学校保健会に提出する。
- (2) 都道府県学校保健(連合)会及び政令指定都市学校保健会は、次に定める推薦数並びに基準によって被推薦校の推薦を行い、調査票に健康教育推進学校表彰推薦書(別紙様式1)を添えて、日本学校保健会に提出する。

1) 推薦数 都道府県 3校以内（東京都は5校以内） 政令指定都市 2校以内

2) 推薦の基準

保健教育、保健管理及び組織活動を内容とする学校保健（安全）計画が適切に実践され、その中で具体的な健康課題（食に関する指導を含む。）について学校・家庭・地域社会が連携し、解決に向けて成果を挙げている学校。

8. 推薦書等の提出

提出期限は、前年度までの実績により、当該年度の9月末日までとする。この場合、審査の参考にするため、実践例のビデオ等の提出を求めることがある。

9. 審査の方法

各学校保健会から推薦された学校について、学識経験者等による審査会を設けて審査を行い、最優秀校、優秀校、優良校を決定する。

審査は、書類による1次審査、ビデオ等による2次審査及び必要に応じ実地審査による。

10. 表彰の方法

表彰式は、当該年度に開催される学校保健センター事業報告会等において、(財)日本学校保健会会長の表彰状を授与して行う。表彰式に併せて研究発表・シンポジウムを開催するほか、報告書を刊行し、学校保健活動の普及・充実に努める。

平成14年度 21世紀・新しい時代の健康教育推進学校被表彰校一覧

最優秀校

<小学校>

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 |
|-----------|------------------------------------|------------------|
| 一戸町立一戸小学校 | 〒028 - 5312 岩手県二戸郡一戸町一戸字砂森149 - 13 | 0195 - 33 - 2181 |
| 熊本市立城東小学校 | 〒860 - 0001 熊本市千葉城町5 - 1 | 096 - 356 - 0759 |

<中学校>

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 |
|-----------|----------------------------|------------------|
| 高崎市立高松中学校 | 〒370 - 0829 群馬県高崎市高松町5 - 3 | 027 - 322 - 3853 |

優秀校

<小学校>

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 |
|-------------|------------------------------------|------------------|
| 八戸市立種差小学校 | 〒031 - 0841 青森県八戸市鮫町赤コウ55の59 | 0178 - 38 - 2011 |
| 高崎市立浜尻小学校 | 〒370 - 0005 群馬県高崎市浜尻町210 - 1 | 027 - 361 - 7028 |
| 北区立王子第二小学校 | 〒114 - 0022 東京都北区王子本町2 - 2 - 5 | 03 - 3908 - 2460 |
| 大野市下庄小学校 | 〒912 - 0021 福井県大野市中野町2 - 1 - 1 | 0779 - 66 - 2350 |
| 東浦町立藤江小学校 | 〒470 - 2105 愛知県知多郡東浦町藤江仏131 | 0562 - 83 - 3274 |
| 白浜町立北富田小学校 | 〒649 - 2322 和歌山県西牟婁郡白浜町内の川579 | 0739 - 45 - 0425 |
| 赤来町立来島小学校 | 〒690 - 3401 島根県飯石郡赤来町大字野萱1948 | 0854 - 76 - 2342 |
| 小石原村立小石原小学校 | 〒838 - 1601 福岡県朝倉郡小石原村大字小石原868 - 1 | 0946 - 74 - 2002 |

<中学校>

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 |
|------------|-----------------------------|------------------|
| 川口市立小谷場中学校 | 〒333 - 0857 埼玉県川口市大字小谷場1156 | 048 - 267 - 1055 |
| 大多喜町立西中学校 | 〒298 - 0271 千葉県夷隅郡大多喜町中野589 | 0470 - 83 - 0014 |

<高等学校>

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 |
|------------|-------------------------|------------------|
| 熊本県立宇土高等学校 | 〒869 - 0454 熊本県宇土市古城町63 | 0964 - 22 - 0043 |

特別奨励校

<高等学校>

| 学校名 | 所在地 | 電話番号 |
|------------|---------------------------------|------------------|
| 東京都立九段高等学校 | 〒103 - 0073 東京都千代田区九段北2 - 2 - 1 | 03 - 3265 - 0931 |

優良校

<小学校>

| | | | |
|--------------|-------------|--------------------------|------------------|
| 北檜山町立太櫓小学校 | 〒049 - 4517 | 北海道瀬棚郡北檜山町字太櫓 141 | 01378 - 6 - 0303 |
| 風間浦村立易国間小学校 | 〒039 - 4502 | 青森県下北郡風間浦村易国間字大川目 21 - 3 | 0175 - 35 - 2130 |
| 種市町立小子内小学校 | 〒028 - 7904 | 岩手県九戸郡種市町大字小子内 6-6-2 | 0194 - 67 - 2106 |
| 一戸町立一戸南小学校 | 〒028 - 5301 | 岩手県二戸郡一戸町西法寺字関谷 62 - 1 | 0195 - 33 - 3071 |
| 鶴岡市立栄小学校 | 〒997 - 0002 | 山形県鶴岡市大字播磨字若松 51 - 1 | 0235 - 29 - 2202 |
| 新地町立新地小学校 | 〒979 - 2702 | 福島県相馬郡新地町谷地小屋字愛宕 1 | 0244 - 62 - 2006 |
| 高萩市立東小学校 | 〒318 - 0012 | 茨城県高萩市有明町 1 - 141 | 0293 - 22 - 2542 |
| 西那須野町立南小学校 | 〒329 - 2733 | 栃木県那須郡西那須野町二区町 399 | 0287 - 36 - 0244 |
| 富岡市立黒岩小学校 | 〒370 - 2341 | 群馬県富岡市下黒岩 1870 - 1 | 0274 - 62 - 0827 |
| さいたま市立大谷場小学校 | 〒336 - 0017 | さいたま市南浦和 1 - 18 - 3 | 048 - 882 - 2555 |
| 成田市立本城小学校 | 〒286 - 0114 | 千葉県成田市本城 178 - 1 | 0476 - 40 - 5070 |
| 中央区立明石小学校 | 〒104 - 0044 | 東京都中央区明石町 1 - 15 | 03 - 3541 - 8335 |
| 大井町立大井小学校 | 〒258 - 0019 | 神奈川県足柄上郡大井町金子 1436 | 0465 - 82 - 0918 |
| 新潟市立大淵小学校 | 〒950 - 0105 | 新潟市大淵 1815 - 子 | 025 - 276 - 2631 |
| 上市町立上市中央小学校 | 〒930 - 0355 | 富山県中新川郡上市町横法音寺 1 | 076 - 472 - 2222 |
| 加賀市立庄小学校 | 〒920 - 0332 | 石川県加賀市庄町 7 - 99 - 1 | 0761 - 74 - 1199 |
| 勝山市立三室小学校 | 〒911 - 0834 | 福井県勝山市遅羽町大袋 40 - 67 | 0779 - 88 - 1464 |
| 大岡村立大岡小学校 | 〒381 - 2703 | 長野県更級郡大岡村乙 304 - 1 | 026 - 266 - 2798 |
| 茅野市立湖東小学校 | 〒391 - 0211 | 長野県茅野市湖東 4982 | 0266 - 78 - 2620 |
| 清水市立岡小学校 | 〒424 - 0852 | 静岡県清水市神田町 4 - 3 | 0543 - 53 - 3368 |
| 下山村立田平沢小学校 | 〒444 - 3265 | 愛知県東加茂郡下山村田平沢藪下 4 | 0564 - 86 - 2025 |
| 甲賀町立大原小学校 | 〒520 - 3414 | 滋賀県甲賀郡甲賀町大久保 1000 | 0748 - 88 - 2049 |
| 木津町立相楽小学校 | 〒619 - 0222 | 京都府相楽郡木津町大字相楽小字清水 1 | 0774 - 72 - 0221 |
| 園部町立園部小学校 | 〒622 - 0004 | 京都府船井郡園部町小桜町 26 - 2 | 0771 - 62 - 0049 |
| 福知山市立上川口小学校 | 〒620 - 0917 | 京都府福知山市字野花 93 | 0773 - 33 - 2006 |
| 高石市立加茂小学校 | 〒592 - 0011 | 大阪府高石市加茂 3 - 4 - 34 | 072 - 263 - 8881 |
| 揖保川町立神部小学校 | 〒671 - 1632 | 兵庫県揖保郡揖保川町黍田 434 | 0791 - 72 - 3020 |
| 南部川村立上南部小学校 | 〒645 - 0026 | 和歌山県日高郡南部川村谷口 549 | 0739 - 74 - 2004 |
| 和歌山市立広瀬小学校 | 〒640 - 8128 | 和歌山市広瀬中ノ丁 1 - 5 | 073 - 436 - 0671 |
| 鳥取市立湖山小学校 | 〒680 - 0945 | 鳥取市湖山町南 1 - 656 | 0857 - 28 - 1020 |
| 建部町立建部小学校 | 〒709 - 3144 | 岡山県御津郡建部富沢 366 | 0867 - 22 - 0073 |
| 豊浦町立小串小学校 | 〒759 - 6302 | 山口県豊浦郡豊浦町大字小串 617 | 0837 - 74 - 0814 |
| 豊北町立神田小学校 | 〒759 - 5331 | 山口県豊浦郡豊北町神田 2519 - 1 | 0837 - 86 - 0006 |
| 田万川町立多磨小学校 | 〒759 - 3113 | 山口県阿武郡田万川町江崎 522 | 08387 - 2 - 0044 |
| 観音寺市立常磐小学校 | 〒768 - 0012 | 香川県観音寺市植田町 365 | 0875 - 25 - 2988 |
| 土庄町立大鐸小学校 | 〒761 - 4151 | 香川県小豆郡土庄町肥土山甲 1735 | 0879 - 62 - 0712 |

| | | |
|------------|--|------------------|
| 上浦町立上浦小学校 | 〒794 - 1402 愛媛県越智郡上浦町大字井口 4497 | 0897 - 87 - 2011 |
| 鞍手町立室木小学校 | 〒807 - 1307 福岡県鞍手郡鞍手町室木 1290 | 0949 - 42 - 0146 |
| 吉富町立吉富小学校 | 〒871 - 0811 福岡県築上郡吉富町大字広津 665 | 0979 - 23 - 2179 |
| 牛津町立砥川小学校 | 〒849 - 0305 佐賀県小城郡牛津町大字上砥川 1405 | 0952 - 66 - 0130 |
| 多久市立中部小学校 | 〒846 - 0031 佐賀県多久市多久町 1784 - 1 | 0952 - 75 - 2826 |
| 熊本市立砂取小学校 | 〒862 - 0954 熊本市神水 1 - 1 - 1 | 096 - 382 - 7033 |
| 名古屋市立幅下小学校 | 〒451 - 0041 名古屋市西区幅下 1 - 7 - 17 | 052 - 571 - 8178 |
| 京都市立常磐野小学校 | 〒615 - 8181 京都市右京区太秦京ノ道町 20 - 5 | 075 - 872 - 9735 |
| 京都市立月輪小学校 | 〒605 - 0981 京都市東山区本町通り三ノ橋上ル本町 17 - 358 | 075 - 561 - 4380 |
| 広島市立古市小学校 | 〒731 - 0123 広島市安佐南区古市 2 - 21 - 1 | 082 - 870 - 6391 |
| 広島市立可部小学校 | 〒731 - 0221 広島市安佐北区可部 4 - 9 - 1 | 082 - 814 - 2428 |
| 仙台市立幸町小学校 | 〒983 - 0836 仙台市宮城野区幸町 2 - 19 - 1 | 022 - 291 - 8392 |

<中学校>

| 学 校 名 | 所 在 地 | 電 話 番 号 |
|-------------|------------------------------------|------------------|
| 寒河江市立陵西中学校 | 〒990 - 0523 山形県寒河江市大字八楸字富沢 836 | 0237 - 83 - 2020 |
| 二宮町立長沼中学校 | 〒321 - 4539 栃木県芳賀郡二宮町大字長沼 716 | 0285 - 74 - 0192 |
| 文京区立第十中学校 | 〒112 - 0011 東京都文京区千石 2 - 40 - 17 | 03 - 3944 - 0371 |
| 南足柄市立北足柄中学校 | 〒250 - 0131 神奈川県南足柄市内山 2575 | 0465 - 74 - 2417 |
| 上市町立上市中学校 | 〒930 - 0362 富山県中新川郡上市町稗田 1 | 076 - 472 - 0221 |
| 七尾市立東部中学校 | 〒926 - 0028 石川県七尾市藤野町リ - 1 | 0767 - 53 - 0812 |
| 上志比村上志比中学校 | 〒910 - 1314 福井県吉田郡上志比村栗住波 16 - 47 | 0776 - 64 - 2040 |
| 熱海市立熱海中学校 | 〒413 - 0006 静岡県熱海市桃山町 7 - 7 | 0557 - 81 - 0577 |
| 岡崎市立北中学校 | 〒444 - 2136 愛知県岡崎市上里 1 - 10 | 0564 - 22 - 8740 |
| 石部町立石部中学校 | 〒520 - 3103 滋賀県甲賀郡石部町宝来坂 4 - 3 - 1 | 0748 - 77 - 3781 |
| 庵治町立庵治中学校 | 〒761 - 0130 香川県木田郡庵治町 691 - 1 | 087 - 871 - 2716 |
| 岩城村立岩城中学校 | 〒794 - 2410 愛媛県越智郡岩城村 1218 | 0897 - 75 - 2019 |
| 多久市立西溪中学校 | 〒846 - 0031 佐賀県多久市多久町 1789 - 4 | 0952 - 75 - 2827 |

<高等学校>

| 学 校 名 | 所 在 地 | 電 話 番 号 |
|------------|-----------------------------------|------------------|
| 富山県立小杉高等学校 | 〒939 - 0341 富山県射水郡小杉町三ヶ 1520 - 1 | 0766 - 55 - 4190 |
| 大阪府立農芸高等学校 | 〒587 - 0051 大阪府南河内郡美原町北余部 595 - 1 | 072 - 361 - 0581 |

<特殊教育諸学校>

| 学 校 名 | 所 在 地 | 電 話 番 号 |
|-------------|--------------------------------|------------------|
| 山形県立酒田聾学校 | 〒998 - 0005 山形県酒田市大字宮海字新林 307 | 0234 - 34 - 2019 |
| 千葉県立四街道養護学校 | 〒284 - 0003 千葉県四街道市鹿渡 934 - 45 | 043 - 422 - 2609 |

I 最優秀校

<小学校>

<中学校>

明るく健やかな児童の育成

—— 総合的な健康教育活動をとおして ——

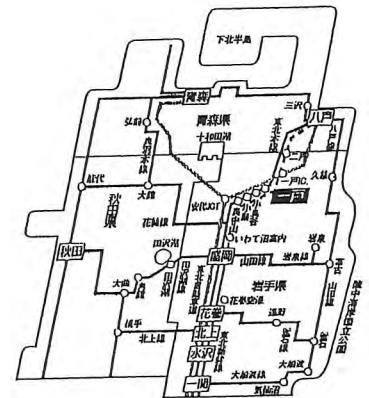
岩手県一戸町立一戸小学校

1 本校の概要

一戸町は人口約16,400人、岩手県北地方に位置する馬淵川の河岸段丘に発達した古い小城下町である。

人に優しい健康福祉の町でもあり、夏の緑・冬の白といった四季折々に彩られた自然に育まれた町である。町内には県立子どもの森や御所野縄文公園・博物館等が開設され、本校の学区内には町役場や病院等の公共施設が集中している。

本校は児童数は275名、12学級である。児童は明るく素直で意欲に満ちており、長期欠席児童、不登校児童は現在見られない。保護者は芸術や教育に関心が高く、学校教育、PTA活動、子供会活動に熱心である。



2 学校教育目標と健康教育



本校児童の健康に関する問題は、運動能力の低下や基本的な生活習慣の乱れ、むし歯、アレルギー、孤食、親子関係の希薄化など、複雑化・多様化しつつある。社会生活や様式などが変化するのに伴い、この状況は今後とも一層進むものと予想される。

これらの問題は生涯にわたって大きな影響を与えるので、心身ともに健やかな児童を育成することは、本校に課せられた最重要課題である。そのため、教育目標の中の一つに位置付け、各教科、道徳、特別活動など全教育活動を通じてその具現化を図っている。

本校の教育目標の一つである「丈夫な体の子」とは、健康・安全に関する基礎的・基本的事項の理解をもとに思考力や判断

力を養い、自己実現するために自ら意思を決定する力を持つ児童を目指すものである。また、健康課題解決をするために実践力を培い、自ら望ましい生活習慣を身につける児童でもある。健康とは人間にとって価値あるものであるとの認識を持たせた

自ら進んで健康づくりに取り組む子

- (1) 体づくり
 - 屋外でもおいっきり遊んだり運動したりする。
 - 自ら進んで歯みがき、うがい・手洗いをする。
- (2) 心づくり
 - 明るい返事と元気に挨拶する。
 - 人のために進んで奉仕する。
- (3) 頭づくり
 - 自ら進んで課題を見つけ、他者に頼らず解決する。

1) 人間性豊かな児童を育てるために

学校教育目標を達成し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成するためには、真に教育の場にふさわしい学校環境を整えなければならない。

そのために、1年間の学校生活のすべての場面や授業を通して、常に明解な児童の姿のイメージを持って適時・適切な指導に当らなければならない。

本校では、毎年、学校像、教師像、児童像を掲げているが、平成14年度は特に、自主性のある児童をめざして、次のように設定した。



| | |
|-----|--|
| 学校像 | ① 明るく生き生きしている学校 ② 清潔で落ち着きのある学校 ③ 喜びと感動のある学校 |
| 教師像 | ① 子供の「よさ」を発見し、称賛する教師 ② 教育に情熱を燃やし、創意ある実践をすすめる教師 ③ 豊かな人間性を持ち、児童や父母から信頼される教師 ④ 教育の場にふさわしい環境づくりを大切にする教師 |
| 児童像 | ① 自ら進んで学習する児童 ② 自ら進んで運動やスポーツをする児童 ③ 自ら進んで奉仕活動をする児童 |

2) 明るく、礼儀正しく、積極的な態度を育てるために

自主性のある児童像を具現化するために、教育課程の中に指導の重点を設定し、その育成を図った。

① 総合的な学習の時間

- ・ 自ら課題を見つけ、よりよい解決に向けて主体的・創造的に取り組む。
- ・ 地域の人々と共に手を携えて、共に町の発展について考える。
- ・ 一戸を題材に活動を進め、「ふるさと一戸」への愛着を深める。
- ・ 英語活動に取り組み、外国の人々や文化について、興味や関心、意欲を持つ。



② 教科指導の重点

- ・ 体験的な学習や課題解決的な学習を通して、主体的な学習態度を身につける。
- ・ 習熟度別指導や少人数、TT指導などの個に応じた指導を通して、個々の能力の向上を図る。
- ・ 児童一人一人が基本的・基礎的な内容を十分身につける。
- ・ 学習訓練と朝自習・朝読書に取り組み、自学・自習の習慣化を身につける。

③ 道徳指導の重点

- ・ 道徳の時間を中核として各教科及び特別活動、総合的な学習の時間の関連を図りながら、道徳性を身につける。
- ・ 教育活動全体において、豊かな体験を通して道徳性を身につける。
- ・ 家庭地域社会の連携を図りながら日常生活における道徳的実践を促す。

④ 特別活動

- ・ 児童一人一人の個性を発見し、人間的な触れ合いを深める中で自他の個性に気づき、活動に活かすようにする。
- ・ 集団活動を行うのに必要な知識や技能を身につける。
- ・ 児童一人一人に自主的実践的な態度を見につける。



3 校内外一体となった取り組み

健康教育は、広範かつ専門的な内容を教育活動の様々な場で行うので、校内外の専門家の協力が必要である。本校では、学校三師をはじめ、保健師や教育相談員、保健所職員、PTA 専門部や集団登校世話人などからも協力を得ている。学校・家庭・地域が三者一体となって、いわば地域ぐるみで健康教育を推進している。

特に児童の健康問題を解決するためには、家庭や地域社会と共通理解し、実践を相互に支え合わなければ成果は期待できない。また、多様化、深刻化する健康問題への対応には、専門的な知識や技能を持った地域の人々や専門家の協力が必要になる。これらの連携を図るための「かけ橋」となる組織が学校保健委員会である。学校保健委員会の活性化を図り、学校と家庭や地域が緊密な連携のもとに各家庭が足並みを揃えて実践できる体制を取っている。

組織体制を生かした健康づくり
(家庭・地域社会との連携)

- 学校保健委員会
- 町学校保健会との連携
- 保健所・健康福祉課
- P T A 専門部会
- 地区理事会
- 集団登校班世話人会 など

学校保健委員会活動の内容

- ① 基本的な生活習慣の育成
- ② う歯治療の徹底
- ③ 肥満傾向児童の健康指導
- ④ フッ素洗口の継続と
カミカミ運動の推進
- ⑤ 薬物乱用防止講習会の実施
- ⑥ 救急法(心肺蘇生法)講習
会の実施
- ⑦ 一戸町学校保健研究大会等
への参加・研修 など



1) 学校保健委員会

学校保健委員会は、学校三師や保護者代表、PTA、児童、教職員のメンバーで構成され、年3回各学期ごとに計画的に開催している。委員会の協議が活発化するように、事前準備を十分に行い、解決可能な課題を提案している。

委員会に参加する給食委員会や保健委員会の児童は、日常の活動報告をしたり問題点を提案したりして、保護者らと一緒に頑張って解決・実践に努めている。

学校保健委員会の活性化のための工夫

マンネリ化して低調な学校保健委員会にならないように、保護者や児童が健康課題解決のために積極的に発言し、どこの家庭でも実践できる対策を具体的に話し合えるように工夫・改善をした。

- ① 役員の任期を2年とする。
(本格的な活動をしてもらうため)
- ② 当日の運営を十分に検討する。
 - ア 問題を図や表に簡潔にまとめる。
 - イ 実践できる課題にする。
 - ウ 議長と打合せをする。
 - エ 学校三師から助言をいただく。
- ③ 各委員に提案事項を事前配布する。
(内容を十分に検討してもらうため)
- ④ 協議事項を家庭での実践に移す。
- ⑤ 児童の活躍の場を作る。

2) 一戸町学校保健会との連携

一戸町学校保健会は、教育行政及び医療機関、学校、PTA が一体となって、全町的立場で児童生徒の健康づくりを推進している。保健問題委員会を設置して、研究活動を推進し問題解決に当たっている。また、一戸町学校保健研究大会や健康に関する標語・ポスターコンクールなどを通して、家庭への啓発活動も活発である。

本校では、町学校保健会の活動に積極的に多数参加・協力したり、研究大会で実践発表をしたりして、保護者や児童、教職員の意識の高揚を図りながら、同一歩調をとっている。

4 健康づくりのための具体的な活動（すこやか活動）

1) 生命を守る体験、キャップハンディ体験の総合的学習活動（平成13年度）



平成13年度は全体テーマを「夢ふるさと・一戸発見」とし、国際理解、情報、環境、福祉の4分野から学年毎にテーマを設定した。

5年生は、2班に分かれて健康と福祉について学習した。医師や看護師の仕事を体験し、生命尊重や医療に携わる人々の苦労を学んだ。家族に対して簡単な手当をしてあげられるようにもなった。また、バリアフリーの観点から障害のある人にもやさしい町になるためにこれから自分たちができそうなことを話し合った。

この学習の成果を保護者参加の「総合的な学習の発表会」で発表した。学期末には、成果を冊子化し全家庭に配布した。



お医者さんや看護師さんになろう

① 体験項目

ア 県立一戸病院

- ・ 手術室
- ・ 検査室や医療機器
CRT検査、MRI検査
デジタル脳波計、人口透析装置
- ・ 精神病棟

イ 医師体験

- ・ 医師の人数、仕事の内容
- ・ 願い、苦労など
- ・ 医療機器の使い方

ウ 看護師体験

- ・ 血圧測定、車椅子の使い方
- ・ 患者体験（ベッド、松葉づえ）
- ・ 看護師の人数、仕事内容、苦労

② 成果

- ア 医者・看護師の大変な苦労と医学水準の高さを知ることができた。
- イ 看護師の仕事を家庭生活の中で活かした。

目の見えない人になってみよう

公衆電話にある点字を学習の出発点とした。視覚障害者が日常生活でどんな所に不便を感じているか、自ら体験し、どんな所が改善できるか、バリアフリーの観点から調べることにした。

① 体験項目

- ア ブラインドウォーク体験、点字案内板の实地調査（駅、病院等）
- イ 点字の歴史や盲導犬について調査

② 成果

- ア 点字の案内板を作成した。
- イ 盲導犬の育て方とその接し方を知った。

児童の感想

（お医者さんや看護師さんになろう）

- ・ 患者の命を一人でも助けるためにたくさんの医師が協力し治療していることを知り、感動した。
- ・ 手術室に入るときは、緊張した。
- ・ 人の命を守るのは、いかに大変で大切かを知った。
- ・ 看護師の仕事は、とても大変で責任のある仕事だと感じた。

（目の見えない人になってみよう）

- ・ 点字や点字ブロックが駅や病院のいろいろなところがあり、その多さに驚いた。
- ・ 一戸町に今よりもっと増やし、もっと楽に生活させてあげたい。
- ・ これからは、目の不自由な人がいたら助けてあげたい。
- ・ 自分のおばあちゃんがなったらと真剣に考えた。

2) 丈夫な歯をつくる活動

6年生DMF歯数年次推移

| | |
|-------|-------|
| H13年度 | 1.22本 |
| H14年度 | 0.93本 |
| H15年度 | 0.67本 |

フッ素洗口やカミカミ運動などを取り入れながら、学校と家庭が一体となって児童のう歯予防活動に取り組み、急激にDMF歯数の改善が図られてきている。

また、歯科保健活動の定着に伴い、児童の基本的な生活習慣の見直しが図られ、健康管理の意識が高まってきた。



活動の内容

- ① 学級活動を中心にした指導
- ② 歯科衛生士による親子歯みがき教室
- ③ カミカミ運動
(給食直前にスルメをかじり、咀嚼力の向上やあごの発育などのため実施)
- ④ フッ素洗口
- ⑤ 親子歯みがき調べ・歯みがきカレンダーでの刷掃啓蒙(夏休み・冬休み)
- ⑥ う歯なし児童・治療終了児童の表彰
- ⑦ 年2回の歯科検診
- ⑧ 給食後の全校歯みがき
- ⑨ 児童保健委員会の歯みがき点検
- ⑩ 歯科保健に関する図画・ポスター・標語コンクールへの応募

3) 体を鍛える活動

体を鍛える活動には、年間を通したランランタイムや特別クラブの活動がある。

これらの指導を通して、児童は、自ら進んで運動に親しむとともに、子ども会の活動や地域の体育的行事などにも積極的に参加するようになってきた。町外各地の大会にも意欲的に参加する児童が増えてきている。

児童会企画の球技大会や戸外運動奨励行事にも積極的・協力的に取り組んでいる。



活動の内容

- ① 業間体育「ランランタイム」
 - ・ 持久走による体力づくり
 - ・ なわとび、集団ゲーム等(雨天・冬季)
- ② 特別クラブ
(金管・陸上・水泳・総合文化・スキー)
- ③ 水泳指導(検定板の設置活用)
- ④ スキー教室
- ⑤ 出席賞・皆勤賞
(自分の健康保持に努めた1年間無欠席・6年間無欠席の児童を表彰)
- ⑥ スポーツ少年団への協力
- ⑦ 残食なし運動
- ⑧ 学校栄養士との連携
(食物アレルギーを有する児童への対応や授業への協力)
- ⑨ 健康相談や保健指導
- ⑩ 医療関係機関との連携

4) 心を磨く活動

人間性豊かな子供の育成をめざし、自然の美しさや人間の心を大切にする豊かな情操を持ち、「思いやりのある子」をめざす活動に年間を通じて取り組んでいる。

活動の内容

- ① あいさつ運動
(児童会活動の一環として、執行部が校門で登校する児童を挨拶で迎える)
- ② 畳のある作法室・正座でのランチタイムコンサート
(昼休み時間に琴や尺八などの演奏者を招き鑑賞会実施。合わせて礼儀作法の学習をする。)
- ③ 読書集会和読書感想文コンクールへの応募
- ④ 奉仕活動・募金活動(JRC活動)
- ⑤ 善行賞
- ⑥ 美しい学校環境作り
- ⑦ 飼育・栽培活動
- ⑧ 老人ホームへの慰問活動



5) 自らを守る活動

健康・安全について自ら意識的に予防できる児童に育てたいと考え、登校班会議や体重測定・衛生点検などを実施するとともに衛生管理を重視している。

伝染性疾患が発生した時に健康観察結果をグラフ化して掲示するなど、児童会活動を通して児童に注意を喚起すると同時に家庭へも連絡して予防の徹底を図っており、児童自身の予防への意識が高まってきている。

活動の内容

- ① 月例登校班会議・安全指導
- ② 月例体重測定・保健指導
- ③ 衛生点検、流し場洗い
- ④ 手指消毒薬の設置
- ⑤ お茶うがいの励行
- ⑥ 給食時の使い捨て手袋や消毒薬の使用
- ⑦ 避難訓練、交通安全教室
- ⑧ 健康相談

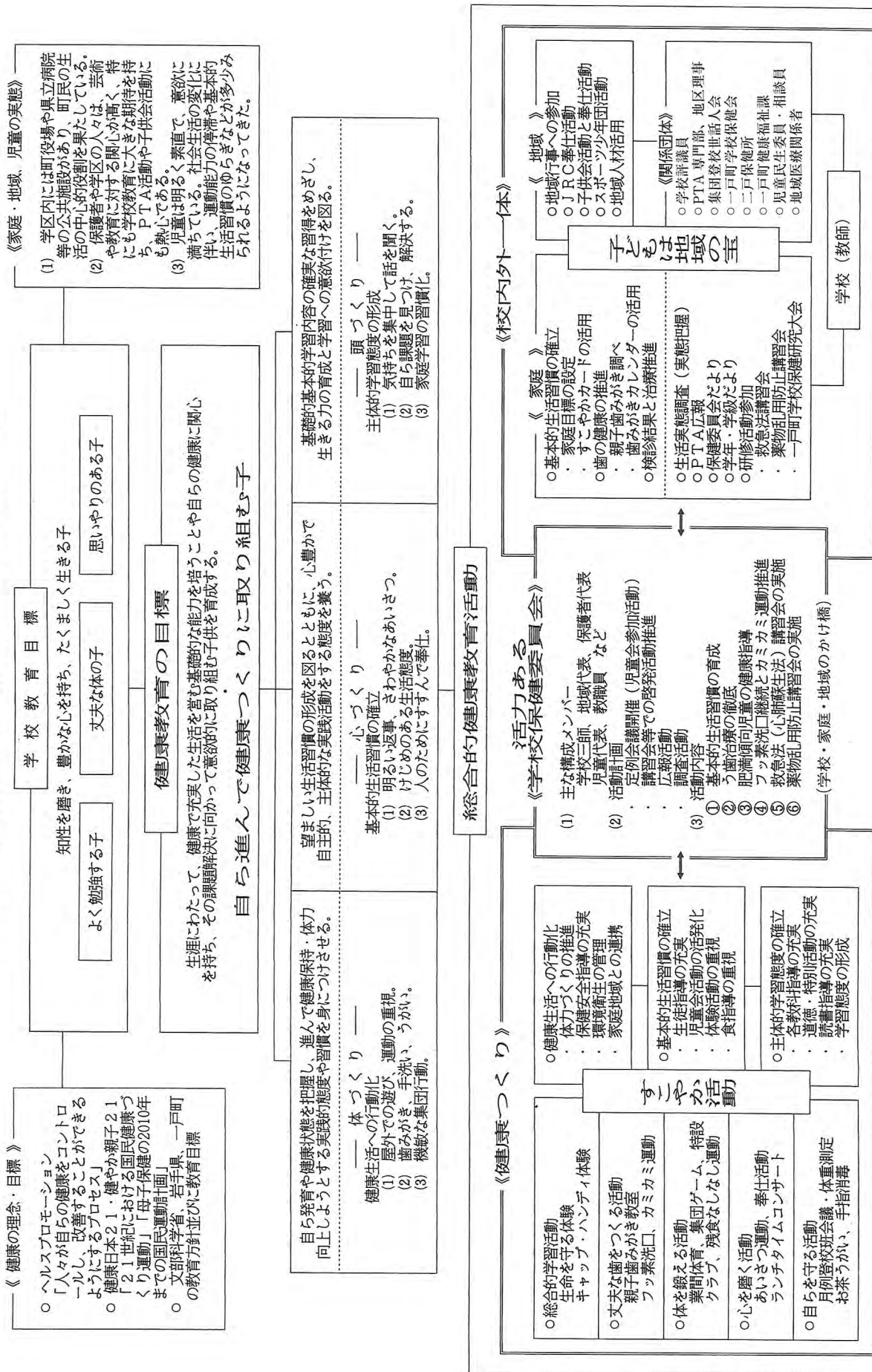
5 成果と今後の課題



平成13年度までの健康教育推進活動を踏まえて、平成14年度は生活実態調査を実施し、児童の健康問題の把握と改善に努め、あわせて学校保健委員会活動の活性化も図ってきた。その成果として、健康で心身ともに健やかな児童が育ってきている。

今後は、より予防的な取り組みを重視して、歯科保健や生活習慣の育成等を足掛りに、さらに家庭・地域での健康への共通理解・意欲づけを図り、校内外一体となった健康教育の一層の充実に邁進したいと考えている。

一戸小学校健康教育の全体構想図



《 健康の理念・目標 》

- ヘルスプロモーション「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようになるプロセス」
- 健康日本21・健やか親子21「21世紀における国民健康づくり運動」「母子保健の2010年までの国民運動計画」
- 文部科学省、岩手県、一戸町の教育方針並びに教育目標

学校教育目標

- 知性を磨き、豊かな心を持ち、たくましく生きる子
- よく勉強する子
- 丈夫な体の子
- 思いやりのある子

健康教育の目標

生涯にわたって、健康で充実した生活を営む基礎的な能力を培うことや自らの健康に関心を持ち、その課題解決に向かって意欲的に取り組む子供を育成する。

自ら進んで健康づくりに取り組む子ども

自ら発育や健康状態を把握し、進んで健康保持・体力向上しようとする実践的態度や習慣を身につけさせる。

- 体づくり —
- 健康生活への行動化
- (1) 屋外での遊び、運動の重視。
 - (2) 歯みがき、手洗い、うがい。
 - (3) 機敏な集団行動。

望ましい生活習慣の形成を図るとともに、心豊かで自主的、主体的な実践活動をする態度を養う。

- 心づくり —
- 基本的生活習慣の確立
- (1) 明るい返事、さわやかなあいさつ。
 - (2) けじめのある生活態度。
 - (3) 人のためにすすんで奉仕。

基礎的・基本的学習内容の確かな習得をめざし、生きる力の育成と学習への意欲付けを図る。

- 頭づくり —
- 主体的学習態度の形成
- (1) 気持ちを集中して話を聞く。
 - (2) 自ら課題を見つけ、解決する。
 - (3) 家庭学習の習慣化。

《家庭・地域・児童の実態》

- (1) 学区内には町役場や県立病院等の公共施設があり、町民の生活の中心的役割を果たしている。
- (2) 保護者や学区の人々は、芸術や教育に対する関心が高く、特にP.T.A活動や子供会活動にも熱心である。
- (3) 児童は明るく素直で、意欲に満ちている。社会生活の変化に伴い、運動能力の準備や基本的な生活習慣のゆらぎなどが多少みられるようになってきた。

《健康づくり》

- 総合的学習活動
 - 命を守る体験
 - 心を通う活動
 - 自らを守る活動
- 丈夫な歯をつくる活動
 - 体を鍛える活動
 - 心を磨く活動
 - 自らを守る活動
- 健康生活への行動化
 - 健康生活への行動化
 - 健康安全指導の充実
 - 環境衛生の管理
 - 家庭地域との連携
- 基本的生活習慣の確立
 - 生徒指導の充実
 - 原簿活動の活発化
 - 体験活動の重視
 - 食指導の重視
- 主体的学習態度の確立
 - 各教科指導の充実
 - 道徳・特別指導の充実
 - 学習態度の形成

総合的健康教育活動力

活力ある《学校保健委員会》

- (1) 主な構成メンバー
 - 学校三師、地域代表、保護者代表
 - 児童代表、教職員 など
 - (2) 活動計画
 - 定例会議開催（児童会参加活動）
 - 講習会等での啓発活動推進
 - 広報活動
 - 調査活動
 - (3) 活動内容
 - ① 基本的生活習慣の育成
 - ② う歯治療の徹底
 - ③ 肥満傾向児童の健康指導
 - ④ 素洗口嚥下とカミカミ運動推進
 - ⑤ 救急法（心肺蘇生法）講習会の実施
 - ⑥ 薬物乱用防止講習会の実施
- (学校・家庭・地域のかけ橋)

《校内・外一体》

- 《 家庭 》
 - 基本的生活習慣の確立
 - すこやかカードの活用
 - 親子歯みがき調べ
 - 歯みがきカレンダーの活用
 - 検診結果と治療推進
 - 《 地域 》
 - 地域行事への参加
 - J.R.C奉仕活動
 - 子供会活動と奉仕活動
 - スポーツ少年団活動
 - 地域人材活用
 - 《 関係団体 》
 - 学校評議員
 - P.T.A.専門部、地区理事
 - 集団登校世話人会
 - 一戸町学校保健会
 - 二戸保健所
 - 一戸町健康福祉課
 - 児童民生委員・相談員
 - 地域医療関係者
- 子どもは地域の宝
- 学校（教師）

《 明るく 清潔で 安らぎのある 学校環境づくり 》

学校保健委員会の活動について

| 学年 | 期 | 議題（報告並びに協議） | 主な出席者 | 所要時間 | 主な成果等 |
|---------|---------------------|---|--|------------|---|
| 平成13年度 | 第3回 3月8日 (土) | <ul style="list-style-type: none"> 平成13年度の活動経過報告 保健室利用状況について 日本体育学校保健センター等の報告 平成13年度をふりかえって 今後の活動に向けて 講話「くすりの正しい使い方と与え方」 | 学校医・歯科医 ・薬剤師 PTA副会長 各学年保健委員 校長・教頭・教務主任・保健主事・給食主任・養護教諭 | 1時間 30分 | <ul style="list-style-type: none"> 来年度は生活リズムの見直しについて取り組むという具体的な活動の見直しを持つことができた。 今年度は溶連菌感染症、歯のはなし、薬の服用の仕方について学校三師から講話をいただいた。 親子歯みがきが意欲的に行われた。 予想される風邪の流行を前にして、具体的な予防策を知ることができ、会報で家庭に呼びかけたことにより、風邪の罹患者が前年度より減少した。 |
| 平成14年度 | 第1回 7月11日 (水) | <ul style="list-style-type: none"> 平成13年度活動報告 平成14年度定期健康診断の結果について 給食指導の取り組みについて 生活実態調査の結果について 平成14年度活動計画 平成14年度役員の方について 講話「健康いわた21プランに関して」（アンケート結果から） | 学校医・歯科医 ・薬剤師 PTA会長・副会長 各学年保健委員 校長・教頭・教務主任・保健主事・給食主任・養護教諭 | 1時間 20分 | <ul style="list-style-type: none"> 生活実態調査結果等の報告から、今年度は基本的な生活習慣の育成を柱に、各家庭で家庭目標を立てて取り組むことを確認・決定した。 歯の健康についても、アンケート結果を踏まえて昨年同様に、親子で取り組むことにした。 給食指導の残食なし運動は、平常時にくらべ残食量が減り、児童の意識も高まっている。 講話は、健康いわた21プランの口腔保健の部分について説明を受け、理解を深めた。 |
| | 第2回 12月9日 (月) | <ul style="list-style-type: none"> これまでの保健委員会の活動報告 これまで生活習慣の確立への取り組みについて 平成14年度健康診断結果について（2学期の検診結果から） 生活習慣の確立について 歯の健康の推進について | 学校医・歯科医 ・薬剤師 PTA副会長 各学年保健委員 校長・教頭・教務主任・保健主事・給食主任・養護教諭・児童 | 50分 | <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣の確立について、すこやかカードを活用し、家庭で目標を決め、子供も自発的に取り組むようになってきていることが把握できた。 歯みがきカレンダー・歯みがき調べは、有効なのもっと活用し、染め出し剤の回転やカレンダーの工夫も必要であるとの意見が出された。 児童保健委員「歯みがき点検の結果」・給食委員「手洗い実験の紹介」と各々の発表があり、日常の活動について助言・指導をいただいた。 |
| | 第3回 3月11日 (水) | <ul style="list-style-type: none"> 平成14年度の活動報告 第2回学校保健委員会以降の取り組みについて（歯みがき調べすこやかカード等の結果、児童委員会の活動） 平成14年度災害見舞い金の支給、出席停止について 今年度の活動をふり返って 今後の活動に向けて 講話「薬物乱用防止について」 | 学校医・歯科医 ・薬剤師 PTA副会長 各学年保健委員 校長・教頭・教務主任・保健主事・給食主任・養護教諭 | 1時間 10分 | <ul style="list-style-type: none"> 今年度の実施の成果の確認として、次年度もアンケートにより生活実態調査を行うことにした。 次年度は、今年度の活動を継続しながら、基本的な生活習慣を確立をめざすことで確認できた。 第2回学校保健委員会の協議を受けて作成した児童保健委員会・給食委員会の自作ビデオを発表し、その活動を委員に知らせることができた。 講話は、パンフレットを用いて、薬物乱用の危険性や親子のつながりについて講話いただいた。 |
| 毎年度定例活動 | 7月 | 救急法（心肺蘇生法）講習会の開催 講師・一戸消防署員等 | PTA並びに学校保健委員 | 1時間 | <ul style="list-style-type: none"> ブルー当番に備えて、人形を使った具体的な演習を行い、積極的に活動に参加している。 |
| | 11月 | 一戸町学校保健研究大会への参加 （町内小中学校の実践発表や講演等） | PTA並びに学校保健委員 | 3時間 | <ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員の研修の場であり、他校の発表や講演を聞くことにより自己研修を深めている。 |
| | 3月 | 薬物乱用防止教室の開催 講師・学校薬剤師 | 6年生児童と保護者 | 1時間 | <ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用による身体・精神神経系の悪影響、若年者の飲酒や喫煙の害について親子で学習している。 |
| 日常の活動 | | <ul style="list-style-type: none"> 伝染性疾患の予防、歯科保健指導、環境衛生などについて、問題や検討の必要性が生じた場合には学校三師から指導助言を受ける場や時間を設けて、家庭への周知化を図っている。 広報により、学校保健委員会の活動についての家庭に周知や啓蒙活動を行っている。 | | | |

平成14年度の活動・・・「基本的生活習慣の確立」「歯の健康の推進」の取り組みの様子

- 全児童対象に生活実態調査並びに口腔保健アンケートを実施。
- 各家庭で、「わが家の目標」を今月のあての項目内容から1つ選んで話し合っ決めて後、「すこやかカード」（点検表）で取り組みを開始。合わせて生活実態調査結果と各家庭の取り組みの様子を広報で家庭に周知。
 - 9月 「就寝・起床・排便」
 - 10月 「テレビの視聴時間・ゲーム時間、遊びや運動」
 - 11月 「朝食や好き嫌い、量、おやつ」
 - 2月 「手洗い・うがい・下着の交換」（全項目を点検）
 - 夏・冬休みは、「親子歯みがき調べ、歯みがきカレンダー」での刷掃啓蒙
- 児童会の取り組み
 - 保健委員会・・・歯みがき点検、衛生点検、換気の実験並びに自作ビデオの作成
 - 給食委員会・・・残食調査、手洗い実験、手の洗い方の自作ビデオを作成



「発見、やさしい町 一戸」

—— 未来の一戸に向かって、やさしさ発信！ ——
 (H13年度、5年生 総合的な学習の時間より)

- 1 主題のねらい
 - 自分たちが生活する一戸と自分との関係に目を向けて、バリアフリーの観点から一戸を調べ、障害のある人にもやさしい町とはどのようなものかを考えるきっかけをつくる。
 - 一戸病院の施設見学を通して、現代医療の特色を実感させるとともに、医療現場にたずさわる人々の工夫や努力・願いについて知る。
 - 進んで図書やコンピュータを活用して情報を集め、フィールドワークを計画・実施し、自分の課題を解決しようとする態度を育てる。
 - 自分たちが調べてきたことや考えたことを発表することによって、自分たちが育ってきた町をみんなで大切にしていこうとする心を育てる。

2 活動の全容(90時間)

(1) 「目の見えない人にやさしい町 一戸」の活動(12時間)

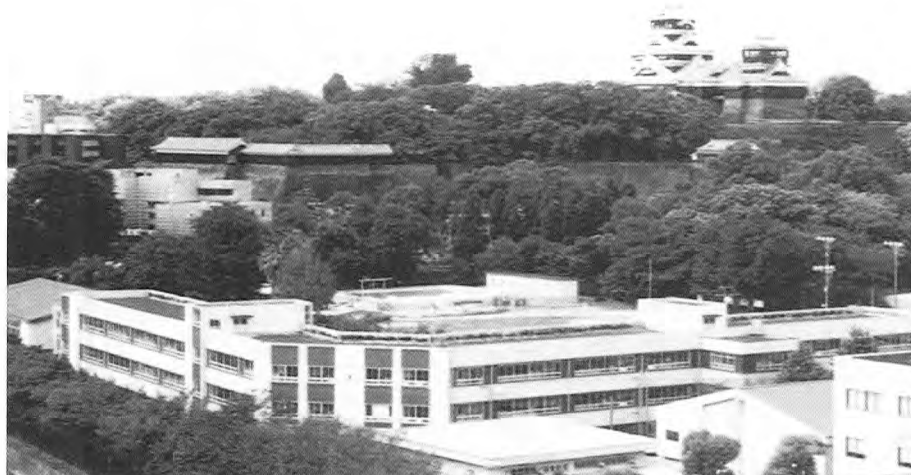
| 月日 | 時数 | 活動内容 |
|-------------------|-----|--|
| 7/2 5 7/4 | 3時間 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 目の見えない人にとって安全で、安心な町にするにはどうしたらよいか考えよう </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 視覚障害者にとって日常生活の中で、どんなことが不便なのか考える。 (共通体験) ① ブラインドウォーク体験 ② 点字 |
| 7/9 5 7/11 | 3時間 | <ol style="list-style-type: none"> 2 視覚障害者に危険な場所や視覚障害者のための施設を調査する計画を立てる。 ① 個人毎の課題を決め、必要に応じてグループを作る。 ② 学年内で同一課題を立てた児童のグループ化を行い、課題の見通しを立てる。 ③ 今まで学習してきたことをもとに、どんな調べ方があるか考える。 |
| 7/16 5 7/18 | 6時間 | <ol style="list-style-type: none"> 3 計画にしたがって、地域に出かけて調べたり、活動したりする。 (フィールドワーク) ※ 活動場所…一戸バイパス、駅、一戸病院など 4 調べたことをまとめて、発表会を開く。 |

(2) 「発見、やさしい町 一戸」の活動(78時間)

| 月日 | 時数 | 活動内容 |
|--------------------|------|--|
| 9/3 5 9/5 | 3時間 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「やさしい町 一戸」を発見しよう。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 詳しく調べたこと・新しく調べたいこと・やってみたくいことについて、話し合う。 ① 視覚障害者のためのもの(点字・盲導犬など) ② 自分たちができるボランティア活動 ③ 一戸病院について |
| 9/6 5 9/12 | 5時間 | <ol style="list-style-type: none"> 2 学習計画を立てる。 ① 個人毎の課題を決め、必要に応じてグループを作る。 。 目の見えない人にやさしい町 一戸 。 レッツゴー・ゴミバスターズ 。 一戸病院調査隊 ② 学年内で同一課題を立てた児童のグループ化を行い、課題の見通しを立てる。 ③ 今まで学習してきたことをもとに、どんな調べ方があるか考える。 |
| 10/4 5 11/5 | 25時間 | <ol style="list-style-type: none"> 3 計画にしたがって調べたり、活動したりする。 ① 目の見えない人にやさしい町 一戸 。 一戸駅・一戸病院の見学(10月4日) 。 図書やインターネットで調べる。 ② レッツゴー・ゴミバスターズ 。 一戸バイパスのゴミ拾い(10月13日) ③ 一戸病院調査隊 。 一戸病院の見学(10月22日) 。 「一戸病院ってどんなところ」プロジェクト 。 「お医者さんの仕事」プロジェクト 。 「看護師さんの仕事」プロジェクト |
| 12/6 5 12/19 | 20時間 | <ol style="list-style-type: none"> 4 調べたり活動したりしたことをまとめ、発表する。 。 「総合的な学習の時間」発表会の準備 。 「総合的な学習の時間」記録集の準備 |
| 1/29 5 2/17 | 19時間 | <ol style="list-style-type: none"> 5 調べたこと、活動してきたことをまとめ、発表する。 ① 調べてきたこと、活動してきたことをまとめ、発表会の準備・練習をする。 ② 自分たちの取り組みを身近な地域に発信し、活動を広げていく。 |
| 2/19 5 2/22 | 6時間 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 未来の一戸に向かって、やさしさ発信！(「総合的な学習の時間」発表会) </div> <ol style="list-style-type: none"> 6 自分たちの活動を振り返る。 ① 活動を通して気づいたことなどを振り返りまとめ、発表会(「総合的な学習の時間」記録集) ② これからどんなことができそうか考える。 |

生きて働く力の創造

熊本市立城東小学校



1 学校紹介

(1) 校区

本校は、「杜の都」と呼ばれる城下町熊本市のほぼ中央、熊本城の北東に隣接している児童数185名、学級数8の小規模校である。学校周辺の主な公的施設としては、熊本市役所、県立美術館、市立博物館、熊本市教育センター、九州郵政局、伝統工芸館、熊本地方裁判所、熊本県立体育館、交通センターなどがあり、名実ともに熊本市の政治・経済・文化・交通の中心地となっている。

また、校区内には県下で最大の繁華街があり、夜はネオン輝く大歓楽街となる。上通・下通・新市街の三大商店街には、大型デパートやスーパーが進出し、ベルト状のショッピング街が形成されている。そうした中、本校も「ドーナツ化現象」のために、児童数は減少の傾向にあるが、文教都市の中心校として、地域の期待も大きい。

(2) 校地・校舎

本校は、熊本城から続く緑と校舎の東側を流れる坪井川のせせらぎに囲まれ、都市部に位置しているにもかかわらず、街の騒音が比較的小さく、緑と水に恵まれた静寂なたたずまいを見せている。

校舎のどの位置からでも、熊本城の天守閣を望むことができ、卒業生の大半が通う藤園中学校とは、校門、グラウンドなどを共有している。

2 学校経営方針と健康教育

(1) 本校における健康教育の位置づけ

本校では、40年以上にわたって健康教育に取り組んでおり、以前は、体方面を高める指導や徹底した安全管理、衛生管理に力点を置いた指導で健康教育を進めていた。近年では、児童が自分の命だけでなく他人の命も尊重しながら、自分の生活や生き方をよりよい方向に改善しようとする姿に重点を置く健康教育を推進している。本年度は、「豊かな社会性」の育成に視点を置き、児童の知・徳・体の調和的発展をめざし、以下のような目標を掲げている。

城東小の教育目標

熊本城に象徴される質実剛健の風格を基調とし、児童の知・徳・体の調和的発展に努め、もって郷土・日本・世界に貢献する人材を育成する。

- 1 生命の尊さを知り、これを尊重しあい、お互いの健康を推進し、安全と幸福を守り合う態度を育てる。
- 2 誠実であることが行動の基本として大切なことを知り、仕事に打ち込みやり抜く意志を育てる。
- 3 人類の進歩は勤労と創造の所産であることをわきまえ、進んで知性を磨き、働くことを喜ぶ態度を養う。
- 4 自己と郷土・日本・世界とのつながりを理解し、自分を大切にするとともに郷土・日本・世界のために貢献しようとする心情を育てる。

また、健康教育は、保護者や地域社会とともに行うことで、さらに充実するものである。学校保健委員会「すこやかサミット」の取り組みを充実させ、地域や家庭、関係機関との連携を深めながら様々な活動を行っていくことで、児童の取り組みがより深まり、生活に生かすことができると考え取り組んでいる。

(2) 教育課程編成の工夫

本校では、健康教育の視点から「人とのかかわり合い」を深め「自ら学び自ら考える」ことのできる児童の育成をねらいとした教育計画を作成し、それを『城東カリキュラム』と呼んでいる。

このカリキュラムは「働きかける力」「話し合う力」「表現する力」の3つの観点を基盤として学習活動の目標と内容を設定し、各教科との関連に配慮しながら時間数を確保し、教育課程に位置づけている。

- 健康教育と他教科の関連をふまえたカリキュラムの編成
- 全ての教育課程を通して児童に付けたい力の分析

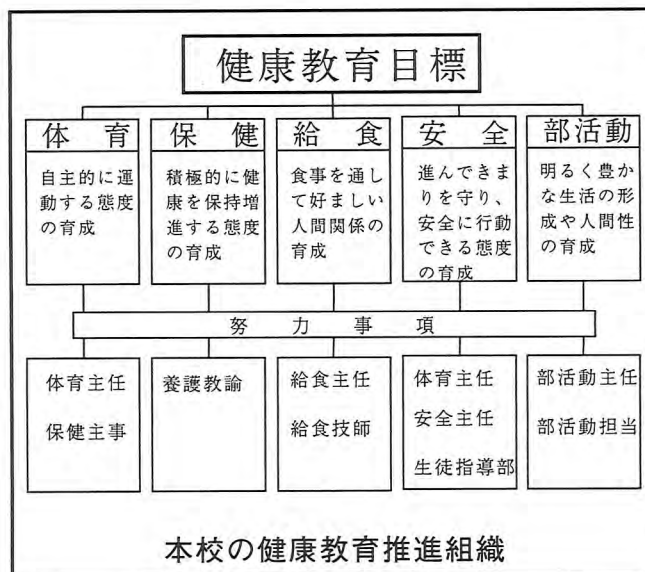
以上のことが、健康教育推進のためには必要不可欠である。児童の心身の健康づくりは、各教科との有機的な連携があって初めて可能なものであり、すべての教育活動で取り組むことが大切であると考え実践している。

3 健康教育の推進体制

(1) 教職員の推進組織

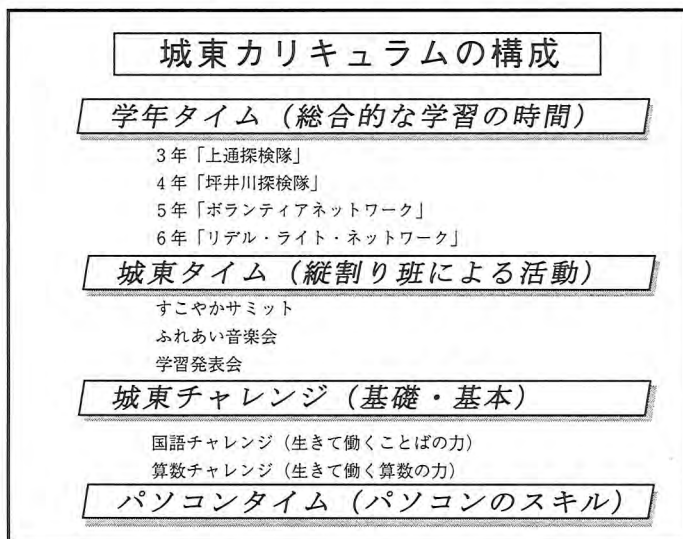
健康教育を推進するためには、組織的・計画的な推進体制が必要である。本校では、校内研修テーマ「生きて働く力の創造」のもと、健康教育についても体育部、保健部、給食部、安全部、部活動の各組織が連携して児童の健康推進のために活動している。(右図参照)

各部ではそれぞれの校務分掌主任を中心として努力事項を設定し、児童の健康生活への意識・意欲の強化と実践化、習慣化の推進を図っている。



(2) 校内研修での取り組み

本校では、研究主題「生きて働く力の創造」を掲げ、「総合的な学習の時間」の研究に取り組んできた。平成12, 13年度は、熊本県教育委員会指定〈学力充実研究推進校〉及び熊本市教育委員会委嘱〈教育課程一般〉の指定校として、学力の向上を図ると共に「総合的な学習の時間」のカリキュラム作りという2つの命題に取り組んできた。



本校の児童は、熊本市の中心部で生活しているために、社会体験や自然体験が極めて乏しい。その結果、友達とのコミュニケーション能力や基本的な生活能力が不足している場合が見られる。

そこで、体験的な学習を大切にした城東カリキュラムを実践することで本校の教育目標である児童の知・徳・体の調和的発展に迫っていこうと考えた。城東カリキュラムとは、人との関わりを大切にしながら、自分の生活をよりよく改善しようとするものである。

また、この城東カリキュラムは、地域素材を生かし、そこで出会うさまざまな人たちとの関わり合いの中から、人の生き方にふれ、自ら学び自ら考えていくことをねらっている。こうした体験的な学習を通して、健康的で文化的なよりよい生活を創り出していく態度と能力を育成できるのではないかと考える。

4 具体的な実践事項

(1) 学校保健委員会「すこやかサミット」(13年度の例)

すこやかサミットは、本校が長年大切にしてきた活動であり地域の方や保護者と共に年3～4回実施している。他教科との関連や年間テーマを設定するなど内容の深化を図ると共に、児童が教科や総合的な学習の時間で培った力を発揮する場ととらえ、主体的に働きかける会となるよう模索してきた。13年度は12年度のテーマ「生活習慣病予防」を更に深め、3年生以上の全児童参加とし、学年ごとに課題を設定し追究した。

実行委員会を編成し、具体的な取り組みや、今後の運営などについて話し合いを行った。実行委員会の仕事として、広報活動、司会進行、案内状・招待状書き、プログラム・看板作成、来賓の方々の名札作りなどが挙げられ、すこやかサミット当日までの計画が作成された。仕事の内容からいくつかのグループに分かれ、各グループで計画実践していくことにした。児童は、自分のグループが決まると、お互いに協力しながら積極的に活動に取り組んだ。

第3回すこやかサミットは、討議の場を中心にした。そのため、インタビュー系の役割が特に重要になってきた。単に質問するだけでなく話を展開できる力が求められた。そこで、プロのアナウンサーから質問の仕方、受け答えの仕方などを学んだ。学年での取り組みにおいては調べ方や解決の糸口を見つけるために、学年の代表児童が保健所を訪問し、保健師や医師から適切なアドバイスを受けたり、市の開催事業である「健康フェスティバル」に参加したりした。その結果、取り組む内容を絞り込み、どのように展開していくか方向性をはっきりさせることができ、課題追究のヒントを得てその後の取り組みに生かし、自ら「働きかける力」が発揮された。

実行委員会は具体的にマスコットを募集して看板を作ったり、プログラムにカットを工夫して作成するなど、絵や文章などの「表現する力」を育成してきた。また、デジタルカメラで朝の活動や自分たちの活動を記録し、コンピュータを利用してプレゼンテーションを作成した。

| 議題 | 内容と主な出席者 | 時間 | 主な成果 |
|-----------------------------|--|------|---|
| 第1回 生活習慣病Ⅱ 「課題設定をしよう」 | ◆話し合いでの課題設定 保健福祉センター（医師・保健士・栄養士・歯科衛生士）、歯科医、指導主事、地域の方、主任児童委員、保護者 | 60分 | これまでの複習と学年テーマの追究の方向性について検討した。（3年運動、4年朝の目覚め、5年歯の健康、6年生活習慣病） |
| 第2回 「親子で学年の課題について深めよう」 | ◆学年ごとの実践 3年「親子で楽しくエアロビ」 エアロビ講師、保護者 4年「脳が目覚める朝食作り」 栄養士、保護者 5年「親子でブラッシング」 歯科衛生士、保護者 6年「アルコールとタバコの害」 医師、保健士、保護者 | 100分 | 3年生は、身体を動かすことの楽しさを体験し、4年生は生活に生かせる調理実習を実施した。5年生はブラークの観察を行いブラッシングの大切さについて、6年生はアルコールパッチテストやタバコ人形を使って、生活習慣病の恐ろしさを学んだ。 |
| 第3回 「つくるひろげようみんなの未来」 | ◆調べたこと・やってみたことの発表 保健福祉センター、歯科医、地域の方、主任児童委員、保護者 | 50分 | 第1回で設定した学年テーマの追究を行い、調べたことややってみたことについての発表会を行い、参加者と健康について意見交換を行った。 |
| 第4回 「城東健康フェスティバル」 | ◆調べたことを広げる実践 保健福祉センター、薬剤師、地域の方、保護者 | 70分 | 学年で学習したことを生かしてのコーナーを設け、健康について学んだことを他人に伝える活動を通じ、より確実な実践化を図ることができた。 |



実行委員会の話し合い



アナウンサーにプロの技術を学ぶ

各学年は総合的な学習の時間を活用して「生活習慣病」について調べ、その取り組みの内容について発表した。4年生は「朝の目覚めで、バッチ・ゲー大作戦」で、朝の目覚めをよくするために、早く寝る・朝食を食べる・朝の排便をする・外でしっかり遊ぶなど、自分たちの考えた作戦を実践しその体験から、食事や睡眠の大切さを訴えた。5年生は「口は健康の入り口」というテーマで、ブラッシングの大切さや、糖分が歯に及ぼす影響、歯周病の怖さ、咀嚼の大切さなどについて訴えた。歯の健康は体の健康と結びつきが強いことを学んだ。6年生は高血圧や糖尿病、酒やタバコが体に及ぼす影響などについて、街頭アンケートの結果をもとに参観の方々と「生活習慣病」について考えた。各学年とも、絵やグラフやコンピューターを使って発表したり、楽しんで学ぶことができるようにクイズ形式にしたりと表現の工夫がなされていた。



プレゼンテーション作り

第4回は【実践編】とし、より自分たちの生活に生かせる取り組みを企画実施している。児童と話し合い、10月に5・6年生全員で参加した熊本市主催の健康フェスティバルを参考に「城東健康フェスティバル」を行うことにした。各学年が1年間取り組んだことの中から、学年ごとにブースの内容を決め、グループごとの開催に向け準備をすすめた。

3年生は、万歩計100回ピットリゲーム、平行感覚テスト、4年生は身長・体重計測、体脂肪検査、血圧・脈拍測定、5年生は手洗い実験、位相差顕微鏡による歯垢検査、体にいいおやつ作り、老化現象体験、PHテスト、6年生は手作り石けん体験、アルコールパッチテスト、たばこ人形実験、塩分測定と、各学年とも児童の主体性を生かした活動がなされた。児童は、それぞれ準備や器具の取り扱い・データの収集など自分たちで生き生きと取り組み、当日は各ブースとも自信を持って参加者に対応する姿が見られた。



平衡感覚測定

6年のブースの1つの手作り石けんチームは自分たちでインターネットで作り方を調べ、作り方レシピを書き、配布資料を準備したり、実際の作り方をビデオに撮ったりしながら実演も交え説明を行っていた。参加の保護者や地域の方も楽しく参考になったと児童の働きかける力を高く評価していた。



血圧測定

- ・準備は大変だったけど、やってみると自分のためになりとても良かった。
- ・もっとたくさんの人に自分たちの活動を見てほしい。

(児童の感想より)

(2) 日常の実践

健康づくりを日課表の中に位置づけながら、児童に対して一日の学校生活のリズムづくりを行い、規則正しい生活の定着を目指している。(以下は実践の一部の紹介)

①青空活動

児童が積極的に外に出て、思いっきり楽しく遊んだり、運動したりするとともに、異学年との交流を通し、人と人との関わり方を学ぶこともねらい朝の時間を活用して行っている。

縦割り班(すこやかグループ)を編成し、すこやか委員会と6年生が中心となり活動している。児童の主体性や企画力を育成するために、個々に「城東ギネス」に挑戦したり、すこやかグループで「団体ギネス」や「選択遊び」を実施している。運動場が使えない日には、ビデオに合わせて室内体操と目の体操を行っている。



元気いっぱいの青空活動

②健康板の活用

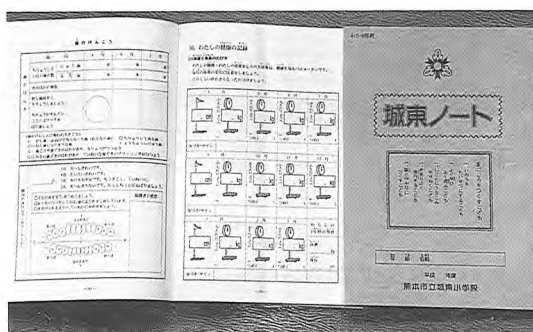
児童は毎朝登校すると、必ず教室前に掲げられた健康板で自分の健康状態と友達の健康状態をチェックするようにしている。この健康板は、自分の健康状態を振り返る習慣づくりの役割を果たすだけでなく、友達の体調にも目を向けることで友達に対する思いやりの心を育てることもねらっている。また、健康観察と合わせて、担任が児童の体調を把握する場合にも大変有効であり、本校の健康教育推進に大切な役割を担うものである。



健康板を活用して

③城東ノート

本校におけるさまざまな活動の中で、特に健康教育の基盤となっているのが「城東ノート」である。この城東ノートは、児童自らが日々の心身の健康を保持増進し、意欲的に教育活動を行うために30年ほど前から活用を始めた。児童の望ましい人格形成には、学校と家庭との連携が重要であると考え、全児童がこのノートの利用を通して、自分の生活を振り返りながら、安全で健康な生活ができるように配慮している。城東ノートを利用することで、児童・保護者・教師が互いにやりとりしながら信頼関係を築けるようになっている。



④歯型作り

6年生になるとほとんどの児童が永久歯に生え代わる。そこで夏休みを利用して学校歯科医の病院へ小グループで出かけ、歯型を作ってもらっている。2学期の検診はできた自分の歯型をもとに学校歯科医からかみ合わせや歯並び、歯肉炎など一人一人指導を受け、歯の健康への関心を高めるのにも役立っている。歯型はきれいなケースに入れメッセージを添え卒業記念として渡している。



できた歯型を見て

5 実践のふり返りと主な成果

本校の健康教育は、【日常の実践】と【学校保健委員会「すこやかサミット」】の2つに集約することができる。日常の実践では、これまでの伝統として培われてきた活動に、現在の児童の実態や保護者の願いを考慮に入れながら継続してきた。日常の実践が習慣化していることは、児童の健康に大きく寄与していると考えられる。

また、学校保健委員会「すこやかサミット」では、各学年の発達段階に応じた年間テーマを設け、児童や保護者が常に課題意識をもって取り組むことができた。特に、第4回【実践編】では、児童が主体的に活躍し、楽しく実践化を図れたことが大きな成果であった。児童は、自分たちの学習や活動を保護者や地域の方々に広めることができ、自己の学びに対する充実感を味わうことができていた。今後も学校内だけにとどまらず、地域と共に健康について考える場として機能するような学校保健委員会をめざして更に充実を図っていきたい。

6 健康教育計画等資料



健康生活全体計画

健康生活目標・行事等計画一覧表

豊かで強い心とたくましい心づくりに目指す子供

重点目標 やさしい宿舎をいしよう ○きざいてい宿舎をいしよう

本年度の重点目標 ○やさしい宿舎をいしよう ○きざいてい宿舎をいしよう

| 月 | 目 標 | 月の具体目標 | 関連行事 |
|----|-------|---|--|
| 4 | まごころ | きざいてい宿舎をいしよう をしよう | 健康ノート確認 明内子供会 生徒指導の共通理解 緊急連絡確認 衣替え |
| 5 | まごころ | 礼儀正しくしよう ・ 廊下は静かに右側を歩こう | |
| 6 | まごころ | 清潔で安全なくらしをしよう ・ 窓内や廊下は静かにしよう | |
| 7 | まごころ | 身の回りをきざいていしよう ・ 整理整頓をしよう ・ 用品の発注をしよう | 地区懇談会 明内子供会 |
| 8 | まごころ | 規則正しい生活をしよう ・ 計画を立てて生活のリズムをくずさないようにしよう | |
| 9 | まごころ | めあてを決めてがんばろう ・ 明るいあいさつをしよう ・ 学校をきざいていしよう | |
| 10 | まごころ | 落ちついてくらしをしよう ・ 全校読書をがんばろう | |
| 11 | まごころ | 力を合わせてがんばろう ・ チャイムの合図を守ろう ・ 仕事をがんばろう | 衣替え |
| 12 | まごころ | 思いやりのあふくるしをしよう ・ みんなで使う所をきれいにしよう ・ 明るいあいさつをしよう | 健康ノート改訂作業 |
| 1 | みんなの心 | 態度の保持をもちてくらしをしよう ・ 「ありかどう」を言おう ・ 給食ありかどうの気持ちで食べよう | |
| 2 | みんなの心 | 社会にむけてがんばろう ・ 青空活動をがんばろう ・ 卒業早起きをしよう | |
| 3 | みんなの心 | みんなのものを大切にしよう ・ 教室をきれいにしよう ・ 後始末をきざいていしよう | 健康ノートまとめ 倉庫整理 反省と意向 |

健康生活目標・行事等計画一覧表

平成13年度 健康教育年間指導計画月別一覧表

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 備考 |
|------------|--|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----|
| 月目標 | きざいてい宿舎をいしよう | 礼儀正しくしよう | 清潔で安全なくらしをしよう | 身の回りをきざいていしよう | 規則正しい生活をしよう | めあてを決めてがんばろう | |
| 教科 | 学習の進め方、学習指導ノートの使い方を身に付ける。 | 学習の進め方、学習指導ノートの使い方を身に付ける。 | 学習の進め方、学習指導ノートの使い方を身に付ける。 | 学習の進め方、学習指導ノートの使い方を身に付ける。 | 学習の進め方、学習指導ノートの使い方を身に付ける。 | 学習の進め方、学習指導ノートの使い方を身に付ける。 | |
| (行事) | 4-7月 運動会 | 5-7月 運動会 | 6-7月 運動会 | 7-8月 運動会 | 8-9月 運動会 | 9-10月 運動会 | |
| 道徳 | 規則の尊重 | 礼儀作法 | 清潔で安全なくらしをしよう | 身の回りをきざいていしよう | 規則正しい生活をしよう | めあてを決めてがんばろう | |
| 特別活動 | 4-7月 運動会 | 5-7月 運動会 | 6-7月 運動会 | 7-8月 運動会 | 8-9月 運動会 | 9-10月 運動会 | |
| 学級活動 | 担任・指導員・児童・保護者・地域・関係機関との連携 | 担任・指導員・児童・保護者・地域・関係機関との連携 | 担任・指導員・児童・保護者・地域・関係機関との連携 | 担任・指導員・児童・保護者・地域・関係機関との連携 | 担任・指導員・児童・保護者・地域・関係機関との連携 | 担任・指導員・児童・保護者・地域・関係機関との連携 | |
| 学級活動 | 学校や学級のまごころ | 発表の仕方と聞き方 | 清潔で安全なくらしをしよう | 身の回りをきざいていしよう | 規則正しい生活をしよう | めあてを決めてがんばろう | |
| 環境美化 | 掃除機・洗剤・めあてを管理し、みんなの気持ちよく掃除しよう。 | 洗剤を持ち、掃除機・洗剤を管理しよう。 | 掃除機を持ち、洗剤を管理しよう。 | 掃除機を持ち、洗剤を管理しよう。 | 掃除機を持ち、洗剤を管理しよう。 | 掃除機を持ち、洗剤を管理しよう。 | |
| 特色ある教育活動 | 学級活動 火・水曜日 8:30～8:40 庭割り活動で音遊びを行い、人とのふれあいを深める。 | | | | | | |
| 11月 | 第1週以外の月曜日 8:30～8:55 学級単位の活動で学校をよくなるための計画を立て、実践を行う。 | | | | | | |
| 全校読書 | 月・火・水・木曜日 8:45～8:55 日課に位置づけ、読書を行う。 | | | | | | |
| 集会活動 | 水曜日 15:20～16:05 上級生のリーダーシップのもとに活動を行う。 | | | | | | |
| 行事 | 運動会 | 運動会 | 運動会 | 運動会 | 運動会 | 運動会 | |
| 保健 | 自分の体をよく知る | 運動習慣を身に付ける | 歯を大切にしよう | 歯を大切にしよう | 歯を大切にしよう | 歯を大切にしよう | |
| 給食 | おいしく食べる工夫をしよう | よい食べ方について考えよう | 清潔にして食べ物を残さず食べよう | 給食の準備を手伝おう | 規則正しい生活をしよう | 自分の食べ残しを減らそう | |
| 安全 | 安全な登下校 | 道具の正しい使い方 | 雨の日の安全 | 互休みのくらし | 安全な集団行動 | 安全な集団行動 | |
| 1年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | |
| 1年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | |
| 2年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | |
| 3年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | | |
| 4年 | 4年 | 5年 | 6年 | | | | |
| 5年 | 5年 | 6年 | | | | | |
| 6年 | 6年 | | | | | | |
| 人権教育 | 学級・学校・地域・社会での活動 | 人権委員会 | 人権委員会 | 人権委員会 | 人権委員会 | 人権委員会 | |
| P.T.A.関係行事 | 学級懇談会 運動会 PTA総会 | 学級懇談会 運動会 PTA総会 | 学級懇談会 運動会 PTA総会 | 学級懇談会 運動会 PTA総会 | 学級懇談会 運動会 PTA総会 | 学級懇談会 運動会 PTA総会 | |

健康教育年間指導計画月別一覧表

コラボレーション（協働）的視点にたつ健康教育の推進

群馬県高崎市立高松中学校

1 学校紹介

高崎市は、古くから交通の要所・商業都市として栄え、人口24万の街である。本校は高崎市の中心部にあり、統合開校17年目の在籍数370名、11学級である。校区は古くからの商店街が中心で、家庭や地域の教育的関心は高く、学校教育にも協力的である。

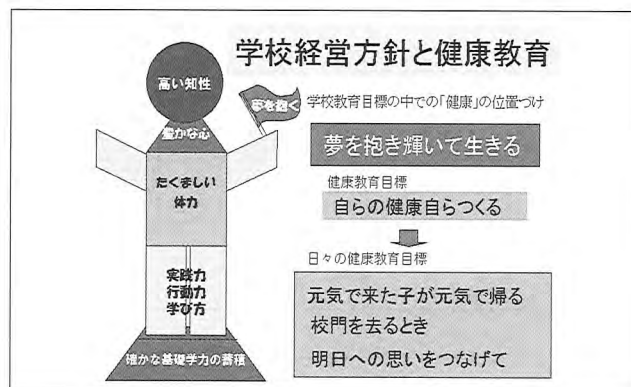
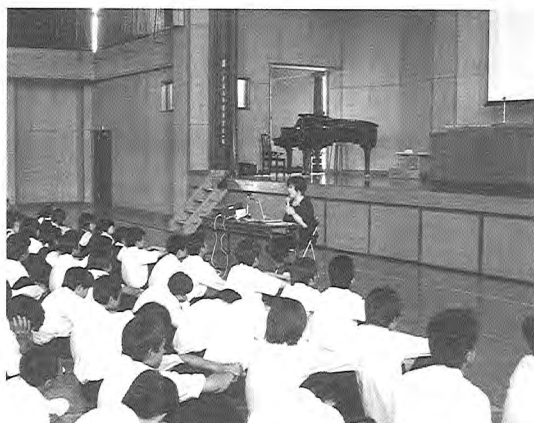


1) 学校教育目標の中での「健康」の位置づけ

教育目標標語「夢を抱き輝いて生きる」の下、「高い知性・豊かな心・たくましい体力」の知徳体の調和のとれた「生きる力の育成」に努め、中でもヘルスプロモーションの理念を生かし「自らの健康、自らつくる」健康教育の推進を図る。人型に教育目標を挿入した高松教育ビジョンや心の教育に重点を置いた教育構想略図を作成し、健康教育プランづくりにより実践場面や担当・活動する主な分掌を明示する。それらを受け、日々の健康教育目標は、「元気で来た子が元気で帰る。校門を去るとき明日への思いをつなげて。」である。今年度の視点は、学ぶ喜び・わかる喜び（自己受容）と、共に助け合い支え合う楽しさ（他者共感）から、「心の響き合い」を築くであり、「わたしが好き、あなたが好き、みんな好き」といった人間愛を基盤とする人間賛歌を家庭・地域社会・5小学校と連携しつつ、健康課題を共有し、共生の視点で推進する。

2) 教育計画での健康教育の位置づけ

学校教育全体で実施する健康教育を、一校務分掌だけでなくより多くの人と協働した健康教育計画を作成し、諸アンケートによる実態に基づく健康課題を設定する。



↑ 集会で全校生徒に教育構想を語る学校長と使用した資料の一部 ↑

2 健康教育計画

本校の健康課題（歯周疾患・視力・心の健康）と今日的な健康課題（STOP AIDS・たばこ・薬物）を重点的に、より多くの人や各委員会と協働した健康教育計画を作成し、調査での実態把握を基盤に学校保健委員会で活用し、実態に即した取り組みとする。5小学校の健康教育を受け継ぎ、地域の課題として捉え、多くの組織（PTA・生徒会・学校評議員会・健全育成推進委員会・区長会等）と協働推進している。

3 健康教育推進

1) 教育課程での位置づけ

①ノーチャイムと朝の10分間読書による一日のスタート、帰りの学活時の「心の記録ノート」による自己の振り返りを実践。静けさのある落ち着いた学校生活の保証を心がける。

②学校行事との連携

◆人権週間 ◆文化祭

2) 校内研修と連動した健康教育

①研修組織に心の健康を組み込む

【右に組織の一部を掲載】

②校内研修の一環として

- ・構成的グループエンカウンター職員講習を実施し、育てるカウンセリングを活用する。
- ・臨床心理士を講師に、心理的背景や発達の視点からの生徒理解を学び、指導に生かす。

3) 生徒会専門委員会

- ① 生徒会本部は、仲間づくりや集団の楽しさを経験する生徒集会を企画し、実践する。
- ② 保健委員会は、学校保健委員会推進の中心的役割を担い、事前の実態調査から事後の集会報告まで主体的に取り組む。各々の健康課題に対してピアサポート的関わりや、効果的な取り組みの工夫を積み重ね、課題の解決に貢献している。
- ③ 給食委員会は、「歯周病予防」食生活の改善を提案し、Caの多い食品展示や咀嚼回数調査や、「生活習慣病予防」食物繊維の調査や清涼飲料水の糖度測定を実施、報告。
- ④ 安全・整美委員会は、交通ルール・マナーの意識を高めるため、交通安全週間に安全登校の呼びかけ活動を学校近くの交差点で実践している。ストーブや扇風機の使用時のきまりを自主的に検討・提案し、生徒の視点で日々の管理に参加している。

校内研究の組織



- ⑤ 緑化委員会では、PTA 親子除草作業との連携や、プランター・花壇づくりを通して学校環境づくりを推進している。

4 家庭・地域社会との連携

1) STOP AIDS の啓発活動

本校生徒作成の看板を商店街に展示、レッドリボン・メッセージカードはPTA 保健部と街頭キャンペーンで配布。商店街のショーウィンドーに、各学校の「ストップエイズ」の取り組みを展示・紹介や、市庁舎ロビーのベビーキルト展示、NPO 組織の「レッドリボン」リンゴの販売などへの参加協力を通して、地域全体への啓発活動とする。

2) 家族会議

学校保健委員会の開催後には、生徒集会での報告により全校生徒の意識化を図る。テーマにより家族会議へ広げることで家庭への啓発活動とし、話し合いの結果を学校に届けてもらい、「保健だより」の形で家庭に配布し相互交流を実践している。

3) PTA 保健委員

- ①「学校保健委員会だより」を毎回の開催後に発行している。
- ②テーマによっては保護者の意識調査を実施し、H14の「中学生の男女交際」についてのアンケートでは、8割以上の家庭から意見が寄せられ、関心の高さがうかがえた。
- ③「歯周病予防」では、歯磨き名人へのPTA表彰や、ビデオレター「高松中の健康課題」を持ち小学校の学校保健委員会に参加し健康課題の地域での共有に貢献している。
- ④ストップエイズの啓発活動では、生徒保健委員と共にベビーキルトを作成する。

4) 5小学校との連携

- ①拡大学校保健委員会「中学生は本当に忙しい？」では、本校の学校評議員や5小学校の児童・保護者・関係職員の参加により開催し、中学生・小学生の事前調査結果や当日の子ども達の意見発表に対し、保護者や評議員から人生の先輩としての思いが述べられた。
- ②校外奉仕作業 卒業小学校区で小学生・PTA との異年齢集団で清掃活動
- ③選択教科での小学校訪問 ④入学前の6年生に卒業生が中学校説明のために小学校訪問



校外奉仕活動

小学生や
PTAと一緒に
清掃活動



選択教科
琴の演奏

小学校の
音楽会に
参加して



小学校を訪問して

学校説明



5) 区長会・PTA・5小学校と連携した3あい運動

地域ぐるみの挨拶と声かけによる「あいさつ ふれあい ひびきあい」運動を展開。

学校保健委員会

- 開催回数：年 5 回 + 文化祭 + 講演会 ○ 所要時間：原則として 1 時間
- 通常開催時の参加者：約 75 人【学校医(内科・眼科・婦人科)、歯科校医、学校薬剤師、PTA 会長
PTA 本部役員・保健委員・給食委員、生徒会本部役員、生徒保健委員、係教職員、】

| 月日 | 議 題 | 主な出席者 | 主な成果 |
|---|---|--------------------------------|--|
| H13 1/31 | 「中学生は本当に忙しい」 | 【通常】 十 5 小学校の児童 関係職員、評議員 | 中学校の実態や入学後の心 の変化を共通理解、児童の不安 解消、中学生の自尊感情の高揚 を図る。  |
| H13 6/6 | 「健康な歯肉を取り戻そう」 本校の健康課題：歯周疾患 | 【通常】 | ビデオレターを各小学校へ。 健康課題を共通理解し地域 で共有。各種活動を協働させ る。  |
| 7/11 | 「タバコ・薬物」 | | もやしの成長実験報告 や、スモークグスガイ使用を ビデオ撮影し視覚に訴える。  |
| 9/12 | 「地域と共に響き合う 健康づくり」 | | 地域連携・小中交流にて共通理解し親子共に 中学校への不安解消 |
| 10/24 | 高崎市学校保健研究発表会 (会場：高崎市文化会館) 「地域と共に響き合う健康づくり」 | | 生徒保健委員、PTA と で本校の取り組みを市内 関係者に紹介  |
| 10/25 | 文 舞台発表「地域と共に響き合う健康づくり」 化 活動紹介により理解と協力を得る 祭 展示 「STOP AIDS」啓発 AIDS世界の現状、パネルやDVDによる基礎知識の理解、他校の活動を 知り 次の活動の意識付けとする  | | |
| 「世界エイズデーinたかまつ」 11月下旬から1ヶ月 STOP AIDS啓発活動 ・生徒作成の看板を商店街に、ショーウィンドーに学校の取り組みを紹介 ・レッドリボン・メッセージカードはPTA保健部と街頭キャンペーンで配布 ベビーキルトは市庁舎ロビーに展示後、南アフリカから来日の方に贈る  | | | |
| 12/12 | 人権教育共催 「人はみな違うことに気づく」 | 【通常】 十全生徒・全PTA・ 全教職員 | アンケート結果、PFステージ の場面に対する各人の 反応を活用し、民族大 移動により、人はみな 違うことに気づく。  |
| 1/30 | 「目の健康」 | 【通常】 + 評議員 | 専門家のアドバイス、最新情報の紹介 |
| 2/14 | 元麻薬Gメンによる 薬物乱用防止講演会  | 1 年生徒全員 | 事前に生徒保健委員は 社会スキルトレーニング®を 実践し「上手な頼み方 ・断り方」 を会得  |

| No | 月/日 (曜) | テーマ | 内容 | 当日の様子 |
|-------|---|--|--|---|
| I | 5/29 (水) | 今年度の取り組み 本校の健康課題  | 健康診断結果報告 本校の実態と歯周疾患 ブラッシング指導の実際 よい歯の代表をモデルに歯 科医院でビデオ撮影 |  歯科校医の診療所で撮影 |
| II | 7/10 | 「中学生とストレス」  論理療法の説明 | ストレスの正体と対応につ いて 生徒の家庭生活や社会スキ ルの実態調査「100の質問」 を実施。当日は論理療法を 取り入れた活動 |  説明を受けグループで実践 |
| III | 9/25 | 「中学生の男女交際」 | 思春期の親の願いや、子 どもの実態について保護者 ・生徒にアンケートを実施 し、それに基付き意見交換 |  |
| 10/25 | 文化祭 STOP AIDSの啓発 キルトやパネル展示を通して  | 学校保健委員会報告をPTA保健部と共に ステージ発表  |  | |
| IV | 12/12 | 人権教育と共催 1.2年生参加で開催 「他者理解は口で言う ほど簡単じゃない」に 気づく | スクールカウンセラーと 共に生徒参加型での開催 寸劇を見て当事者の真意 を推測する。 寸劇①朝の挨拶の様子から ②メール交換のすれ違 い |  寸劇で真意を質問される保健委員 |
| V | 2/5 | 「人との上手な関わり方」  先輩の煙草のすすめを断る | 生徒保健委員が社会スキ ルトレーニングをモデリン グも含めて推進する。参加 者は全員が四人一組になり 実践。①一緒に帰ろうとの 誘いを断る ②煙草を勧め る先輩の誘いを断る |  自作のシナリオでロールプレイ |

保健・安全・給食の連携

学校保健委員会活動を核に広げ深める健康教育
健康環境づくり
レインボールーム
心の広場
音楽環境(歌声のある学校)

給食による健康環境教育等へのアプローチ

確かな基礎学力

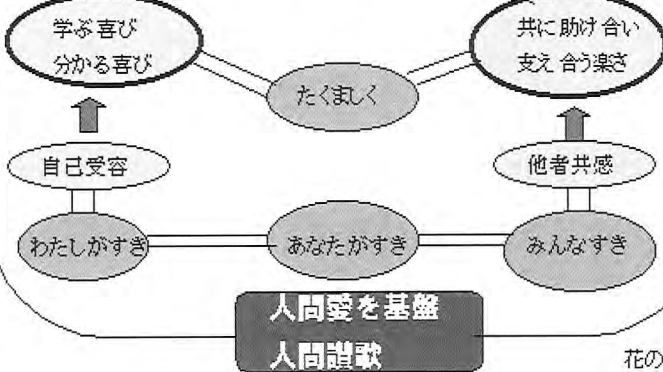
教育課程開発研究(全教職員での研究・授業改善・学力向上)
理科数学道徳(発表教科)
きめ細かな指導T・T
理科・数学・英語
前・後期制によるゆとりと充実
モジュール方式の授業
夢観きタイムで深化・発展
選択教科で充実

夢を抱き輝いて生きる

高く(知)豊かに(徳)たくましく(体)

元気がきた子が元気で帰る
校門を去るとき明日への思いをつなげて

心の響き合い



共生

豊かな心の育成

道徳の時間の授業の充実
「高松心のノート」で担任と交流
「今月の詩」「今月の歳時記」生徒会による心・環境作り
入学前6年生への学級訪問
ふれ合いソフトボール大会
愛の貯金箱(善行)
校外奉仕活動(地域交流)
健康教育と連携

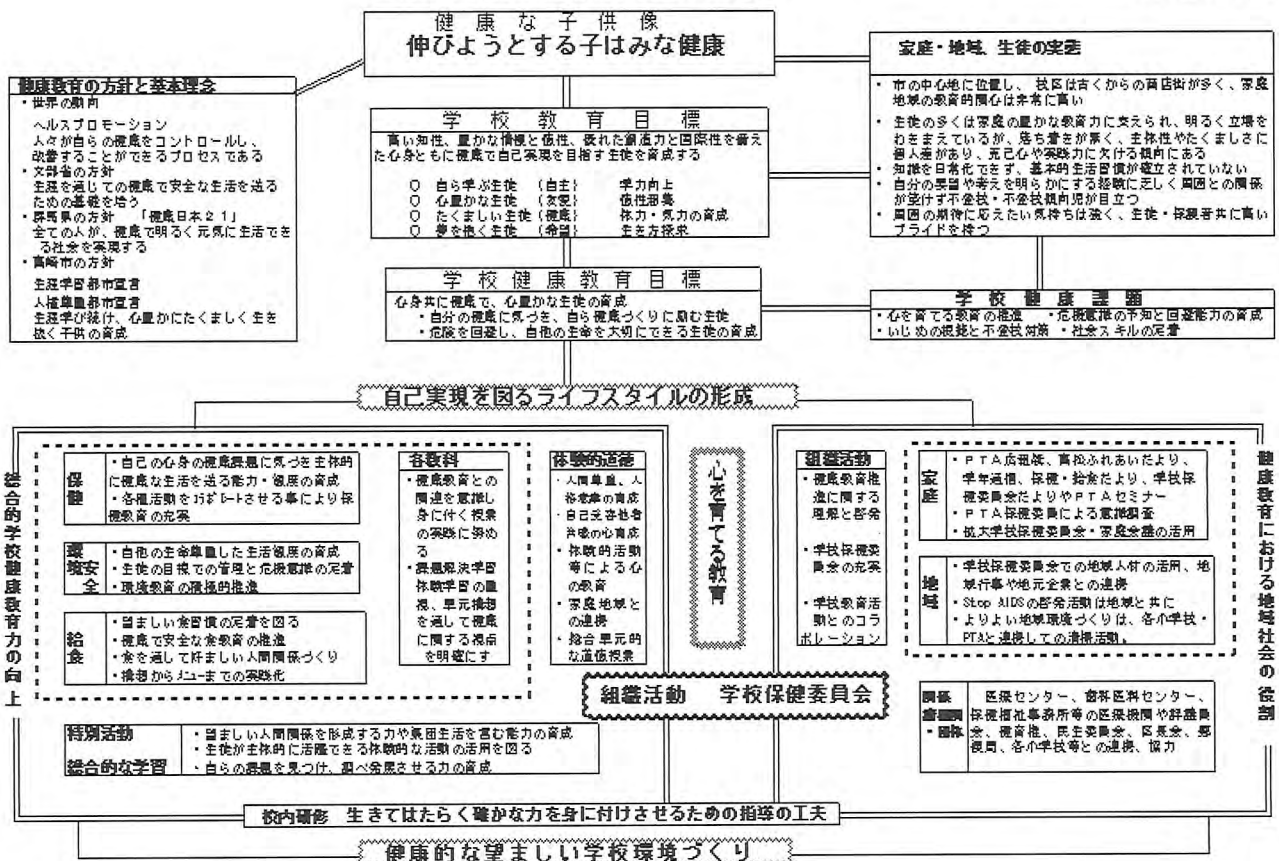
学級づくり

構成的エンカウンター
ピアサポート
ジェンダーフリー教育
時間を守り、時間で動く
ゆうあい学級との交流教育

地域と共に(5小学校・地域)

あい運動(5小学校PTA区長会)
文化祭フォーラム(地域のひと)
運動会(祖父母・父母と3世代で)
花の栽培(公的機関・お年寄りに配布)

平成14年度 健康教育全体構想図



| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|--------------|---|----------------------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 保健体育 | 1. 「心身の発達と心の健康」 体の発達・発育 呼吸循環機能発達 性機能の成熟、水痘の感染を抑制し、心身の発達を促す。 | 2. 「健康と環境」 環境の変化に伴う対応方法。 | 3. 「健康な生活と疾病の予防」 運動と健康 (現代生活と健康、障害スポーツと健康) | 着衣 食事と健康 | 着衣 食事と健康 | 水と私たちの生活 | 水と私たちの生活 | 水の処理 | 環境汚染と保全 | 病気の防止 | 自分の体について理解を深め、体力を高める運動 | |
| | 1. 身近な生物の観察 植物のからだのつくりととはたらき | 2. 分類 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 植物の光の性質 (ワックス) | 音の性質 | 力と圧力 | 物質の状態変化 | 気体の性質 | 水溶液の性質 | 地層と化石 | 火山 | 地震 |
| | 1. 世界の地域構成 | 2. 歴史の流れ | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 動物の生活の種類 | 動物の生活と種類 | 物質と化学反応の利 | 「地球と宇宙」 | 「地球と宇宙」 | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「科学技術と人間の生活」 | 身近な地域の歴史 |
| 社会 | 1. 世界の地域構成 | 2. 歴史の流れ | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 動物の生活の種類 | 動物の生活と種類 | 物質と化学反応の利 | 「地球と宇宙」 | 「地球と宇宙」 | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「科学技術と人間の生活」 | 身近な地域の歴史 |
| | 1. 世界の地域構成 | 2. 歴史の流れ | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 動物の生活の種類 | 動物の生活と種類 | 物質と化学反応の利 | 「地球と宇宙」 | 「地球と宇宙」 | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「科学技術と人間の生活」 | 身近な地域の歴史 |
| | 1. 世界の地域構成 | 2. 歴史の流れ | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 動物の生活の種類 | 動物の生活と種類 | 物質と化学反応の利 | 「地球と宇宙」 | 「地球と宇宙」 | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「自然と人間」 生物と生活の繋がり | 「科学技術と人間の生活」 | 身近な地域の歴史 |
| 家庭 | 1. 生活とつながりの関わり | 2. 中学生の栄養と食事 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 中学生の生活と地域 | 家庭生活と地域 | 技術の果たす役割 | 制作品の設計 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 |
| | 1. 生活とつながりの関わり | 2. 中学生の栄養と食事 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 中学生の生活と地域 | 家庭生活と地域 | 技術の果たす役割 | 制作品の設計 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 |
| | 1. 生活とつながりの関わり | 2. 中学生の栄養と食事 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 中学生の生活と地域 | 家庭生活と地域 | 技術の果たす役割 | 制作品の設計 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 | 衣食生活の課題と調理の応用 |
| 道徳 | 1. 礼儀・正義・男女の図 | 2. 集団生活、生活習慣 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 自立心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 |
| | 1. 礼儀・正義・男女の図 | 2. 集団生活、生活習慣 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 自立心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 |
| | 1. 礼儀・正義・男女の図 | 2. 集団生活、生活習慣 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 自立心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 | 愛他心、公徳心 |
| 総合的な学習 | 1. 身近な人の生き方を学ぶ (自己を見つめ、興味や適正を知り、将来への関心を高める。) | 2. 私たちの生活を支えているものから学ぶ (校外学習に向けて) | 3. 古語での体験を通して、地域社会の成り立ちの相違を実感すると共に、地域の持つ良さを再認識する。 | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) |
| | 1. 身近な人の生き方を学ぶ (自己を見つめ、興味や適正を知り、将来への関心を高める。) | 2. 私たちの生活を支えているものから学ぶ (校外学習に向けて) | 3. 古語での体験を通して、地域社会の成り立ちの相違を実感すると共に、地域の持つ良さを再認識する。 | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) |
| | 1. 身近な人の生き方を学ぶ (自己を見つめ、興味や適正を知り、将来への関心を高める。) | 2. 私たちの生活を支えているものから学ぶ (校外学習に向けて) | 3. 古語での体験を通して、地域社会の成り立ちの相違を実感すると共に、地域の持つ良さを再認識する。 | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) | 私たちの地域社会を支えているものから学ぶ (職業体験を通して自己課題を明らかにする) |
| 保健 | 1. 中学校生活、健康診断 | 2. 定期アセスメントと健康 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | |
| | 1. 中学校生活、健康診断 | 2. 定期アセスメントと健康 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | |
| | 1. 中学校生活、健康診断 | 2. 定期アセスメントと健康 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | 夏休みの生活 | |
| 安全 | 1. 登下校、部活の安全 | 2. 旅行と安全 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | |
| | 1. 登下校、部活の安全 | 2. 旅行と安全 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | |
| | 1. 登下校、部活の安全 | 2. 旅行と安全 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | 毎朝の安全確認 | |
| 給食 | 1. 楽しい食事ができる、給食の計画を立てよう | 2. カルシウムを摂ろう | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | |
| | 1. 楽しい食事ができる、給食の計画を立てよう | 2. カルシウムを摂ろう | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | |
| | 1. 楽しい食事ができる、給食の計画を立てよう | 2. カルシウムを摂ろう | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | 夏の栄養を考える | |
| 性教育 | 1. 男女協力 | 2. 男女理解 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | |
| | 1. 男女協力 | 2. 男女理解 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | |
| | 1. 男女協力 | 2. 男女理解 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | 中学生の体 | |
| 学校行事 | 1. 入学式、定期健康診断 | 2. 定期健康診断 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | |
| | 1. 入学式、定期健康診断 | 2. 定期健康診断 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | |
| | 1. 入学式、定期健康診断 | 2. 定期健康診断 | 3. 「運動とエネルギー」 エネルギー | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | 大運動会、教育相談 | |
| 生徒会活動 | 1. 対面式 | 2. 「書みがき名人」学級代表選出 | 3. 「書みがき名人」学級代表選出 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | |
| | 1. 対面式 | 2. 「書みがき名人」学級代表選出 | 3. 「書みがき名人」学級代表選出 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | |
| | 1. 対面式 | 2. 「書みがき名人」学級代表選出 | 3. 「書みがき名人」学級代表選出 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | 生徒会での学校保健委員会報告 | |
| 学校保健委員会 | 1. 入学説明会 | 2. 入学説明会 | 3. 「書みがき名人」学級代表選出 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | |
| | 1. 入学説明会 | 2. 入学説明会 | 3. 「書みがき名人」学級代表選出 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | |
| | 1. 入学説明会 | 2. 入学説明会 | 3. 「書みがき名人」学級代表選出 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | PTA・生徒保健委員 | |
| 家庭・地域への啓蒙・運動 | 1. 調理実習 (年間を通して) | 2. PTA・セミナー | 3. PTA・セミナー | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | |
| | 1. 調理実習 (年間を通して) | 2. PTA・セミナー | 3. PTA・セミナー | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | |
| | 1. 調理実習 (年間を通して) | 2. PTA・セミナー | 3. PTA・セミナー | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | 活動、健全育成、PTA広報紙、学年通書 | |

高松中学校保健委員会に保護者対象のアンケート作成・実施
 世界エイズデー in 高松2002でSTOP AIDSの啓蒙活動
 ほけん、学校保健委員会、給食だより

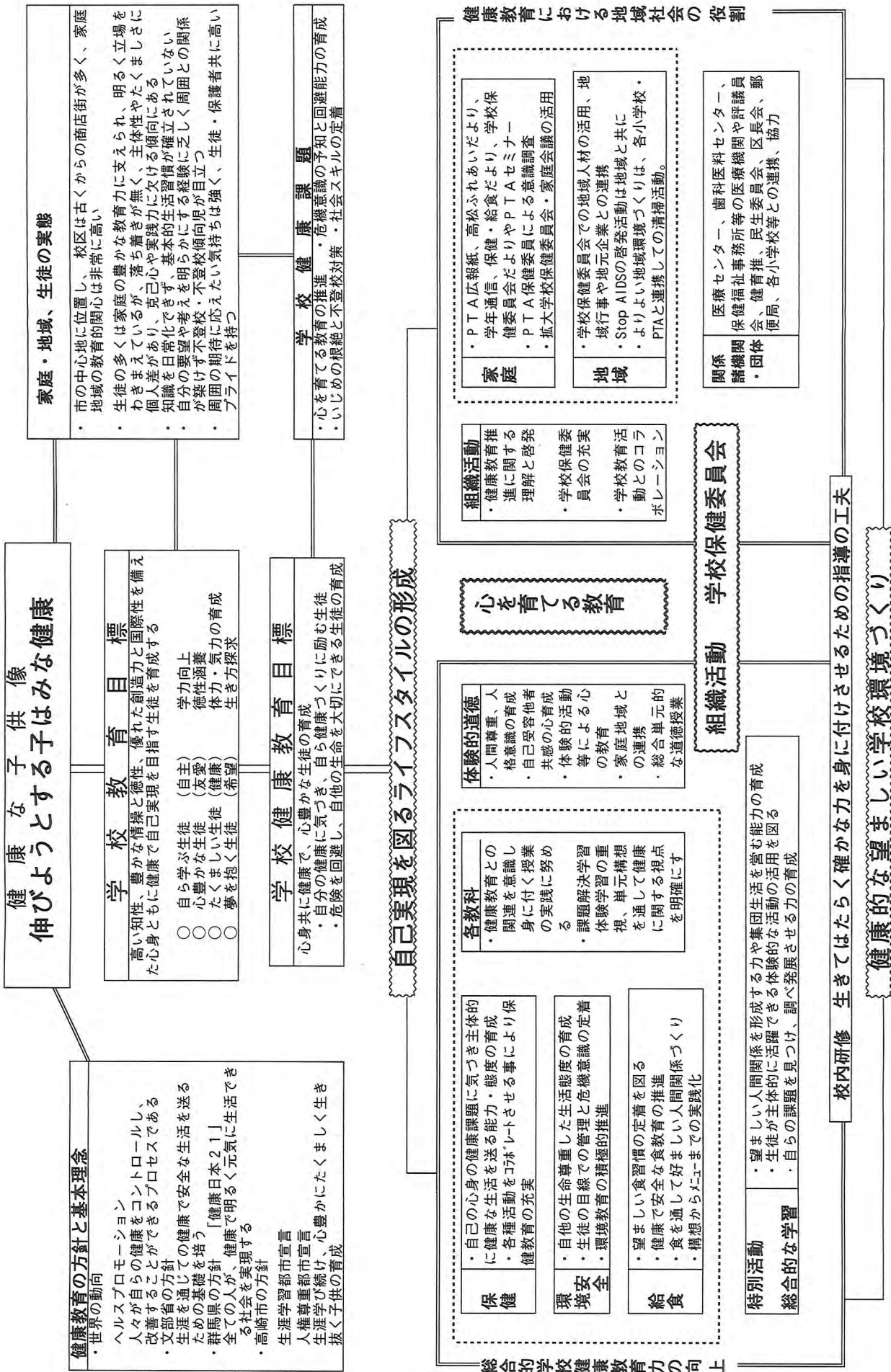
高崎市立高松中学校

平成14年度 学校保健委員会等の計画・実践

| N | 月/日 (曜) | テーマ | ねらい | 事前活動 | 本時の活動 | 事後活動 | 協働活動 (コラボレーション) |
|---|---------------------------|---|---|---|--|--|---|
| | | | | | | | 学校内 教科・領域・指導 生徒会・専門委員会等 学校外 P.T.A・家庭地域等 |
| 1 | 5/29 (水) | 今年度の取り組み 会則の一部変更 今年度の健康課題 「歯周疾患」の 現状と予防 | 本校の健康教育の狙いの明確化 現状に即した会則へのシフト 健康診断結果から本校生徒の健 康課題や生徒の現状・意識を明ら かにし、参加者それぞれ立場で 出来ることを考え、実践化する。 | 学校医、職員組織 PTA 保健部で協議 歯科検診時の歯垢染め出し 「歯みがき名人」学級代表選出の 給食後の歯みがき調査 歯科校医の「フロッグ」指導ビデオ撮影 ビデオの撮影 | 取り組み、会則の承認 生徒の実態報告 学校医のビデオ上映 歯周疾患の病態と現状報告 参加者の意見交換と校医の指 導助言、今後の行動表明 | ・学級報告 ・生徒集会報告 ・「歯みがき名人」学級代表を P.T.A から表彰 ・ P.T.A 作成 「学校保健委員会たより」の発行 | ・給食委員会 歯による食べ物展示 給食の咀嚼回数調査 歯による給食献立週間 ・美術部生徒のポスター作成 ・日常指導 ・臨時歯肉健診まで継続指導 |
| 2 | 7/10 (水) | 中学生とストレス | 本校生徒のストレス意識やその 背景・社会スキルの実態を明確化 することで、自己理解を深める。 論理療法を活用した実践により 「いらいら・むかつき」への対処 方法を身に付ける。 | ・実態調査「ストレス意識、社会対峙」 の作成と実施、集計、グラフ化 ・はじめの実態や過去の 練習、ワークシートの作成 | ・生徒の実態報告 ・取り組み説明後グループ分け ・別個での実践、意見交換 ・感想発表後、実践化へ向け ての校医の指導助言 | ・自己理解を深めるため標準化さ れた心理検査の実施 ・保健体育科の授業 ・学級活動での指導 ・学級発表表に繋げる | ・「歯みがき名人」表彰準備 作成 「学校保健委員会たより」の 作成 ・高崎市よい歯のコンクール ・むし歯予防のポスター展開催 |
| 3 | 9/25 (水) | 中学生の男女交際 | 本校生徒の男女交際に対する意 識や実態や思春期の特性を理解す ることを基盤に、望ましい交際の あり方を、参加者各々の立場から 協議する。 円滑な交際を可能にする「聞き 上手・話し上手」のスキルを学ぶ。 | ・ P.T.A 保健部による保護者アン ケートの実施 ・生徒の実態調査「意識と実際」 ・思春期の特性や意識を調べる ・対話レコーディングの情報収集とその実 践練習。 | ・学級報告 ・生徒集会報告 ・学級・学年会での活用 ・ P.T.A 作成 「学校保健委員会たより」の発行 | ・保健体育科、道徳の授業 ・学級活動での指導 ・各行事、長期休業の事前指導 ・文化祭発表表に繋げる | ・他校の生徒の実態と比較、情 報交換 ・家族会議に発展 ・小中の教科書内容をたよりと して家庭に配布・共通理解を 図る |
| 4 | 10/25 | 文化祭 展示 ステージ発表 | STOP AIDS の啓発 ペビキールト・パネル等視覚情報により、世界の状況や日本の置かれている立場や自分たちのやれることを理解する。 中学生の男女交際 第3回学校保健委員会報告 メッセージカードの作成による他者への働きかけや、自ら胸にレッドリボンを付けることでの意思表示を通し啓発活動を体験する。 (H14 4 月では、生徒・ P.T.A 保健委員で「一針ひと針に愛を込めて」ペビキールトを作成し、海外に送っていた。) | | | | ・他校の生徒のキルト展示 |
| 5 | 11/8 ～ 12/12 (木) | 世界エイズデー in たかまつ2002 人権教育と共催 「 ?」 全校生徒参加での 拡大学校保健委員 会(会場 体育館) | スクールカウンセラーと1年生 保健委員とで寸劇を実施し、人権 意識の基礎となる他者理解につい て、「口で言うほど簡単じゃない」 ことを実感する。 | 保健委員の寸劇「朝のあい さつ・メール交換での誤解」 を観ながら、スクールカウ ンセラーが参加生徒へのイン タビューをしながら進める。 教室に戻り感想文を書く | ・学級報告 ・生徒集会報告 ・ P.T.A 作成 「学校保健委員会たより」の発行 ・感想と家族会議の呼びかけと、その まとめの発行 | ・人権標語や作文等人権週間にお ける指導と連携 ・事前の学級活動で一般的な指導 を実施 ・道徳の授業 | ・ P.T.A 保健部作成のたよりの 他に、人権教育たより、学年・ 学校だより等により、多くの生 徒の感想を家庭に届ける |
| 6 | 2/15 (水) | 人との上手な関わり方 評議員等地域の 方々の参加を得て の拡大学校保健委 員会 | 保護者対象のアンケート結果、 親の「子どもに望むこと」や「子 育てで心がけている」事等を明確 すると共に、本校生徒の持つ社 会スキルの実態にあわせ、「コミ ュニケーション能力、上手な頼み 方、断り方等」のスキルの定着を 図る。 | ・先輩と一緒に帰ろうと誘わ れた時やタバコを勧められた ときの断り方を①モデルを 観る ②自分でシナリオを書 く ③ロールプレイで実践す る。 | ・学級報告 ・生徒集会報告 ・再度社会スキルの調査 前回と比較 効果まとめ ・ P.T.A 作成 「学校保健委員会たより」と保護 者のアンケート結果まとめの発行 ・家族会議の呼びかけ | ・保健体育科、道徳の授業 ・学級活動での指導 ・ Say No! の薬物指導に繋 がる ・学級活動で保健委員会が指導 者役になりエゴグラムを実施し、 自己理解を深める ・保健体育科の授業 ・各行事、長期休業の事前指導 | ・地域の公民館で開催しているピ アサポートの講座に保健委員の 有志が参加する |

学校保健委員会は、原則として本校視聴覚室にて4時～の1時間で開催
今年度の傾向・第1回 定期健康診断結果からの「体の健康課題」を取り上げる以外、本校生徒の実態や今日的な課題「心の健康」をテーマに取り組む。

平成14年度 健康教育全体構想図



Ⅱ 優 秀 校

<小 学 校>

<中 学 校>

<高等学校>

生活習慣病予防に取り組む「頭・心・体づくり」の健康教育

八戸市立種差小学校

1. 学校紹介

1) 自然環境

本校は、八戸市の東端に位置し、校舎からは広々とした太平洋を望むことができる。

学区は、県立公園「種差海岸」の中にああり、学校付近には風光明媚な景色があちこちに散在している。なかでも、北東から吹き付ける湿気に富んだ冷風が作り出す気候は、北海道または高山地帯と似た植物群落を形成し、そこに咲く可憐な花々は海岸に沿う芝生と共に訪れる人々に潤いを与えている。当地は、冷たい“やませ”の風の影響を絶えず受けるため、夏でも最高気温が20度を切るような寒い日が続くことがある。



2) 地域の産業

地域の産業としては、かつては漁業従事者が多かったが最近では、会社勤めに出る人がほとんどであり、漁業で生計を立てている人は少ない。

子どもたちの家庭は、3世代・4世代家族が多く、子どもたちは純朴でたいへん素直である。

3) 本校の健康教育

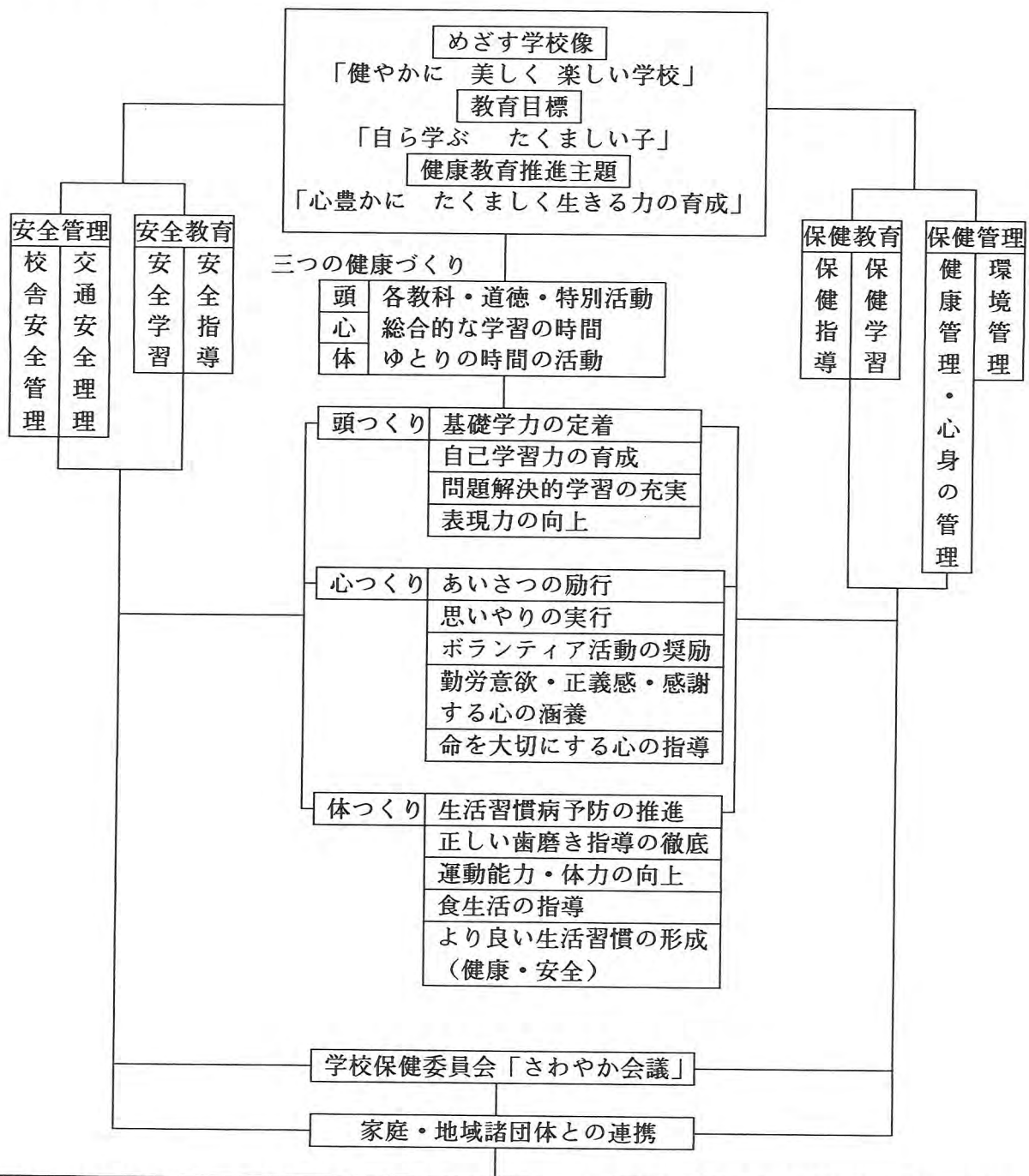
平成15年度現在児童は93名で、学年1クラスの小規模校である。

本校は今年度（平成15年度）で創立127年となる。昭和34年に県教委から学校保健研究指定校の委嘱を受けて以来、年度によって軽重はあるものの健康教育にかかわってきている。

本校の健康教育は、「頭・心・体」の三つの健康づくりを基調としたものが継続されてきており、バランスのとれた人間性豊かな児童の育成を目指している。

近年では、平成8年度に全日本健康推進学校として中央表彰を受けたほか、「全日本よい歯の学校最優秀賞」にも輝いている。また、平成12年度から生活習慣病予防に取り組み、同年青森県健康推進学校表彰の優秀校、八戸市健康推進学校表彰優秀賞、平成13年度には青森県健康推進学校表彰で最優秀校を受賞するなど、生活習慣病予防における健康教育の実践が定着してきている。

2. 健康教育推進全体図



- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • P T A 健康教室 • 環境整備 (花壇・校舎内外・通学路) • 親子読書 • 親子音読 • P T A 研修旅行 • 学年 P T A 親子レクレーション • 町内児童会指導 • 変質者対策 • バザー開催 • 教育講演会 | <ul style="list-style-type: none"> • 廃品回収作業 (地域) • 交通安全指導 (PTA・安協) • 町内対抗球技大会 (主催青少年協議会・防犯協会) 夏休み・冬休み • 公民館事業への協力 • 敬老会への協力 • 「子ども110番の家」設置 • 観光まつりへの協力 | <ul style="list-style-type: none"> • 南浜地区小中学校連携協議会 学校相互訪問 芸術鑑賞教室の開催 • 南浜地区健康づくり推進協議会 料理教室への参加 健康教室の共催 • その他協力 (支援) 団体 市健康増進課 学校薬剤師 給食センター 獣医 市学校保健会 福祉施設 市学校歯科医会 漁業共同組合 学校歯科医 老人クラブ等 |
|--|--|---|

3. 健康教育の基本姿勢

基本的な生活習慣の形成と生活習慣病予防を中心として、各種の調査や検査結果をもとに、具体的な実態に基づいた取り組みをしている。また、地域の関係機関や団体の協力や支援を受けるとともに、学校・家庭・地域が一体となった活動を展開している。

4. 校内の健康教育推進

1) 教育課程への位置付け

- ① 「総合的な学習の時間」に全校で取り組む「健康」を設定する。(校内研修で取り上げる。)
- ② 学年毎に保健指導を設定し、発達段階に応じた指導をする。
- ③ 全校一斉の保健指導を設定し、意識・習慣の徹底を図る。
- ④ 規則正しく健康な毎日が過ごせるよう、児童一人一人に児童手帳「のびる子」をもたせて学習・健康・安全の自己管理をさせる。
- ⑤ 児童一人一人に運動を継続させるために「のびる子タイム」を設定し、校庭マラソンとなわとび運動、本校オリジナルの「浜っ子体操」に取り組ませている。
- ⑥ 給食終了後、市学校保健会製作の「歯磨きビデオ」を各教室に放映し、正しい歯磨きの定着を図っている。
- ⑦ 各種学校行事との関連
◆大運動会 ◆遠足 ◆音楽発表会 ◆交通安全教室 ◆避難訓練

2) 校内研修への位置付け

- ① 総合的な学習の時間に「健康」を取り上げ、生活習慣病予防に主体的に取り組ませる方法を明らかにする。

研究主題「たくましく生きる子を育てる総合的な学習（健康）」

ア. 研究主題設定の理由

本校では総合的な学習の時間に「健康」を取り上げた。

児童に主体的に生活習慣病予防に取り組ませるには、児童の興味関心のあるテーマを設定させ、児童自身の手で健康づくりについて追求させていくことが最もよい方法であると考えた。

イ. 研究のねらい

子どもたち一人一人が豊かな心を持ち、たくましく生きていく力を育てるための総合的な学習の単元や授業の在り方について実践を通して明らかにする。

ウ. 研究仮説と方法

健康に関する課題を児童自ら設定し、体験的に問題を追求することによりよりよい生活習慣が身につく、心身ともに健康でたくましく生きる児童が育つ。

問題の追求にあたっては、異年齢集団の「なかよし班」活動が中心となる。

学校保健委員会で保護者や地域の方々に取り組みを発表し、生活習慣病予防を呼びかけ

る。保健委員会と児童会が運営する。

各班及び各児童の夏季休業中の体験的な取り組みを支援する。

エ. 研究年間計画（抜粋）

| 月 | 研 究 内 容 |
|-----|--|
| 4月 | 研究主題・仮説等についての共通理解 「なかよし班」オリエンテーション 「総合的な学習の時間」年間指導計画の見直し |
| 5月 | 「総合的な学習の時間」の評価について 年間指導計画に基づく具体的な教材研究 「なかよし班」の問題設定 個人テーマの設定 |
| 6月 | 異年齢集団における問題解決のさせ方についての研修 「なかよし班」の問題に関する専門的な機関からの情報収集 学校保健委員会「さわやか会議」での問題発表及び親子での検討 |
| 7月 | 「なかよし班」研究中間発表会 |
| 8月 | 問題の追求（体験的な実践） |
| 9月 | 学校保健委員会「さわやか会議」での研究発表会 |
| 10月 | 研究のまとめ（評価） |
| 11月 | 個人テーマの追求 |
| 12月 | 個人テーマのまとめと原稿作成 |
| 1月 | 研究のまとめ発行 |
| 2月 | 次年度の研究について |

② 各班ごとの追求テーマ

| 班 | 班の追求テーマ |
|---|---------------------|
| 1 | どんなおやつが体にいいか？ |
| 2 | 寝る子はよく育つのは本当なのか |
| 3 | 塩分をとりすぎない生活を |
| 4 | おやつのみみつ |
| 5 | レッツゴー！どこでも運動リフレッシュ！ |
| 6 | めざせ！有酸素運動名人！ |
| 7 | 野菜は歯にもいいの？ |
| 8 | 規則正しい生活とは |



塩分計で調味料の塩分を計測。味覚について体感的に調べる。

3) 主な具体的取り組み

① 学年で行う保健指導

保健指導年間計画により、学年で指導する。できれば、専門の外部講師を依頼する。

1年生「こどものは おとなのは」



ゲストティーチャー 養護教諭

3年生「けんこうな生活」



ゲストティーチャー 学校薬剤師

② 全校一斉の保健指導

児童の実態から、重点として取り上げて指導しなければ事項について全校一斉の保健指導を行っている。実施後は、児童手帳「のびる子」に個々に振り返りをさせ、正しい習慣形成が確実に身に付くようにしている。

歯磨きについて（テレビ放送で指導する）



目と姿勢について（全職員が内容を分担して指導する）



③ 「のびる子」タイムの設定

2校時終了後、15分間全校一斉の運動を実施している。夏季は校庭マラソン、冬季はなわとび運動である。この運動を始める前に、児童の興味のひく音楽に合わせた「浜っ子体操」（本校職員の創作）をさせている。

マラソン・なわとび運動は、児童手帳にめあてとその日の結果等を記入させる。

④ 各種調査

ア 生活実態調査 長期休業明けに児童一人一人に実施する調査で、就寝時刻・起床時刻・朝食の摂取・排便の状況について調べ、家庭と連携して生活のリズムを整える。

イ 歯みがきカレンダー 家庭での歯みがきの様子を調べるものだが、家庭と一緒に歯みがきをすすめるようにしている。歯みがきの状況を調べるためにカラーテスターを配布している。

校庭マラソン

(下学年は1000m・上学年は1500m)



浜っ子体操（体力的に落ちている面を補強する運動も含まれる）



5. 家庭・地域社会と連携した健康教育

1) 家庭との連携

生活習慣形成の基礎は家庭である。健康に関する家庭の理解を深め、共に健康づくりをすすめるようにすることが学校の最も大切な役割であるという認識にたって実践している。

① 学校保健委員会

学校保健委員会はさわやか会議と呼ばれ、保護者や地域の代表の方々にも出席していただいている。いろいろな問題について専門の講師を招聘して話し合う。話し合いばかりではなく具体的な取り組みをするためのものである。14年度は以下のような内容で開催した

| 議 題 | 講師と参会者 | 内 容 |
|----------------------------------|---|--|
| 生活習慣病予防のためのテーマを発表しよう（80分） | 八戸市保健師 坂本泰子先生 児童・保護者・職員 | 親子で生活習慣病予防のためのテーマを設定し、今後の取り組み方を決めた。具体的に手立てが明らかになった。 |
| 生活習慣病予防のために自分たちが調べたことを発表しよう（60分） | 八戸市保健師 坂本 泰子先生 児童・保護者・職員 | 児童が、いろいろな方法で追求したことがアイデアに富んだ内容で発表され、健康づくりへの意欲が実践的に高まった。 |
| 生活習慣病予防で実行できることを考えよう（60分） | 小児科医 縄田 與幸先生 児童・保護者・老人クラブ・地区健康づくり協議会会員・職員 | 地域とともに生活習慣病予防に取り組むきっかけを考えるために意見の交流ができた。 |

さわやか会議の終了後、各学級ごとに学級懇談を行い、全校で話し合われたことについて保護者と学級担任が情報交換し、児童個々の実態に即して対応を決める。保護者の仕事の都合上等で出席出来ない保護者には、個人面談日で徹底するようにしている。

平成15年度から地域と一体となった取り組みをすることになり、地区の健康づくり推進協議会の会員にも参加をしていただき、学校と一緒に実行できる健康推進活動を行っている。

学校保健委員会の様子

班で調べたことの発表の様子



講師の小児科医の指導



② 親子健康教室

土曜日が完全に休みとなり、児童が家の中に閉じこもりがちにならないように、主として毎月第3土曜日にPTA主催の健康教室を行っている。

親子凧作り教室の様子



親子卓球教室の様子



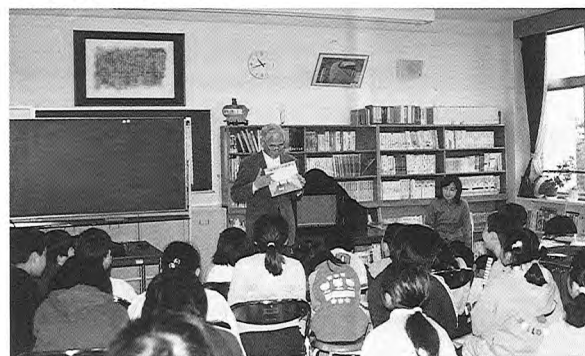
2) 地域・関係機関との連携

- ① 家庭は地域を母体にしているので、児童や保護者が地域と一体になった健康づくりをすすめることは健康に対する意識を高めるためにはたいへん有効である。また、少子化・高齢化が進展し、人間関係が希薄化している当地域では健康づくりに関するいろいろな活動が人と人の絆を結び、地域の活性化にもつながる。今後、地域との関係を重視した活動を工夫することが課題である。

老人クラブとの交流会(昔のお話を聞いたり遊びを楽しんだりした)



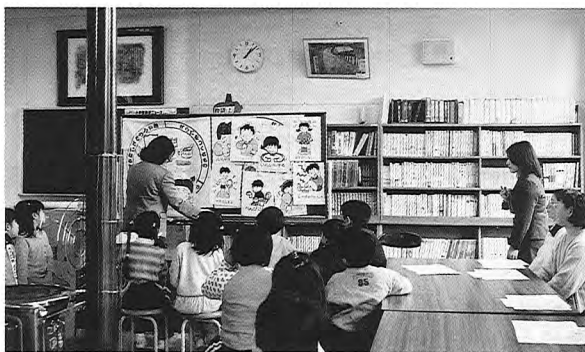
朗読教室(朗読ボランティアが読書の仕方を分かり易く指導する)



② 関係機関との連携

関係機関は、専門的な知識や技術、器具を保持している。これらを有効に活用させていただくことによって、より充実した活動をするようにしている。

給食センター栄養士による栄養指導（給食の栄養分について親子で学習した）



学校薬剤師会による教室の空気汚濁調査（専門の機器を使用して分析した）



学校歯科医の歯磨き指導（年3回、学校で直接指導にあたる）



保健福祉施設との交流（楽しみながら障害者についての理解を深める）



漁連種苗施設での学習（アワビの稚貝の育て方を学び、自然保護の大切さを実感する）



ウニの調理指導（地域の方から特産のウニの調理について指導を受ける）



③ 南浜地区小中学校連携協議会との連携

当地域は南浜地区と呼ばれ、小学校3校、中学校1校で南浜地区小中学校連携協議会を結成している。

ア. 授業参観と生徒指導についての情報交換

持ち回りで授業を公開し、小中間で児童生徒の学習・生活面での情報を交換し・共通指導

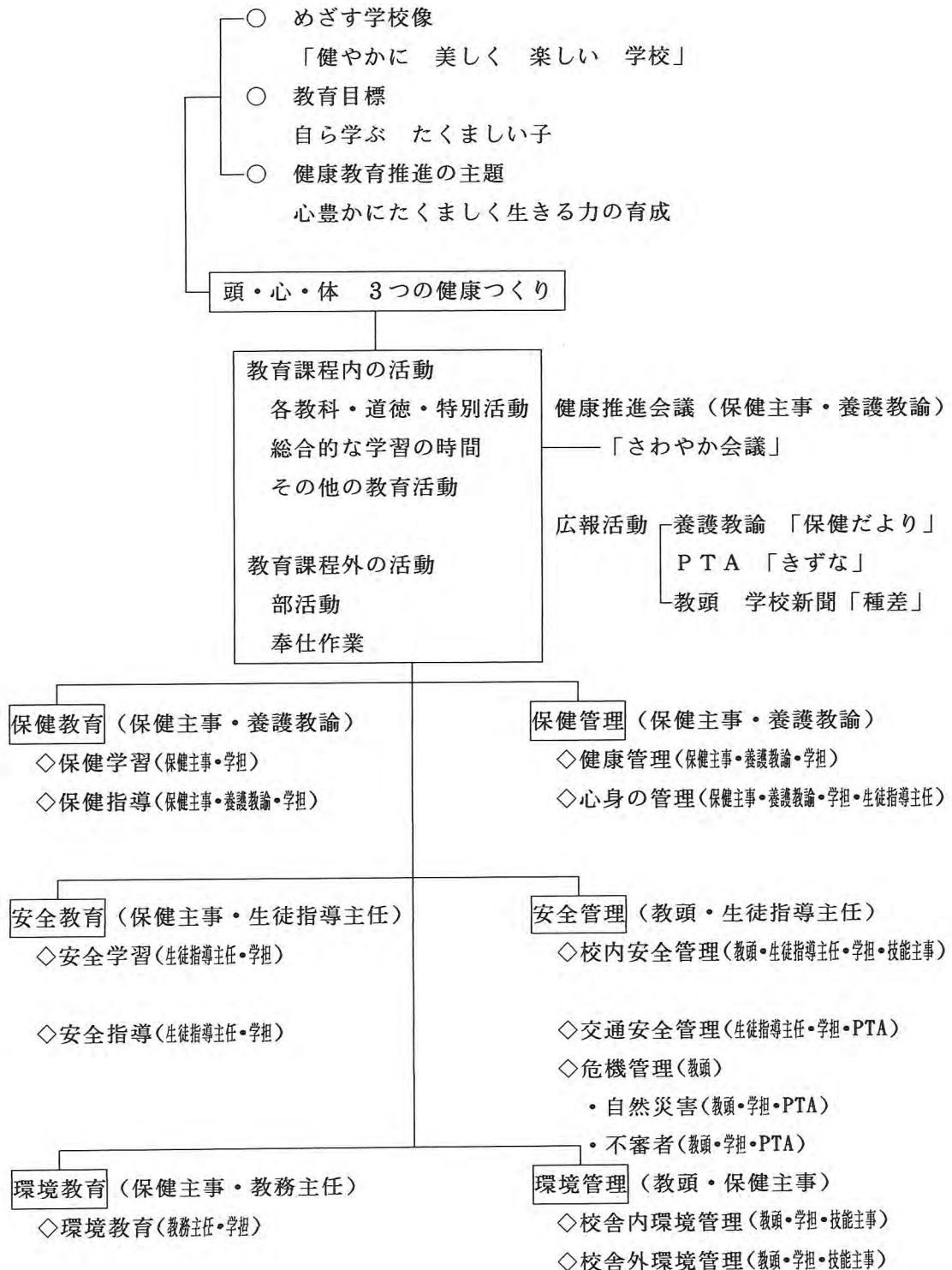
事項を話し合う。

イ. 芸術鑑賞会を共催し、単独校では開催できない芸術鑑賞会を開催する。(当番校)

ウ. プールを共同で運営する。

エ. 緊急事態発生時(地震・津波・不審者対策等)に情報を交換し合い、共同歩調体制をとる。

資料. 1 健康教育の推進組織



自分の健康は自分で守れる子の育成を目指して

高崎市立浜尻小学校校

1 学校の概要

昭和57年に開校し、今年で22年目を迎える。住宅地区であるが、大型商店街や問屋街などもあり、主要幹線道路や鉄道が通る。本校の児童数は451名、15学級の中規模校である。児童はおおらかで率直であり、落ち着いて学習に向かうが、根気強さに欠け、覇気が足りない点がある。教育について親や地域の関心は高く、PTA 活動や地域の活動も盛んであり、協力的である。

2 学校教育目標と健康教育

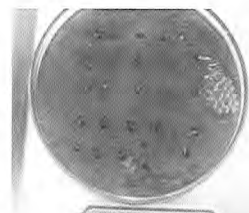
めざす児童像は、「心豊かでよく学び、たくましく生きる浜尻小児童」である。学校教育目標「豊かな子 学ぶ子 元気な子」を受け、健康な子供像は「伸びようとする子はみんな健康」である。学校健康教育目標は『自分の健康は 自分で守れる子の育成（人の健康も考えられる子）』を掲げ、取り組んでいる。基本的な生活習慣を正しく身につけ、進んで健康的な生活を実践しようとする子どもの育成と、相手の立場に立って考え思いやりをもてる子どもの育成を目指し、家庭・地域と協力しながら健康教育の推進に努めている。

3 日常の実践活動

○ 開校以来続いている「縦割り清掃」は、1～6年が一緒になって縦割り班を作り、校舎内外の清掃を行っている。上級生が下級生の面倒をみながら異学年との交流活動ができる場であり、友達の良さを認め、協力しあう活動として児童にも人気が高く、担当職員がいるいろいろな児童を知る場ともなっている。



○ 総合的な学習「生き生きタイム」では、『健康』の領域があり、「おやつとむし歯、食べ物の旅に出かけよう、自分たちの食生活を考える・エイズについて考えよう・体に悪いことはなにか考えよう」などの単元を作り学年ごとに計画を立て実践している。5～6年生は「なぜ、たばこ・お酒・薬物はいけないの？」と



こいたばこ水



うすいたばこ水

いう講演を聞き関心を高めた。6年生は、煙草、酒、薬物の害などを調べた。調べた結果を、各学級をまわって発表し、他学年の児童にも知らせる活動を行なった。

- 学校給食が自校方式であることの良さを活かして、地場産の安全な食材を取り入れ、セレクト給食や暦の行事に添ったメニューで、食に対する関心を高める工夫をしている。栄養士による栄養指導、総合や生活科でTTで授業にも参加している。

- 給食後、歯みがきの時間を5分とり、教室で自作の歯みがきビデオ「ピカピカの歯ってすてきだね」を見ながら担任と児童と一緒にみがいている。1学期に1クラス45分間とり、歯科保健指導を担任・養護教諭・栄養士とのTTで行っている。夏期休業中は親子で歯垢染色テストをし、家庭での歯みがきを見直している。



- 「自分のけがは自分で手当」を合い言葉に、養護教諭、保健委員が指導しながら行っている。PTA保健委員会で作成した「けがのてあて」は家庭にも配布している。



- 体力作りでは、週一回業前運動を実施している。準備運動として本校自作のストレッチ体操を行い、続いて、サーキット運動、持久走、リズム縄跳びで年間を通した児童の体力作りをめざしている。



- 毎月1日に「すこやか測定」を実施している。肥満傾向の児童で希望者には、20分休みに身長・体重を保健室で測定し、その結果は「すこやか測定カード」で保護者に連絡している。学校・家庭で協力しながら、肥満解消に向け努力している。

4 学校保健委員会

- 1) 年間5回計画的に行なっている学校保健委員会では、毎回全学級へアンケートをとり、全学級で事前討議資料をもとに話し合い、学級の意見や全校の実態から、問題点に気づきそれを解決していく方向で進めており、学校医・学校歯科医・学校薬剤師からは、適切な指導・助言がある。議題によっては、他の委員会の担当者や児童にも出席してもらい、拡大学校保健委員会を行なっている。また、年1回は学校評議委員が出席している。毎回「運営案」や資料を作成し、事前に配布して、効果的な話し合い・運営ができるようにしている。事前、本時、事後報告まで、全児童参加のものにする努力をしている。特に報告には力を入れ、教員・児童・PTA保健委員がそれぞれ「学校保健委員会報告」を作成し報告する他、児童集会で、クイズや寸劇を取り入れて全校へ報告し、実践化へつなげる努力をしている。

2) 学校保健委員会の議題

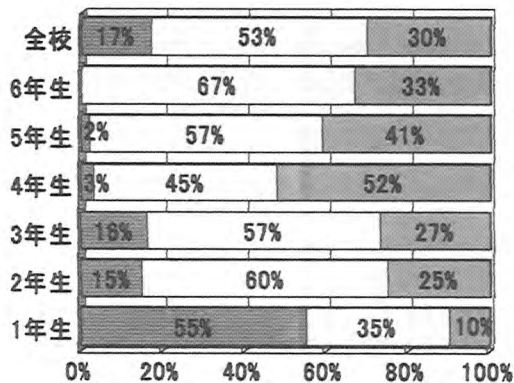
議題については、毎年最後の学校保健委員会の時に PTA 保健委員・児童保健委員から次年度に取り上げたい議題を出してもらい、その中から選んでいる。

平成13年度 学校保健委員会

| 月日 | 議 題 | 主な内容や成果 |
|------------|-------------------------------|--|
| 5/30 | ・組織作りと年間計画 ・よくかんで、しっかり歯みがき | よくかむことや歯によい食べ物、一日の歯みがきのようす、歯の治療など |
| 6/27 | ・私達の食生活と生活習慣病 | 生活習慣病とは何か、どんな病気があるのか食生活と生活習慣病との関係や対策。 |
| 10/17 | ・アレルギーを知ろう ・耳や鼻を大切に | アレルギーの症状・原因・予防法(内科校医アレルギーを知らない人に理解してほしい事 中耳炎・外耳炎・鼻炎・蓄膿症などの原因や症状 (耳鼻科校医) 耳や鼻を守るために注意していること。 |
| 11/21 | ・世界エイズデーを前にして | エイズという病気を知り、移り方や予防法、「レッドリボンの意味」、差別について話し合う。私たちは何ができるか話し合い、レッドリボン配りや保健集会での発表を行う |
| H14 2/6 | ・私達の生活と環境問題 ・一年間の反省 | 良い環境、悪い環境とは。ダイオキシンの毒性と発生の原因。温暖化の原因やその影響。水の汚れやオゾン層の破壊が私たちの体に及ぼす影響。 みんなでやろう、節水・電気の節約 |

よくかんで しっかり歯みがき
1. あなたは、食事をよくかんでいますか。

- よくかんでいる(1口30回くらい)
- ふつう(1口20回くらい)
- あまりかまない(10回くらい)



全校保健集会で節電と節水を呼びかけた

平成14年度 学校保健委員会

| 月日 | 議 題 | 主な内容や成果 |
|------------|---|---|
| 5/22 | ・組織作りと年間計画 ・心身の健康について考える1(食・排便) | 良い食習慣を身につけよう。 学校で安心してうんこができますか？ |
| 6/26 | ・心身の健康について考える2(睡眠・運動) ・みんなでやろう、電気の節約(確認) | 運動を楽しんでするためには、深い眠りに つづための工夫は、浜尻小の電気代の節約 |
| 10/11 | ・目の健康について考えてみよう (テレビ・テレビゲーム関連) | テレビ・テレビゲームと目の疲れ。目の健 康で注意したいこと、もし、見えなかったら、 眼科校医も出席し、目の健康について、わか りやすく話してもらう。 |
| 11/20 | ・かぜ、インフルエンザに負けない ために何が出来るか考えよう | 手洗いの実験で、手洗いの大切さを知る。 かぜにかからない生活、かぜを早く治すには |
| H15 2/5 | ・省エネ生活をやってる？ ・一年間の反省 | 省エネは、地球の温暖化を防ぐ。家庭や学 校でできる省エネ。きれいな水を大切に |



「世界エイズデー in 浜尻」

児童が作ったレッドリボンとメッセージカードを PTA 保健手洗いの実験を見る。委員と一緒に街頭キャンペーンで配布する。



保健集会で、児童作成の保健委員会報告を見る。



手洗いの実験で、手洗いの大切さを知る

どうしたら、安心して学校でうんこができる？

- ・からかわない・ひやかさない・いじめない
- ・もんくを言わない(からかう人をなくす)
- ・気にしない・励ます



- ・トイレがきれいだといい
- ・みんなが汚さなければでき
- ・すました後汚したら、自分でそうじする

- ・洋式トイレだといい
- ・明るいトイレにする
- ・のぞかれないように、すきまをなくす
- ・音がしないようにする
- ・無理だと思う

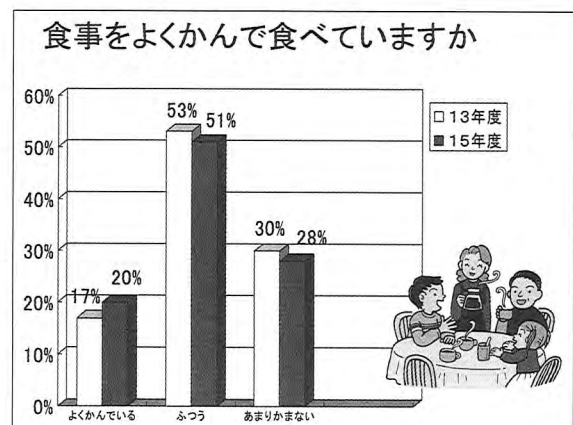


平成15年度 学校保健委員会の予定

| 月 日 | 議 題 | 主 な 内 容 |
|------------|------------------------------------|--|
| 5/21 | ・組織作りと年間計画 ・よくかんで、しっかり歯みがき、丈夫な体 | 平成13年度と同じ内容の学校保健委員会討議資料でアンケートをとり、歯みがきの様子などを2年前と比較した。よくかむ・歯みがきなど、学級や家庭でよい習慣をつける。学級では給食後の歯みがきの徹底をはかる |
| 6/25 | ・食事について考えよう | 全校のアンケートの結果から、食事やおやつなど、食生活について考える。給食委員会の児童も参加し、給食前の手洗い・残菜や給食時の様子などについても話し合う。 |
| 10/22 | ・友達と仲良くすることを考えよう | 心の健康や友達とのかかわりかたを考える。友達と仲良く楽しい学校にするためには、どんなことができるか話し合う。 |
| 11/19 | ・たばこの害を知ろう | たばこの害を知り、友達などに「吸わない」と誘われた時、どうするか考えさせる。 |
| H16 2/4 | ・花粉症を知ろう ・一年間の反省 | 花粉症の児童が多い。花粉症を知り、症状を軽くする方法や生活の仕方を考える |



アンケートをまとめたり、調べる



調べた結果をわかりやすく発表する



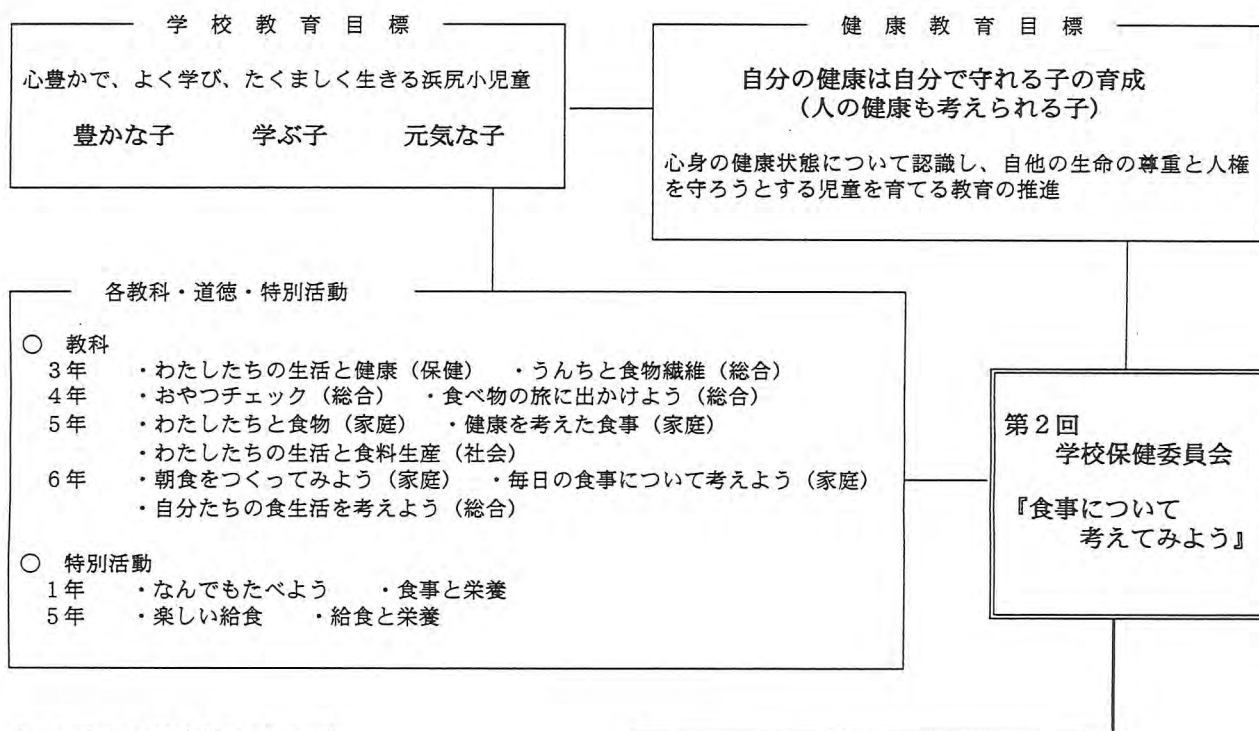
第 2 回 学校保健委員会運営案

平成15年6月25日(水) 14:45~15:45

《 議 題 》 食事について考えてみよう

《 ねらい 》 ・心身の健康づくりの基礎となる、健康によい食事やよい食習慣について話し合い、自分の食生活を考える。
 ・給食が栄養的に工夫され優れていることを知り、残さず給食を食べることの大切さを考える。

《 各教科・特別活動との関連 》



《 本時と事前事後の活動 》

| 事前の指導・活動 | 本時の活動 | 事後の活動 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 全校児童 <ul style="list-style-type: none"> ・学級討議資料による話し合いと実態調査 ○ 児童保健委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査の報告準備と個人の考えをまとめる。 ・食事や栄養について調べる。 ○ 児童給食委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・給食の残菜の様子についてまとめる。 ○ PTA・校医 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布された資料に目を通し、活動の流れをつかんでもらう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学級討議の調査結果報告 ○ 食事と肥満・生活習慣病等との関係を知る。 ○ 給食の栄養の工夫や願いを知る。 ○ 普段食べている食事について考え、工夫できる点を話し合う。 ○ PTAとして家庭でできることについて話し合う。 ○ 三師会の先生方の指導を受ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童保健委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・「ほけんつうしん」の発行 ・保健集会でクイズや劇などを取り入れて全校に報告する。 ○ PTA保健委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校保健委員会便り」を家庭に配布して報告 ・家庭での実践 ○ 教職員 <ul style="list-style-type: none"> ・報告書を作成して朝会で報告、指導を依頼する。 |

〈本時の流れ〉

| 時間 | 議 事 の 流 れ | 児童保健委員 | P T A | 教 職 員 | 校医・薬剤師 |
|-----|--|--|----------------|--|-------------------------------------|
| 5分 | 1 開会の言葉 2 あいさつ | | 保健委員 会長挨拶 | 校長挨拶 | |
| 20分 | 3 議題について話し合う。 (1)「食事について考えてみよう」について全校にとったアンケート結果や調べたことを聞いて話し合う。 ○食事と健康との関係について | ①「朝食を食べてきましたか。」「きのう夕食を食べましたか。」のアンケート結果を発表する。 (6の1) ②「学校に来てからの体調はどうですか。」のアンケート結果を発表する。 (宮下・深沢) ③「おやつや夜食を食べますか。」のアンケート結果を発表する。(杉浦) ④食事と肥満の関係について調べたことを発表する。 (坂井み・福島) ⑤ファーストフードやおやつについて調べたことを発表する。 (安田・坂井ま) | | ・おやつやファーストフードを食べる時に気をつけていることを話す | ・朝食の大切さや、食事と健康との関係について話す。 (内科校医) |
| 20分 | ○給食について | ④「好き嫌いがありますか。」についてアンケート結果を発表する。 (宮下・深沢) ⑤「給食は残さず食べられますか。」についてアンケート結果を発表する。 (5の2) ⑥各学年の残菜の様子を発表する。(給食委員) ⑦給食委員会からのお願いを話す。(給食委員) | | ・給食の栄養の工夫や献立にこめられている願いについて話す。 (栄養士) ・本校の給食の特色や優れている点を話す。 (田村) | ・食中毒について話す。 (薬剤師) |
| 12分 | ○夏休みの献立を立ててみよう。 | ⑧あらかじめ立てておいた献立を発表する。 (6の1・5の2) ・発表された献立について、意見やアドバイスをする。 | | | ・本日の話し合いについて講評する。 (歯科校医) |
| 2分 | (3)話し合いのまとめと今後の活動について確認する。 | ・各学級で食事の大切さや給食の優れている点について話し合う事や保健集会での報告の確認 | ・全家庭へ報告作成の準備確認 | ・給食の良さや片付けについて指導することを確認 | |
| 1分 | 4 閉会の言葉 | | 保健委員 | | |

地域に学び、地域に生きる子どもの育成

—— 健康づくりを通して ——

東京都北区立王子第二小学校

1. 学校紹介

本校のある北区は、荒川を境に埼玉・川口市と隣接する商業住宅都市であり、JR 埼京線・京浜東北線・地下鉄南北線などの交通の便にも恵まれている。

中でも学区域の位置する王子の高台の地域は、王子神社や飛鳥山公園、音無川親水公園が近くにあり、王子稲荷神社・名主の滝公園と校舎の塀で接している。古い歴史や文化と共に、一部商店街、公団住宅などの住宅地域をひかえている。伝統を大切にされた地域の人々に守られ、祭礼や伝統の中で子どもたちの心が育つ部分は非常に大きい。

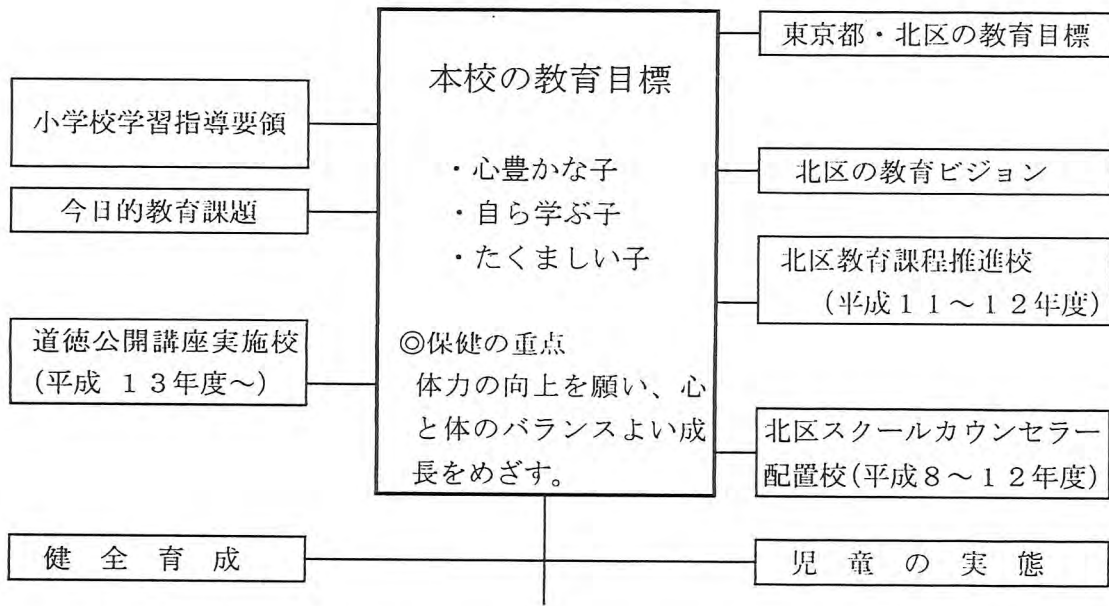
自分の住んでいる地域や地域の人々を大切に思う心を育てると共に、歴史や文化を次の世代に伝えていける子ども、自分たちの生活に課題をもち自分たちの力で課題解決をしていける子どもに育ってほしいと願っている。五年前の八十周年行事以来“地域とともに学ぶ”を研究テーマに「地域人材一覧」を作成し、地域の人々を講師に招いて総合的な学習や道徳の授業、保健学習や保健指導を展開している。さらに子ども一人ひとりが自分で学習課題を見つけ、自分で解決していく力を育てる学習指導に取り組んでいるところである。

本校の子どもたちは、「明るく素直である」「活発に活動する」「友達や下級生に対して思いやりがある」などのよい面がみられる。一方「自分で自分の課題を見つける」「困難に向かって努力する」といった今日の教育課題となっている力が十分育っているとは言えない一面がみられる。そのため、日常生活の中でたくましく生きる子どもに育てることもこれからの課題としている。

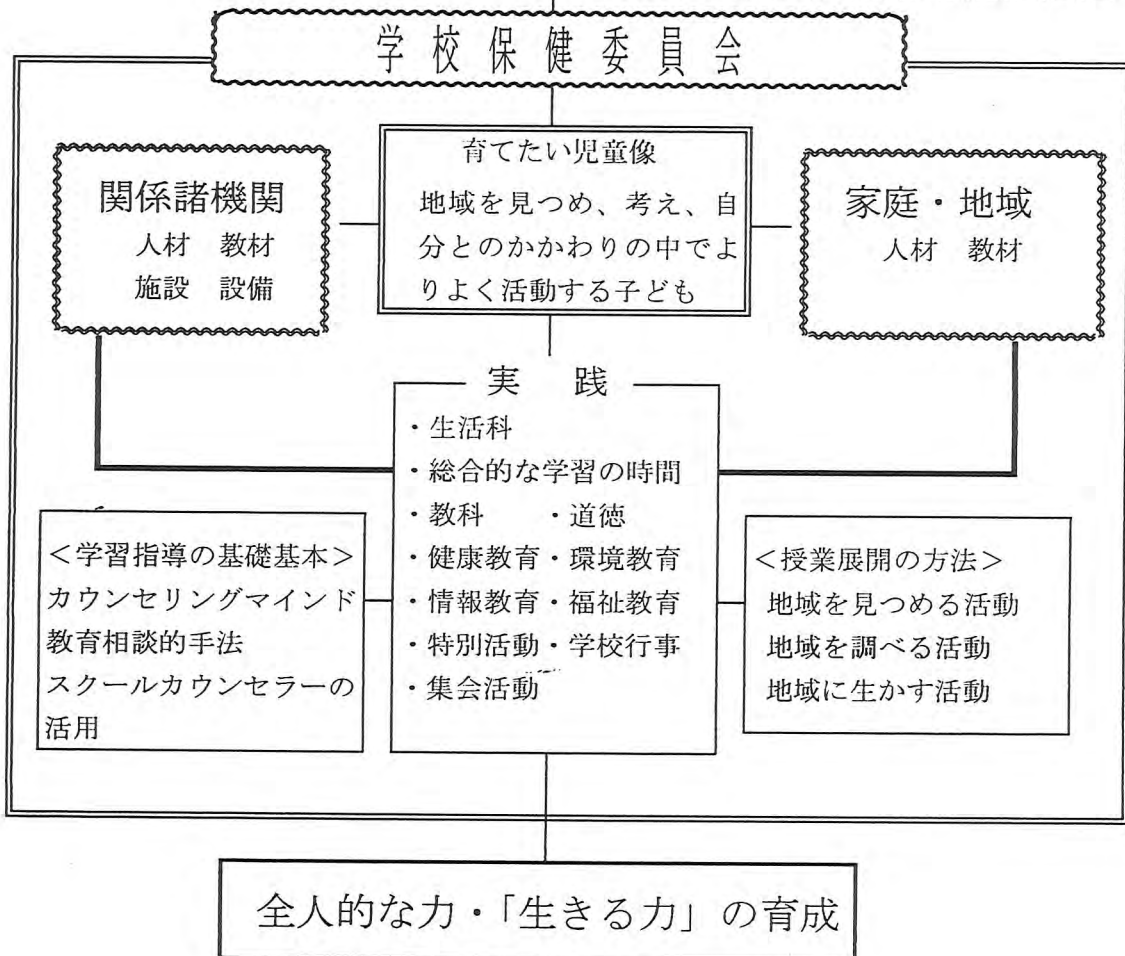
健康づくりにおいても地域とのかかわりの視点を明確にし、“子どもを地域の一員として、ともに学びともに育てる”指導を目指している。健康領域においても地域の健康に生きる人たちから知恵と勇気をもらい、21世紀に健やかな心とからだで主体的に生きていく児童の育成のために、学校保健委員会の活動を中心に地域のいろいろな人とかかわり、子どもの支援をしていく健康づくりを実施している。



健康・安全教育推進の組織活動



研究主題 地域に学び、地域に生きる子どもの育成 —健康づくりを通して—



2. 健康教育の取り組み

本校の心と体の健康づくりとして、子どもたち一人ひとりが自分らしさを発揮し、明るく生き生きと学校生活を送れることをめざし、子どもをよく観察し、理解を深め、どんな小さな変調をも見逃さない努力を重ねている。

心の問題については、保健室が中心となり校内の協力体制のもとに問題解決に当たっている。教育相談担当を中心に、問題傾向を持った児童や情緒不安定な児童について、毎月定期的にふれあい会議をもっている。ひとりの児童に対して、担任だけでなく専科・生活指導・養護教諭など全員の目で見ることにより、児童理解が一層深まり適切な対応ができています。また、休み時間にはふれあいルームを子どもたちに開放している。

1) 健康診断を通して

健康診断の事前指導、事後指導を各学年とも計画的に行っている。健康診断を疾病異常があるかないかだけでなく、健康診断を通して自分の体の成長を実感し、自分の体を知る機会として結果の活用を計っている。

2) 健康カードの使用

全学年とも健康カードを使用することにより、自分の成長を積極的な喜ばしいこととして認識し、各学期ごとにひとり一人が健康課題を見つけ、健康目標を設定し、学期末に反省をして、次の学期につなげている。



3) 校医さんを迎えての健康集会の実施

児童保健委員会が中心となり、6月に内科校医さんを招いて、ミニ集会を実施している。健康や校医さんがより身近な存在となっている。



4) 生活リズム「いきいきカード」の取り組み

毎年、夏休み明けの9月を中心に「いきいきカード」で生活リズムチェックを行っている。長い休み中の生活の乱れからくる、睡眠不足や朝食をしっかりとれない等がしばしば見られる。「いきいきカード」は児童はもちろん、保護者にも生活リズムの見直しをしてもらうよい機会になっている。

特に低学年は保護者が一緒になって、よい生活が送れるよう取り組んでくれている。学年が上がるにつれ保護者の手もはなれるが、このカードにより意識的に声をかけ、生活リズムを見直すきっかけになっている。

3. 歯の健康づくり

1) 歯みがきタイムの設定

昼食後の歯みがきを徹底するため、生活時程に歯みがきの時間を3分間組み入れ、音楽を流して年間を通して実施している。

2) 親子歯みがき指導

低学年では、家庭での協力が必要なことから、1～2年生で親子歯みがき指導に取り組んでいる。

歯垢染めだしにより、歯のよごれを確認して歯みがき行動の意欲につなげている。また、第一大臼歯の大切さとなぜむし歯になりやすいのかを知り、みがき方の工夫を気づかせている。

保護者をまじえての指導は、親子のふれあいの面からも、指導の徹底を図る意味からも有効であり、また歯科衛生士3名による視聴覚教材や資料などの提示が効果的で子どもたちの学ぶ意欲につながっている。



3) 学童歯みがき大会への参加

毎年、東京体育館で行われる学童歯みがき大会への参加を続けている。事前調査を実施したり、標語を作成してプラカードを用意したりして参加している。大勢参加するイベントであるが、歯科衛生士に個別指導してもらえる利点がある。歯の健康づくりにかかわっている人の多さを実感することができる。

4) 親子歯みがきカレンダー

6月から歯みがきカレンダーに取り組んでいる。特に夏休みは全校が親子で取り組み、家庭の協力が得られている。

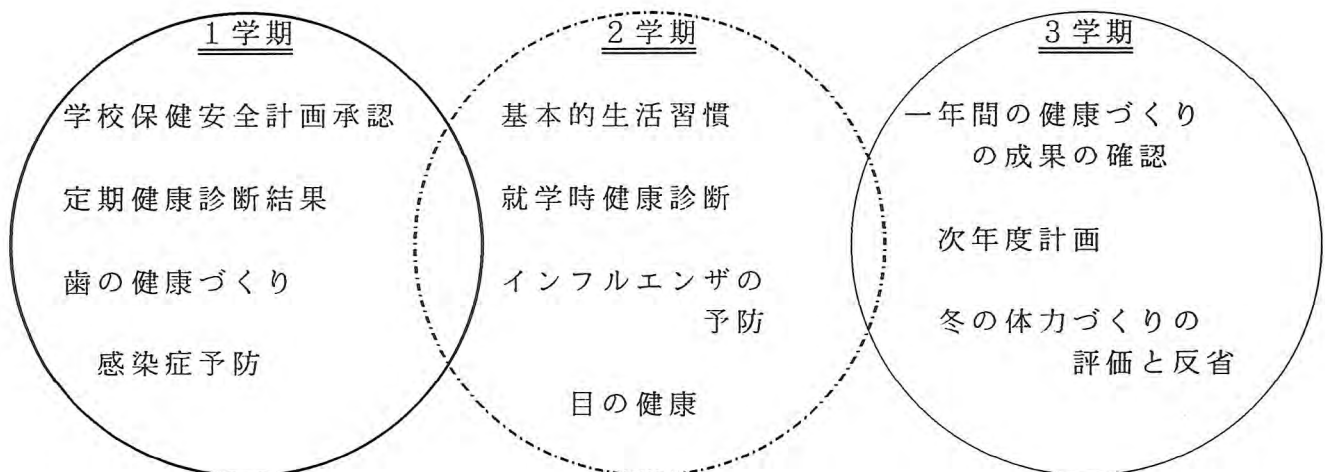
4. 学校保健委員会

学校保健委員会を本校の健康づくりの中心として、位置づけている。各校医・薬剤師・地域保護者・学校その他の機関が協力しあって、子どもの健康づくりを考えて実行し、地域の健康づくりまで視野にいれている。

子どもの心と体の健康に関する問題を的確に取りあげ、運営を工夫することにより、学校保健委員会を活性化する事ができ、意見交換や協議を通して解決に向けた方向性や方策をさぐり実践化を図る事ができている。

会の運営に当たっては、次のことを留意している。

- ①学期毎に、年3回の開催を継続する。
- ②毎回はっきりしたテーマを持ち進め方を工夫する。
- ③討議内容を広報紙で保護者地域に伝える。



5. まとめと今後の課題

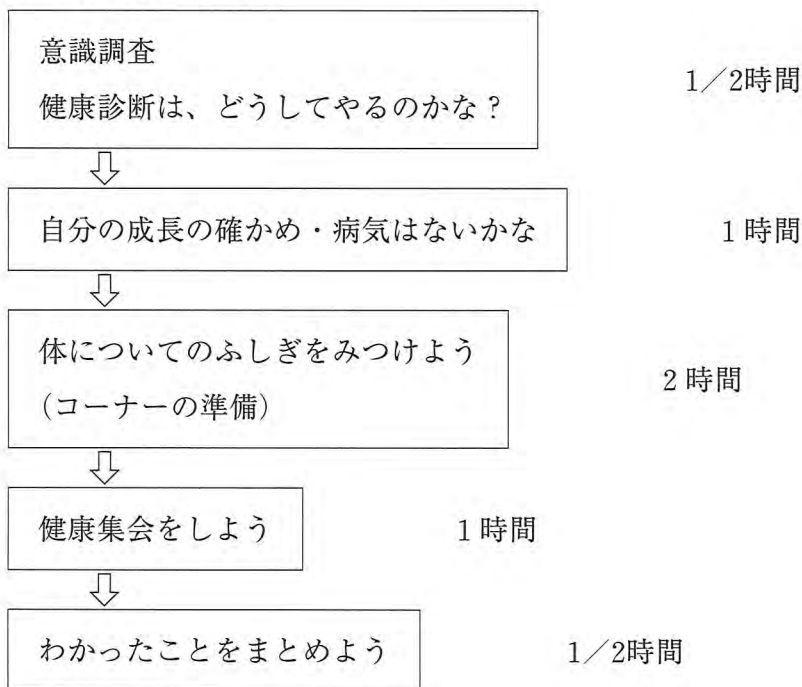
本校の特色である「地域の文化」「人材の豊かさ」の活用を図るという視点に立って実践を積み重ねたことにより、児童にとって自分の身の回りにいる大人や地域に対して、以前より関心を持ち積極的に関わろうとし、地域の一員であるという自覚が深まってきた。本年度は、また新たに総合的な学習の在り方について研究を進めている。健康づくりも地域の人々とのかかわりの中で、より発展させていきたい。

健康集会 “じぶんの体を知ろう”

1. 目的

毎年、4～6月には多くの時間をかけて健康診断を行っているが、子どもたちは受け身的になりがちな現状がある。積極的に自分のからだについて興味関心を持ち、健康診断を通して自分の成長を実感し確認させたい。また、学年に応じた健康認識を育て、健康問題に主体的に取り組む解決するための実践力を身に付けさせる指導のてがかりとしたい。

2. 単元計画 5時間

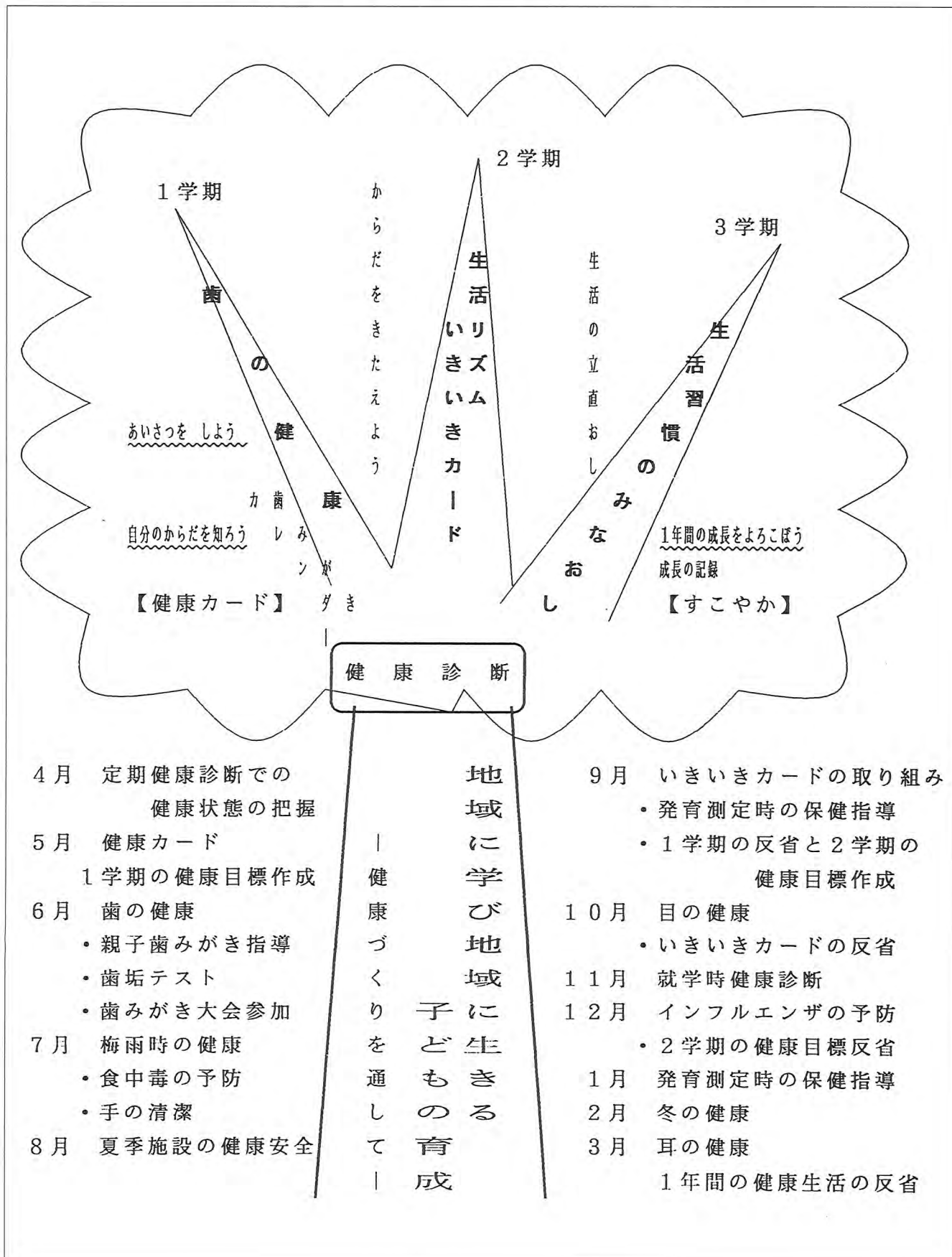


3. 内容

- (1) 意識調査…各学年ごとに健康診断についての理解度をつかむ。
- (2) 全学年で健康集会に取り組む。
 - ①コーナーを準備し体験できる工夫をする。
 - ・内科…聴診器、血圧計での測定
 - ・耳鼻科…耳、鼻のつくりと働きを具体化
 - ・歯科…歯垢染めだしテスト
 - ・眼科、視力…目の体操、錯覚、片目体験
 - ・結核、BCG…クイズ、資料
 - ・寄生虫…人体模型、手作り小腸じゅう毛管
 - ・腎臓…尿の働き、腎臓のしくみ
 - ②異学年交流の場としてペア学年でコーナーを回る。(前半)
 - ③体育館に全員集合し、集会を実施。(後半)
 - ・校医さんの話
 - ・感想の発表
 - ④各学級でまとめをする。

《健康づくりの木》

児童一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、健康上のさまざまな課題に対して自分自身意思決定し、行動選択ができるようになることを目指して保健指導を行っている。



すこやかな心と体をつくる子の育成

福井県大野市下庄小学校

1. 学校紹介

(1) 地域の環境

大野市は、北陸の小京都といわれ、岐阜県の高山市城下町をつくった金森長近が、高山に先がけて城下町を開いたところで、亀山城、寺町など、文化財や古い城下町の風情がある街である。本校の校区は大野盆地の北西部に位置し、北部には低位の山林地帯があるが、そのほとんどは平坦部で占めている。北部は勝山市に接し、南部は市街地へと続いている。こうした地勢から、昔からの農村地帯と市街地の両方を含んでいる地域であり、比較的 naturally 恵まれた環境の中で子供たちは生活している。以前は農業中心であったが、現在は第二種兼業農家が増え、共働き家庭がほとんどである。

(2) 児童の様子

現在、少子化の影響を受け児童数が年々減少してきて学級数が減っている。しかしながら、一学級あたりの児童数が40名近い学級が半数であるといった状況である。全体的に落ち着いた学習環境の中で伸び伸びと生活していて、休み時間や放課後、校庭で過ごす児童も多く、明るく活発である。こうした中、「きらきらかがやけ下庄っ子」を合い言葉にして、思いやりをもった児童の育成に努めているところである。

(3) 教育目標の中での健康教育の位置づけ

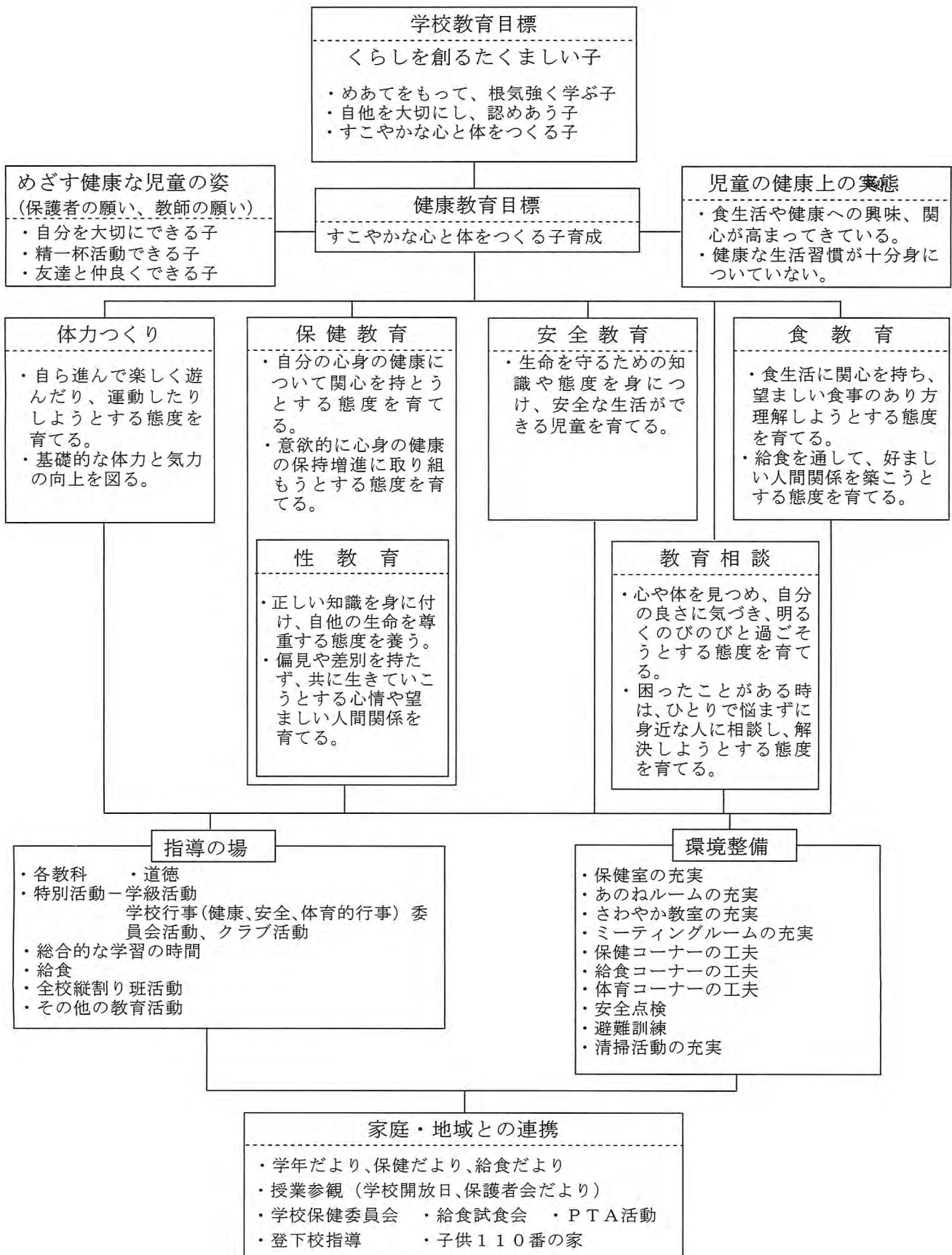
本校においては、学校教育目標「くらしをつくるたくましい子」を受け、『「きらきらかがやけ下庄っ子」をめざして 伝え合う力を育てるために 』と研究主題を設定し、児童一人ひとりの輝きを大切にしていこうと考えている。

- | | |
|--------|-------------------------------|
| かんがえる子 | 自ら課題意識をもち、その解決に向け、自らかんがえ判断する子 |
| がんばる子 | 最後まであきらめずに、粘り強く課題に向かおうとがんばる子 |
| やさしい子 | 自分や友達を大切に、認め合おうとするやさしさを持っている子 |
| けんこうな子 | けんこうな心と体を作ろうと努め、生活する子 |

学習に向かおうとする意欲の源は、整った生活リズムや温かな人間関係の中ではぐくまれた自尊感情であると考え。心とからだ健康であることが、「きらきらかがやく」ための必要不可欠な条件となる。これまでおこなってきたエイズ教育（性教育）の研究実践を進めるとともに、食教育の充実をめざして家庭との連携を図っていくなど、健康教育を推進していく。



2. 健康教育の全体計画



3. 健康教育の推進

1) 体力づくり

自ら進んで楽しく遊んだり、運動したりしようとする態度を育て、体力と気力の向上を図る。

○ 教科体育

- ・年間指導計画をもとに、授業内容を工夫し、児童が進んで授業に臨むことのできる場の工夫をする。
- ・年間指導計画は、季節に応じた単元構成にし、特に当期間にはクロスカントリースキーや縄跳びなどを取り入れ、体力が向上するよう指導する。
- ・体力テストの結果、やや劣っている柔軟性を高めるための時間を確保し、児童が自ら取り組めるような手だてを工夫する。
- ・子供たちの意欲を高めるため、各種大会を教科体育の中に取り入れる。

球技大会……クラスの仲間と協力をして目的を達成する力

競技力の向上をめざす

なわとび大会……調和のとれた技能

目標の時間を跳びきる持久力

○ 大休み・昼休み

- ・各学年週一回の「お日様と仲良しタイム」を設定している。この時間は、晴れた日に低学年と高学年が組み、週一回かならず屋外で遊ぶという時間で、太陽の下で日光に少しでもあたることで、心も体もリフレッシュするとともに、児童が自ら屋外で遊ぼうとする習慣を身に付けることを目的としている。

各学年の組み合わせは次のとおり

火曜日…1、6年 水曜日…2、4年 木曜日…3、5年

○ 体育的行事

- ・体育大会……協力する態度ややり抜く力、高学年に対してはリーダー性を育てる。
- ・体力テスト……児童の体力の実態を把握し、調和のとれた体の育成に生かす。
- ・マラソン大会……長い距離を走り抜く力と忍耐力を育てる。
- ・スキー教室……雪に親しみ、スキーの楽しさを味わい、基礎的スキルを身につける。

○ 特別クラブ

心身共に健康で明朗な児童を育成するため、放課後を利用して特別クラブを行う。可能な限り児童の自主性を尊重し個性に合った運動に親しませることによって、生涯体育につながるよう指導する。

○ その他

大野市小体振・市体育協会主催の行事や大会への参加は自主性を尊重した上で結果にとらわれることなく、自己の到達目標に近づくことができるように指導の手だてを考える。

2) 保健教育

(1) ねらい

- ・自分の心身の健康について関心を持つようとする態度を育てる。
- ・意欲的に心身の健康の保持増進に取り組もうとする態度を育てる。
- ・生命を大切にしながら生きていこうとする心情や望ましい人間関係を育てる。

(2) 努力事項

- ・すこやかファイル・健康カードの活用を通して、児童が自分の心身の健康に関心を持てるようにする。
- ・各教科・学級活動・発育測定後の保健指導の充実を通して、児童の心身の健康の保持増進を図る。
- ・保健室でのかかわりを通して、児童の心身の健康の自己管理能力を育てるようにする。
- ・保健室便りやすこやかファイル・健康カードを通して家庭と連携を図りながら、児童の心身の健康増進を支援する。
- ・正しい知識を身に付けると共に、相手を尊重し、仲良く協力していこうとする態度を育てる。

(3) 保健指導年間計画

| 月 | 保健目標 | 保健行事 (関連行事) | 保健指導 (発育測定後の指導) | 保健学習 | 保健管理 ○環境 ●身体 |
|----|----------------------|---|--|----------------------|--|
| 4月 | 自分のからだのよう すを知ろう | 定期健康診断 ・検尿(1次・2次) ・歯科検診 ・内科、結核検診 ・耳鼻科検診 (1・3・5年) ・心臓検診(1年) ・眼科検診 総合発育測定 (春季遠足) (校内体育大会) (よい歯の 地区コンテスト) (学校保健委員会) | ※エイズ教育(性教育) 各学年の年間計画 に応じて指導 健康診断、総合発育 測定のうち方(学活) | | ----- 日常点検 ----- 便所・手洗い場 教室環境 ○学級医薬品配布 ----- 日 常 ----- 健康観察の重視 ●健康調査 ●心臓病、慢性疾患 児童の健康調査 |
| 5月 | 自分に合った健康づ くりを始めよう | | | 毎日の生活と健康 3年 | ○水質検査(水道水) ○机、椅子の調整 ●健康診断事後措置 |
| 6月 | 歯を大切にしよう | 検便(1～3年) 日本脳炎予防接種 (4年) 歯の衛生月間 (学校保健委員会) (プール開き) | 歯を大切に(学活) | けがの防止 5年 病気の予防 6年 | ○水質検査(水道、プール水) ○プール用救急箱点検 ●歯科治療の促進 ●プール学習前の健康調査 ●疾病の勧告、治療促進 |
| 7月 | 夏を健康に過ごそう | 発育測定 (肥満、やせすぎ児童 の保護者との健康相談 活動) | 1年…食事のマナー 2年…夏やさいのひ みつをさぐろ う 3年…夏バテをふき とばそう 4年…血液のひみつ 5年…これから夜ふ かし、早ねの どっちにする? 6年…変えよう!自 分の生活 | | ○水質検査 (水道、プール水) ○保健室医薬品の点検 |

| 月 | 保健目標 | 保健行事 (関連行事) | 保健指導 (発育測定後の指導) | 保健学習 | 保健管理 ○環境 ●身体 |
|-----|------------------------|--|---|-----------------|---|
| 9月 | 規則正しい生活をしよう | 発育測定 臨時健康診断 (連体選手) (連合体育大会) (修学旅行) | 1年…手洗いチャンピオンになろう 2年…ハンカチははたらきもの 3年…早ね早おきをしよう 4年…ひふのひみつ 5年…エネルギーって何？ 6年…眠りにはひみつがいっぱい | | ○机、椅子の調整 ○水質検査(水道水) ●修学旅行前の健康調査(6年) ●連体選手の健康管理(5・6年) |
| 10月 | 目を大切にしよう | 発育測定・視力測定 目の愛護月間 (秋季遠足) (マラソン大会) | 目を大切に(学活) | 育ちゆく体とわたし 4年 | ○照度測定 ○水質検査(水道水) ●視力のスクリーニング ●低視力者の勧告・治療促進 ●マラソン大会前の健康調査 |
| 11月 | 生命を大切にしよう | 就学時健康診断 二種混合予防接種 (6年) ぎょう虫検査 (1～3年) (学校保健委員会) | | 病気の予防 6年 | ○水質検査(水道水) |
| 12月 | 寒さに負けないじょうぶな体をつくろう | 発育測定 (肥満、やせすぎ児童の保護者との健康相談活動) | 1年…こわい、たばこのけむり 2年…おはよううんこをしよう 3年…よいおやつとり方 4年…食べ物の旅をしよう 5年…あなたは、たばこを吸いますか？ 6年…こんにはは！大好きな自分 | 心の健康 5年 | ○暖房と換気の適正 ○教室の温度測定 ○水質検査(水道水) ●各疾病未治療者への再勧告 ●ぎょう虫卵保有者の駆虫 |
| 1月 | かぜ・インフルエンザにかからないようにしよう | 発育測定 | 1年…がらがらうがいチャンピオンになろう 2年…もし、かぜをひいたら 3年…インフルエンザってどんな病気？ 4年…インフルエンザ予防大作戦 5年…変わっていく自分 6年…かぜに負けない食事 | | ○暖房と換気の適正 ○教室の温度測定 ○机、椅子の調査 ○水質検査(水道水) ○保健室医薬品の点検 ●うがい薬の管理・うがいの励行 ●流感の予防と対策 |
| 2月 | 心と体の成長について考えよう | 発育測定 (新入学児保護者会) (スキー教室) (スキー宿泊学習 5年) | 1年…背すじをピンとのぼそう 2年…もっと健康になろう 3年…骨のひみつ 4年…魚の栄養を知ろう 5年…ストレスと上手につきあおう 6年…ダメ！絶好！ドラッグ | | ○暖房と換気の適正 ○水質検査(水道水) ●うがい薬の管理・うがいの励行 ●流感の予防と対策 ●スキー宿泊学習前の健康調査(5年) |
| 3月 | 一年間の健康生活をふりかえってみよう | (学校保健委員会) | | | ○暖房と換気の適正 ○学級医薬品点検 ○水質検査(水道水) ●流感の予防と対策 |

3) 安全教育

(1) ねらい

生命を守るための知識や態度を身につけ、安全な生活ができる児童を育てる。

(2) 努力事項

- ・各教科等において、使用する道具や遊具などの正しい使い方ができるようにする。
- ・安全な生活を送るための決まりについて考え、正しく判断して行動できる児童を育てる。
- ・安全的行動を通して、正しく判断して行動できる児童を育てる。
- ・毎月、校舎内外の安全点検をし、不備な施設・設備の改善を図り、児童の安全を確保する。

(3) 年間計画

| 月 | 学校安全目標 | 行事 | 安全学習 | 安全管理・指導 |
|----|------------------------|--|---|---|
| 4 | 安全な登下校をしよう | 登校班会 集団下校訓練 集団登校の街頭指導 | ・交通のきまり | ・正しい道具の使い方 ・集団下校指導 ・通学路及び危険箇所の点検 ・校舎内外の整備と点検 ・道路の安全な歩き方指導 ・自転車の安全な乗り方指導 ・地震による火災発生時の避難訓練 ・校舎内外の整備と点検 ・プール清掃と点検 ・救急法の講習会 ・水泳禁止区域地図配布 ・夏期休業中の安全指導 ・プール当番による安全指導 ・災害発生時の避難訓練 ・火災発生時の避難訓練 ・冬場の通学路の点検 |
| 5 | 緊急時の安全な避難の仕方を知ろう | 避難訓練 交通安全教室 | ・遊具の正しい使い方 ・正しい歩行のしかた ・自転車の正しい乗り方 ・地震、火災時の安全な避難の仕方 | |
| 6 | 安全に気をつけて遊ぼう | | ・室内での安全な遊び方 | |
| 7 | 水の事故に注意し安全に過ごそう | 登校班会 | ・安全な水遊び | |
| 8 | | | | |
| 9 | 交通安全を守ろう | 登校班会 集団登校の街頭指導 | ・交通の決まり | |
| 10 | 災害時の安全な避難の仕方を知ろう | 避難訓練 | ・休み時間の安全な避難の仕方 | |
| 11 | 安全な生活を送るための決まりについて考えよう | 集団登校街頭指導 | ・事故やけがの発生原因の学習 | |
| 12 | 安全に気をつけて遊ぼう | 登校班会 | ・室内での安全な遊び | |
| 1 | 積雪時の安全な非難の仕方を知ろう | 避難訓練 集団登校街頭指導 登校班会 積雪時の集団下校訓練 | ・積雪時の安全な避難の仕方 | |
| 2 | 積雪時の交通安全を守ろう | | ・積雪時の交通安全 | |
| 3 | 安全生活の反省をしよう | 登校班会 | ・1年間の反省 | |

4) 食教育

(1) ねらい

- ・食生活に関心を持ち、望ましい食事のあり方を理解しようとする態度を育てる。
- ・給食を通して好ましい人間関係を築こうとする態度を育てる。

(2) 努力事項

- ・給食時間や各教科・学級活動を通して、健康な体を作るための食事のあり方を考える手立てを工夫する。
- ・食事マナーを身につけ、感謝して仲良く食べられるよう給食指導を充実させる。
- ・給食だよりや給食試食会を通して家庭と連携を図りながら食教育を進める。

(3) 食教育年間計画（給食の時間・特別活動）

| | 目 標 | 行 事 | 指 導 内 容 |
|--------------|--------------------|--|---|
| 4 5 月 | 準備や後片付けを 上手にしよう | 訪問給食 1年給食試食会 | ・仕事の分担を決め、協力して準備する。 ・服装を整え、手際よく配膳する。 ・種類ごとにきれいに片づける。 ・グループごとに静かに能率よく片付けをする。 |
| 6 7 月 | 衛生に 気をつけよう | 給食試食会・健康相談 なかよし給食 バイキング給食 | ・きれいに手洗いをし、清潔なハンカチを使う。 ・清潔な教室づくりをする。 |
| 9 12 月 | 仲良く楽しく 食べよう | 給食試食会・健康相談 なかよし給食・選択給食 1・2年ピクニック給食 3～6年交流給食 | ・箸や食器を正しく持ち、感じの良い食べ方をする。 ・話題に気をつけ楽しく食べる。 ・グループ作りや、給食後の過ごし方を工夫する。 ・音楽や放送を静かに聞く。 |
| 1 3 月 | 感謝して食べよう | 給食試食会 なかよし給食 招待給食 お祝い給食 | ・給食週間の意味を知る。 ・感謝の心で、食べ物や食器を大切にする。 ・食べ物の働きを知り、残さないで食べる。 ・自分の健康を考え、好き嫌いをしないで食べる。 |

* 3～6年生クラス会食（ホールにて） 1、2年生ピクニック給食（交通公園や校庭にて）

(4) 食教育年間計画（学年別）

| 学 年 | め あ て | 教 科 と の 関 連 |
|-----|--|--|
| 1 年 | ・食べ物の名前を覚えよう ・食事のマナーを身につけよう ・心をこめてあいさつしよう ・楽しくたべよう | (学活) 学校栄養職員とのT・T (行事) 発育測定の後 |
| 2 年 | ・食べ物の仲間を覚えよう ・よくかんで食べよう ・好き嫌いしないで食べよう ・夏野菜のひみつをさぐろう | (学活) 学校栄養職員とのT・T (行事) 発育測定の後 (生活) 野菜の取り入れをしよう |
| 3 年 | ・バランスのよい食事 ・おやつの量について考えよう ・夏バテをふきとばそう ・学校給食と調理師さんの仕事を知ろう | (学活) 学校栄養職員とのT・T (行事) 学校栄養職員とのT・T (行事) 発育測定の後 |
| 4 年 | ・カルシウムの働きを知ろう ・魚の栄養を知ろう ・食べ物の組み合わせを考えよう ・運動と栄養について考えよう ・良い食べ方を身につけよう | (学活) 学校栄養職員とのT・T (行事) 発育測定の後 (行事) 育ちゆく体とわたし |
| 5 年 | ・食物繊維について知ろう ・エネルギーって何だろう ・偏食と病気について考えよう ・おやつと食品添加物について考えよう | (学活) 学校栄養職員とのT・T (行事) 発育測定の後 (家庭) 作っておいしく食べよう (家庭) わたしにできることは |
| 6 年 | ・生活習慣病について知ろう ・風邪にまけない食事 ・献立の工夫を知って食べよう ・バランスの良い献立について考えよう ・学校給食の栄養について知ろう | (学活) 学校栄養職員とのT・T (行事) 発育測定の後 (家庭) 楽しい食事を工夫しよう (家庭) 生活を計画的に |

4. 家庭・地域社会との連携

1) 学校保健委員会（健康を考える会）

年間4回、学校保健委員会を実施している。委員会のスタッフは学校医、薬剤師、PTA代表、教職員であるが、保護者の希望者や地域の保健医療関係者も参加し、意見交換を行っている。回を重ねるにしたがい、参加者が増え、積極的な発言が見られるようになってきている。この会では、学校における健康教育の取り組みや調査をもとにした児童の実態の報告、校医さんや保健関係機関の方による講演、子供の健康を守るための意見交換を行っている。



2) 保健医療関係者による授業支援と交流

地域の保健医療関係者にゲストティーチャーとして授業支援をしていただいている。専門の方に直接お聞きすることにより理解が深まっている。また手紙のやり取りにより、自分の命を支えてくれている人達と心の交流が持てている。

(例) 第3学年「わたしのいのち」 栃木医師、日本助産婦会福井県支部
第5学年「守ろう、わたしの命」 奥越健康福祉センター職員

3) 児童生徒の交流

高校生の体験談を聞いたり、中学生と共にエイズについての講演会を聞いた。

(例) 第6学年の総合的な学習の時間にピュアーエデュケーターとして参加
ミュージカル「フレンズ」を中学生と共に聞く

4) ゲストティーチャーとしての授業への協力

生活科の時間などを中心に、家族の方々にゲストティーチャーとして授業に協力していただいている。多くのゲストティーチャーに来ていただいたことにより、個に応じた対応ができています。自分の家族だけでなく、友達の家族とふれあうことにより、暖かい交流の場も持っています。

(例) 第1学年「とってもだいすき、わたしかぞく」
第2学年「ぼく、わたしが生まれたよ」



5) おたよりの活用

学校から発行している各おたよりの中で健康教育について啓蒙を図っている。

(例) 学年だより…学年の健康教育の取り組みの紹介、協力依頼
学年だより…全校的な取り組みの紹介、児童の取り組みの様子を紹介
保健だより…共に生きるコーナーの設置
学校保健委員会や講演会の内容報告
つぶやき欄を利用した意見交換

6) PTA活動

エイズ教育（性教育）に関する活動を多く取り入れており、知識や関心が深まっている。

自分の健康を自ら築き上げる能力の育成

－生涯にわたる健康のために、いま何をすべきかを自ら考え実践できる児童の育成－

愛知県知多郡東浦町立藤江小学校

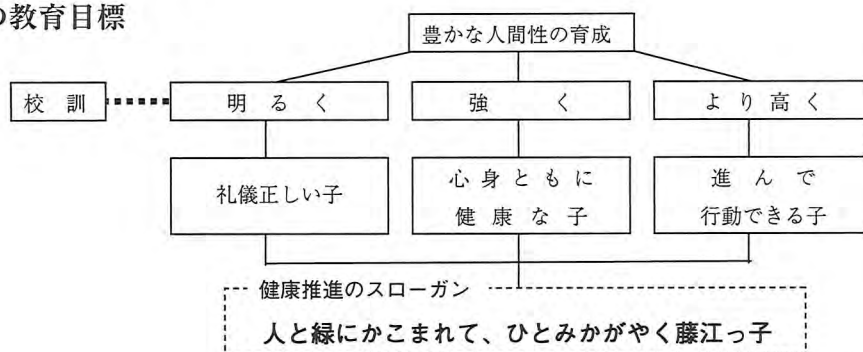
I 本校の概要

本校は東浦町の南端に位置し、衣浦湾、三河の山々を眺望する緑豊かな環境にある。しかし、最近マンションや新興住宅地等も増え、児童数もここ数年大きく増加し、学級数も20学級となっている。子供たちは、素朴で温かな心をもっている一方で、積極性・粘り強さが育っていない面がある。

明治6年創立の歴史と伝統がある本校は、地域の学校として、多くの住民から親しみをもって見守られている。本校の教育活動には、地域の積極的な協力が多く得られるなど、地域と学校との良い関係が伝統的に息づいている。しかしながら、地域の変貌とともに、学校と地域との新たな連携の形を模索していく必要性も出てきている。

1 学校経営方針と健康教育

○ 本校の教育目標



○ 研究主題

自分の健康を自ら築き上げる能力の育成
－生涯にわたる健康のために、いま何をすべきかを自ら考え実践できる児童の育成－

○ 主題設定の理由

近年における社会環境の変化や少子化などは、子どもの身体的活動の減少をもたらし、心身の健全な発育に様々な影響を与えている。こうした時代にあっては、生涯にわたって自分の健康を守っていくことは、一人一人の社会的責務として大きな課題である。

そのため本校では、生涯にわたる健康や、日常の安全に心がける態度を、子ども時代から育成していく必要性をとらえた。同時に、現在の自分を冷静に見つめ、将来の健康のために、様々な情報の中から自ら選択し、何を成すべきかを自ら考え、これに向けて主体的に実践していく生活習慣の育成を図っていくことが重要であると考えた。

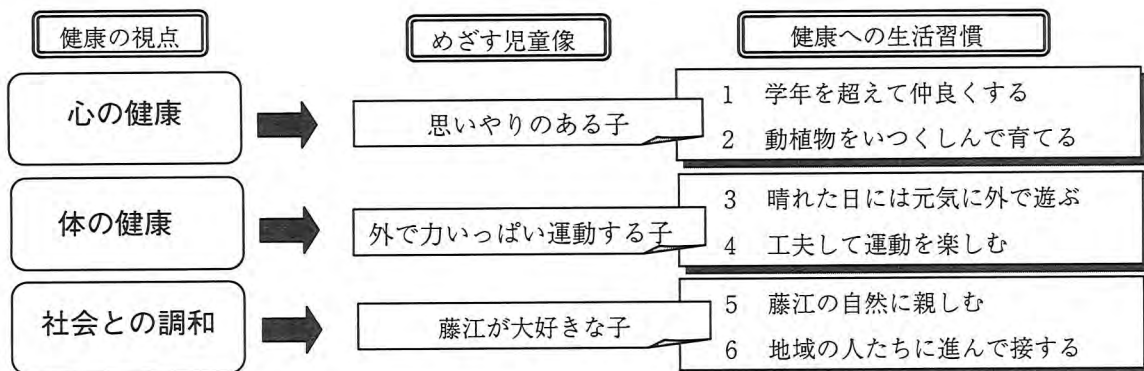
○ 研究の仮説

- 1 健康情報を得る機会を多く設定することで、児童が自分の健康に対する興味や関心を高め、健康の必要性や良さを感じることができる。
- 2 健康について考える機会を設定することで、自ら選択し、決定する力を育てることができる。
- 3 健康づくりにふさわしい環境を設定することで、自ら進んで実践し、健康への生活習慣を形成することができる。

○ 研究推進の概要

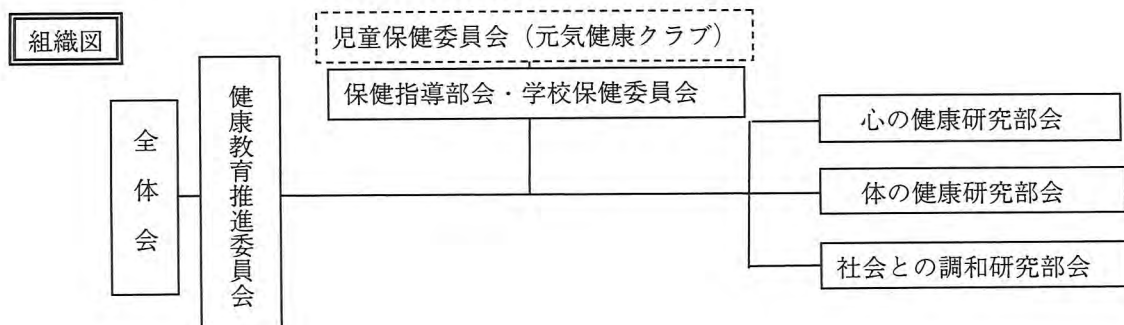
本校では、地域の温かい人々や恵まれた自然環境を生かしながら、健康教育を進めていきたいと考え、世界保健機関（WHO）の憲章に基づいて「心の健康」「体の健康」「社会との調和」の3つの健康の視点に着目した。この3つの健康の視点を活用して、従来の学校教育活動を見つめ直し、これまでの実践も十分に生かしながら、取り組みを進めてきた。

健康教育を進めるにあたり、これを具現化する児童像を以下のように掲げ、さらに、それぞれの児童像を具体化するために6つの生活習慣の形成を目指してきた。



○ 健康教育の推進体制

健康教育の3つの視点を生かし「心の健康部会」「体の健康部会」「社会との調和部会」の3研究部会を設けた。保健指導部会と共に、調査・分析、検討を行い、健康教育推進委員会において、その連絡・調整をしながら健康教育を進めている。



2 学校保健（安全）計画

保健目標 ひとみ輝く藤江っ子になろう

○ 生活習慣の具体化

「ひとみ輝く藤江っ子」カードを毎日記入することにより、朝の姿勢タイムの様子や歯みがき・外遊びができたかなど健康な生活の定着を図った。また、生活点検を定期的を実施し、家庭での規則正しい生活の点検のほか、重点目標の「体にいい食事をしよう」を目指して、個に応じた「食のめあて」をもち、振り返らせた。点検用紙には、自分の食事において改善する点を一人一人がよく考え、「食のめあて」を守るための自分なりの発見や工夫が書かれ、児童の意識の高まりを見ることができた。そのほか、歯みがきの習慣化を図るため、全校児童を対象に養護教諭による個別指導を行った。これらの活動の記録を「健康ファイル」に累積して綴り、自分自身の体や心の成長を確かめていくことができた。

○ 児童会活動

代表委員会のメンバーと保健委員の代表で、月1回定期的に会をもち、毎月の保健活動や学校保健委員会について話し合いを行った。また、全校保健集会「歯の健康集会」「目の健康集会」を開き、保健委員会、給食委員会、生活委員会、体育委員会などの関連する委員会との連携をとりながら保健活動を進めてきている。

○ 保健学習・保健指導

健康な生活のために必要な知識を習得させ、健康目標を考える力を育てたり、毎日の具体的な習慣や態度を育てたりすることにより、生涯を通じての健康で安全な生活の基本的な力を身に付けさせることを目指している。そのため、体育や特別活動で保健学習・保健指導を行った。保健指導に関しては、4領域（性・薬物乱用防止・口腔衛生・その他）について各学年系統的に進めた。薬物乱用防止については、県警の薬物防止キャラバンカーの指導を受けた。



5年「たばこと健康」

3 学校保健委員会

| 議 題 | 主な出席者 | 所要時間 | 主な成果 |
|---------------|--|------|---|
| からだにいい食事をしよう | 代表委員会メンバー、保健委員、全職員、PTA委員、学校医、学校歯科医、薬剤師、栄養士 | 45分 | 児童一人一人が食のめあてをもち、生活点検の中で実践したことを発表した。また、PTA委員のお母さんから、元気の出る朝ごはんメニューを紹介してもらい、体にいい食事についてのヒントがたくさん出された。 |
| バランスのよい食事をしよう | 全校児童、PTA委員、全職員、学校医、学校歯科医、薬剤師 | 45分 | ボランティア劇団による食に関する劇を見て、バランスのよい食事、カルシウムの大切さについて学習することができた。 |

| | | | |
|--------------------|--|-----|---|
| からだにいい食事がとれたか反省しよう | 代表委員会メンバー、保健委員、全職員、PTA委員、学校医、学校歯科医、薬剤師 | 45分 | 一年間取り組んできた活動についてまとめ、成果を報告した。児童の意識の高まりとともに、家庭の協力も得られてきた。 |
|--------------------|--|-----|---|

II 健康の3つの視点からの取り組み

1 「心の健康」の視点から

健康への生活習慣1 学年を超えて仲良くする

○ 異学年間の交流

ペア活動に本格的に取り組み出して3年がたった。当初はいろいろな機会をペア活動の場として設定し、ぎこちなかったかかわり方を自然なものにするように教師側から働きかけることが多かった。だんだん慣れるにつれ、休み時間等でも自然な触れ合いが見られるようになった。

昨年度からは、スタートをよりスムーズにし、ペアの活動をさらに深めるため、5月にペア遠足を全学年で実施した。



「ペア遠足」1・6年

低学年からは高学年の子への信頼といっしょにいることへのうれしさ、高学年からは頼られることへの緊張感と喜びが多く書かれていた。このとき生まれた信頼と思いやりの関係は、この後のさまざまなペア活動や日常生活の中で、さらに育てられていった。

健康への生活習慣2 動植物をいつくしんで育てる

○ 飼育活動

運動場の一角にある飼育小屋には、約40羽のパンダうさぎと5羽の鶏がいる。放課後になると、たくさんの子どもたちが飼育小屋の周囲に集まり、楽しそうにうさぎを見ている。世話をするのは、4年生の児童全員である。餌は学校周辺の草だけでなく、地域の方の協力で、野菜やパンを与えている。

目の当たりにするうさぎの誕生と死は、子どもたちに命の大切さを教えてきた。大変な作業も無邪気に餌を食べるうさぎを見ることで、楽しいものになった子どもが多かった。



飼育活動

2 「体の健康」の視点から

健康への生活習慣3 晴れた日には元気に外で遊ぶ

○ 「のびのびタイム」の活用

毎日2時間目と3時間目の間に25分間の「のびのびタイム」を設定している。

この「のびのびタイム」には、児童会や各委員会・学級などが、体を動かすことの楽しさを味わうことができるような趣向を凝らしたイベントを企画・運営している。ペアで参加したり、学級対抗で競いあったり、多くの児童が運動場で元気よく活動できるよう工夫されている。また、児童の感想を聞くと、「思いっきりサッカーができた」、「図書館へも行けたし、外で遊ぶこともできた」、「トランペットの練習がいっぱいできた」など、児童の活動の幅が広がっている。



のびのびタイムのイベント

○ アドベンチャーランド

自然の林を生かした「アドベンチャーランド」の山の斜面は、児童の足腰を強化するのにもってこいの場所である。中腹からは探検コース・展望台・ブランコもあり、休み時間にはたくさんの児童が利用している。特に人気の高い展望台は、6年生が「愛校作業」で竹を利用して作成したものである。また、ここには様々な樹木があり、理科の観察や、図工のスケッチの場所としても利用されている。



アドベンチャーランド

この藤江地区でも、雑木林は減ってきており、自由に遊ぶことが許されていない状況の中で、子供たちにとってアドベンチャーランドは、好奇心を満たしてくれる場となっているようだ。

健康への生活習慣4 工夫して運動を楽しむ

○ 学習カード

「チャレンジカード」と呼ばれる、「鉄棒」「まとあて」「なわとび」の3種類のカードを作り、体育の授業だけでなく、のびのびタイムに友だちと相互評価しながら取り組めるように配慮した。段階ごとに目標を設定し、達成できたらシールを貼るようにした結果、子供たちは意欲的に取り組むことができた。冬季には、「マラソンがんばりカード」を全児童に配布し、自主的に長距離走に取り組んできた。

また、各担任がそれぞれの学級の実態にあった学習カードを工夫して、児童の自主的な学習が進むよう配慮している。

3 「社会との調和」の視点から

健康への生活習慣 5

藤江の自然に親しむ

○ 自然体験活動

本校の周りには、自然の林や田畑が広がり、多くの野鳥が生息している。この豊かな自然環境を生かした体験活動に取り組んでいる。春には、学年活動やクラブ活動でタケノコ掘りを楽しみ、



野鳥観察会

採れたタケノコは家庭に持ち帰り、季節の味覚を味わっている。また、地域の鳥類保護連盟の方の指導で、5年生の総合学習やバードウォッチングクラブで、野鳥観察会を行った。夏休みには、空の科学館の指導員を講師に、星の観察会を行い、親子で夏の夜空の星座を楽しんだ。

14年度より完全学校週5日制が始まり、4月からサタデースペシャルスクール（SSスクール）が、東浦町の各小中学校で実施されている。本校では、できるだけ自然や地域の方々と触れ合うことができる内容を計画し、4月にタケノコ掘り、5月には、野鳥観察会を実施した。

健康への生活習慣 6

地域の人たちに進んで接する

○ 地域ボランティア

地域の方々から、様々な活動において温かい支援を受けている。3年生の総合学習「藤江のむかしを知ろう」では、竹細工の作り方を区長さんから教わったり、藤江の昔話や昔の小学校の様子を、地域のお年寄りから聞いたりした。また、民俗資料館の方に協力してもらい、「古代の塩づくり」にも挑戦した。さらに、地域の神社に伝わる「だんつく獅子舞」について、保存会の方からお話を聞き、児童が横笛と太鼓の演奏や獅子舞の練習をして、その成果を学習発表会で披露した。



3年「だんつく獅子舞」

○ 敬老の日の花のプレゼント

日ごろお世話になっているお年寄りに、感謝の気持ちを込めて、毎年敬老の日には、児童が育てた花をプレゼントしている。5月に種をまき、6月に苗を鉢に移植し、夏休みには、一人一鉢ずつ家庭へ持ち帰り世話をして育てた鉢植えを、敬老会で児童のメッセージを添えて贈っている。花を受け取られたお年寄りから、感謝の手紙がたくさん届いた。

Ⅲ 研究の成果

- 健康に関する身近なテーマを保健集会で分かりやすく取り上げたことで、低学年の児童にも健康の大切さを気づかせることができた。
- 健康を3つの側面からとらえ、自分なりの具体的なめあてをもつことで、実践への意欲的な態度がみられるようになった。
- あいさつ運動、お年寄りとの交流、みどりの少年団の活動などを通して、児童が地域と積極的に関わりを深めることができた。

15年度 学校保健計画

東浦町立藤江小学校

| 月 | 月のめて | 保健教育 | | | | 保健管理 | | | | 組織活動 | |
|---|---------------|---|---|---|---|--|--|---|---|---|----|
| | | 保健指導 | | | | 生活 | 心身 | 環境 | 学校保健関連行事 | 児童 | 学校 |
| | | 日常個別指導 | 学級活動 | その他の内容 | 性 | | | | | | |
| 4 | 自分の体を 知ろう | 入学式 始業式 定期健康診断 大そうじ 校外学習 家庭訪問 通学分団会 | 飲料水検査 環境衛生点検の 実施 教室内環境の 整備 | 保健調査・健康 調査の確認 健康診断の実施 と治療勧告・統計 処理 職員健康診断の 実施 | 保健室薬品の点検 椅子机の調整 清掃計画・用具 配布 腫瘍く藤江っ子カー 子カードの活用 | 清掃指導 給食指導 保健室利用指導 姿勢指導と姿勢タ イムの実施 疾病治療勧告 | 1年:トイレと 手洗い 口腔衛生 薬物乱用防止 | 代表委員会各委 員会発足 姿勢タイム 目標配布 保健だより・月の 目録配布 姿勢タイム強調 週間 | 代表委員会 姿勢タイム 生活点検の実施 の提案 | 保健だより・月の 目録配布 姿勢タイム | |
| 5 | 手をきれいに しよう | 定期健康診断 校内運動会 修学旅行 校外学習 体カテスト 交通安全教室 | 飲料水検査 環境衛生点検の 実施 | 健康診断の実施 と治療勧告・統計 処理 結核健康診断 事前調査 修学旅行の健康 管理 | 腫瘍く藤江っ子カー 子カードの活用 生活点検の実施 トイレの清潔・スリッ パ替え | 清掃指導 給食指導 姿勢指導と姿勢タ イムの実施 疾病治療勧告 心の健康相談 | 6年:エイズつ てなめに | 代表委員会 姿勢タイム 生活点検の実施 の提案 | 代表委員会 姿勢タイム 生活点検の集計 と報告 学校保健委員会 発表資料作成 | 学校保健委員会 打合せ・資料 作り 保健だより・月の 目録配布 | |
| 6 | 歯を大切に しよう | 定期健康診断 校外学習 林間学校 プール開き 体重測定 教育相談 | 飲料水検査 環境衛生点検の 実施 プールの衛生管 理・水質検査 | 健康診断の実施 と治療勧告・統計 処理 疾病治療の促進 体重管理 頭じらみの予防 水泳時の健康 管理 口腔衛生管理 | プール・プールの トイレの清潔 腫瘍く藤江っ子カー 子カードの活用 | 清掃指導 給食指導 姿勢指導と姿勢タ イムの実施 疾病治療勧告 疾病治療勧告 個別歯みがき指 導 | 4年:毎日朝 ごはんを 食べよう 5年:たばこ 健康 6年:100歳ま で使おう健 康な歯 | 代表委員会 姿勢タイム 生活点検の集計 と報告 学校保健委員会 発表資料作成 | 代表委員会 姿勢タイム 生活点検の集計 と報告 学校保健委員会 発表資料作成 | 学校保健委員会 参加 保健だより・月の 目録配布 | |
| 7 | 体を清潔に しよう | 学校保健委員会 校外学習 通学分団会 避難訓練(風水害 大そうじ) 終業式 水練学級 プール開放 | 飲料水検査 環境衛生点検の 実施 プールの衛生管 理・水質検査 空気環境検査 | 疾病治療の促進 水泳時の健康 管理 夏休みの健康 管理 | ワックスがけ 教室内整備 大そうじ 腫瘍く藤江っ子カー 子カードの活用 プール・プールの トイレの清潔 | 熱中症の予防 清掃指導 給食指導 姿勢指導と姿勢タ イムの実施 個別歯みがき指 導 疾病治療の促進 | 熱中症の予防 清掃指導 給食指導 姿勢指導と姿勢タ イムの実施 個別歯みがき指 導 疾病治療の促進 | 学校保健委員 会参加・発表 代表委員会 姿勢タイム | 学校保健委員 会参加 保健だより・月の 目録配布 | | |

| 月 | 保健教育 | | | | | 保健管理 | | 保健指導 | | | | 組織活動 | |
|----|-------------|--|---------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|---|--|--|---|--|----------|----------|--------|
| | 月のめあて | 学校保健関連行事 | 環境 | 心身 | 生活 | 保健学習 | 学級活動 | | | 日常個別指導 | 児童 | 学校 | |
| | | | | | | | 性 | 薬物乱用防止 | 口腔衛生 | | | | その他の内容 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 健康な夏休みをおくろう | 親子奉仕作業 プール開放 校外学習 町内球技大会 | プールの水質管理 校地内除草 | 夏休みの健康球技大会に伴う健康管理 | 夏休み生活点検の実施 | | | | | | 親子奉仕作業参加 | 親子奉仕作業参加 | |
| 9 | 姿勢を正しくしよう | 始業式 大そうじ 身体計測 避難訓練(地震) 日本脳炎予防接種 | 飲料水の検査 環境衛生点検 教室内の環境整備 | 夏休み中の健康状況把握 発育統計 日本脳炎予防接種者把握 | 椅子の調整 教室内整備 腫瘍くも膜江っ子カードの活用 | 6年:病気の予防(8時間完了) 4年:男の子 女の子 | 2年:歯をみがこう 3年:栄養について考えよう 5年:よい姿勢と視力 | 姿勢指導と姿勢タイムの強化 清掃指導 給食指導 個別歯みがき指導 心の健康相談 | 代表委員会参加 夏休み生活点検 集計と報告 | 姿勢タイム強調 週間 保健だより・月目標配布 | | | |
| 10 | 目を大切にしよう | 就学時健康診断 さよう虫卵検査 避難訓練(侵入者) 校外学習 町内陸上大会 区民運動会 | 照度測定 飲料水の検査 環境衛生点検 運動場の整備 | 就学時健康診断の計画と実施 区民運動会に伴うけがの防止 | 生活点検の実施 | 3年:毎日の生活と健康(3時間完了) 4年:育ちゆく体とわたしたち(5時間完了) 2年:赤ちゃんはどこから | 清掃指導 給食指導 個別歯みがき指導 姿勢指導と姿勢タイムの実施 生活点検集計と報告 | 代表委員会参加 生活点検集計と報告 | 保健だより・月の目標配布 PTA料理教室 栄養バランスのとれた簡単なおやつ作り | | | | |
| 11 | けがに気を付けよう | 江っ子まつり 避難訓練(火災) 交通安全教室 体重測定 校外学習 教育相談 | 飲料水の検査 環境衛生点検 遊具の安全管理 | けがの防止 | 室内の過ごし方の確認 | 1年:きれいな体 5年:心の健康(3時間完了) | 2年:おいしい給食 | 清掃指導 給食指導 個別歯みがき指導 姿勢指導と姿勢タイムの実施 | 代表委員会参加 区民体育祭参加 | SSスクール 親子で野菜ケーキを作ろう PTA環境整備 区民体育祭参加 | | | |
| 12 | かぜの予防しよう | 通学分団会 個人懇談会 大そうじ 終業式 | ストロークの管理 飲料水の検査 環境衛生点検 教室の換気 | かぜ・インフルエンザの予防 | 冬休みの生活点検 | 4年:たばこのけむり 6年:恐ろしい薬物乱用 6年:歯や歯肉によい食事について考えよう | 8年:健康な体になろう | 清掃指導 給食指導 個別歯みがき指導 教室の換気指導 姿勢指導と姿勢タイムの実施 | 代表委員会参加 手あらい・うがい の呼びかけ | | | | |

| 月 | 保健管理 | | | | 保健教育 | | | | 組織活動 | | | |
|------------|--|---|---|---------------------------------------|------|-------------------|--|-------------|---------------|--|--|---|
| | 学校の保健関連行事 | 環境 | 心身 | 生活 | 保健学習 | 保健指導 | | | | 児童 | 学校 | |
| | | | | | | 学級活動 | | その他の内容 | 日常個別指導 | | | |
| | | | | | | 性 | 薬物乱用防止 | | | | | 口腔衛生 |
| 5年・性の被害と加害 | | | | | | | | | | | | |
| 1 | <p>みんななかよくしよう</p> <p>休業式 大そうじ 身体計測</p> | <p>教室内二酸化炭素検査 教室の換気 飲料水の管理 環境衛生検査</p> | <p>かぜ・インフルエンザの予防 欠席状況の把握 発育統計処理</p> | <p>戸外運動の励行 椅子机の調整 冬休み生活点検</p> | | <p>5年・性の被害と加害</p> | <p>薬物乱用防止</p> | <p>口腔衛生</p> | <p>その他の内容</p> | <p>姿勢指導と姿勢タイムの強化 清掃指導 給食指導 個別園みがき指導 手洗いうがいの励行 心の健康相談</p> | <p>代表委員会参加 冬休み生活点検 集計と報告 学校保健委員会 発表資料作成 給食週間における児童集会</p> | <p>姿勢タイム強調週間 保健だより・月の目標配布 給食週間の実施</p> |
| 2 | <p>じょうぶな体を つくろう</p> <p>二種混合予防接種 学校保健委員会 通学分団会 なわとび大会 入学説明会</p> | <p>ストーブの管理 教室の換気 飲料水の管理 環境衛生点検</p> | <p>かぜ・インフルエンザの予防 欠席状況把握</p> | <p>生活点検の実施 フックスがけ 戸外運動の励行</p> | | <p>2年・なぜ似ているの</p> | <p>1年:おとこさん、たばこをすわないで 2年:おさげはまだ早いよ</p> | | | <p>姿勢指導と姿勢タイムの実施 清掃指導 給食指導 個別園みがき指導 手あらいがいの励行</p> | <p>代表委員会参加 生活点検の集計と報告 学校保健委員会参加・発表 新入学児との活動</p> | <p>学校保健委員会 保健だより・月の目標配布 保育園・幼稚園との連携</p> |
| 3 | <p>健康生活の反省をしよう</p> <p>愛校作業 体重測定 大そうじ 卒業式 修了式</p> | <p>校内の整備 環境衛生点検 飲料水の管理 ストーブの整備</p> | <p>健康手帳の整理 保健統計のまとめ 新学期の心構え</p> | <p>健康生活の反省 新学期準備</p> | | | | | | <p>姿勢指導と姿勢タイムの実施 清掃指導 給食指導 個別園みがき指導 手あらいがいの励行</p> | <p>代表委員会参加 保健委員会「腫瘍く藤江っ子になれたかな」 健康生活の反省 健康生活者の表彰</p> | <p>1年間の反省 新学期準備</p> |

自ら進んで心や身体を健康に育てようとする子どもの育成

白浜町立北富田小学校

1 本校の概要

白浜町は紀伊半島の南西部に位置し、白浜温泉で知られる観光の町と富田川下流の田園地帯の旧富田村からなり、南紀白浜空港があるところから、紀伊半島特に和歌山県の交通の要所となっており、本校は、その白浜町の北東部に位置し、国道42号線をはさむ四つの字を学区としている。富田川の支流の庄川流域の山間に細長く続く庄川地区は、数年来宅地造成が盛んで、他地域から本校への転入者が毎年数名ずついて、四地区の中でも児童数が一番多く、農業を主体とする地域であるが、農業で生計を立てている保護者は少なく、ほとんどは近隣の田辺市や白浜地区に働きに出かけている。

保護者や地域の教育にかける期待は大きく、学校が取り組みれば取り組むほど燃えて、一体の協働をおしまない状況が見られ、また、社会教育分野の地域活動も熱心に取り組み、子どもクラブ等の活動も保護者の連携でうまく継承され活気いっぱいの活動ぶりとなっている。

本校は、平成初期の頃より健康づくりや体力づくりに取り組んできたが、とりわけ、平成2年度、文部省の「体力づくり推進校」の指定を機会に、健康教育を学校教育の大切な柱として位置づけ、今日まで進めてきた。

全校の児童数は、現在のところ128名で、6学級編成であり、児童は明るく素直で、また継続して体力づくり、健康づくりに取り組んでいることからたいへん活動的である。

2 学校教育目標と健康教育

本校の教育目標は、学校教育本法に基づき、

- 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人格の形成をめざし、たくましく生き抜く子どもの育成。
- 一人ひとりの子どもが生涯を主体的に生きていくために必要な能力や人格形成の基礎・基本をしっかりと身につける。

と設定し、めざす子ども像を「いきのよい北小っ子」と描いた。

「いきがよい」というのは、どのような姿を指すのか。私たちは次の4つの具体的な姿が実現できたときに「いきがよい」と言えるのではないかと考えた。

第一に、主体的であり、自ら考え判断でき、それをいきいきと表現できる元気な子どもの姿ではないか。

第二に、健康的であり、やさしさや思いやりをもち、仲間と力を合わせる心豊かな子どもの姿で

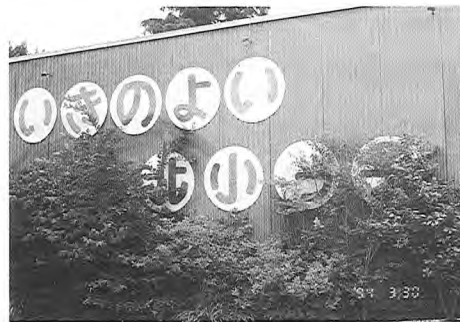
はないか。

第三に、大志を抱き、夢を広げ自分らしく生きるがまん強い子どもの姿ではないか。

第四に、心と体をきたえ、力一杯がんばるたくましい子どもの姿ではないか。

そして、このような、めざす子ども像実現のために、4つの合い言葉をもって一丸となって取り組むことにした。

はきはき…はきはきと自分を表現できる子
すくすく…身も心もすくすく伸びる子
ゆうゆう…ゆうゆうとした広い心をもつ子
ぐんぐん…何事にも全力をだしてぐんぐん伸びる子



3 研究推進組織

こうした考えに基づいての教育活動は、1教科や領域だけでなく、また学年だけの取り組みでもなく、総合的な取り組みとなる。

したがって、取り組みにあたっては全職員が十分に共通理解を図り、計画的、継続的に進めないと非常に曖昧なものになりがちである。

健康教育を日常の教育活動の中で組織的・計画的に進めるため、職員集団を2つの機能部会に分け、研究推進していくことにした。機能A部会は健康的な体づくりや心づくりについて、機能B部会は健康的な生活づくりや環境づくりについて、それぞれ具体的な活動計画を立案するとともに、その実践に取り組むことにした。

機能A部会は体育指導担当、給食指導担当、保健指導担当、人権指導担当で構成し、機能B部会は、生活指導担当、安全指導担当、それに教務主任、主事によって構成した。

それぞれの部会が研究推進するうえで、共通認識としている点は、豊かなライフスタイルを形成すること、つまり、基本的な生活習慣を確かに身につけることや生活体験を豊かにするなど、生活全体のレベル向上に取り組むことが、子どもの全人的な成長・発達を促進し、「生きる力」の形成につながるのではないかとということである。

4 健康教育の実際

健康教育の目標を「自ら進んで心や身体を健康に育てようとする子どもの育成」と設定した。そして、目標達成のために、次の4つの分野「健康的な体づくり」「健康的な心づくり」「健康的な生活づくり」「健康的な環境づくり」を実践し、子ども一人ひとりの自己実現をめざすことにした。

こうした活動を進めるとき、子ども自身が課題を見つけ、考え、判断し、決定し、行動するというところに視点を置き、「子どもが主体」の活動を展開しないと「生きる力」の形成に結びつかないことはいうまでもないことである。

以下、「体づくり」「心づくり」「生活づくり」「環境づくり」の主な活動である。

1) 体づくり

「体づくり」の活動では、体力づくりや食生活学習が大きな柱である。食生活学習は生活づくりで述べるとして、ここでは体力づくりをどう考え、取り組んでいるかについて述べることにする。

一般に体力というとパワーとか持久力などがイメージされるが、単純にパワーや持久力を高めると捉えるのではなく、生涯体育という観点から、私たちは「づくり」ということを重要な指導ポイントとおさえ、体力のある子どもを育て上げるというよりも、自ら進んで体力づくりに取り組む子どもを育てたいと考えている。

こうした取り組みは、子ども自身が課題を見つけ、考え、判断し、決定し、行動するということを重視し、「子どもが主体」の活動に展開していくことが必要であり、そのことが「生きる力」につながると確信している。

たとえば、毎週火、木曜日の業前20分間実施している「ぐんぐんタイム」の取り組みでは、子どもの意欲を大切にしながら、楽しいなかでの体力づくりをめざしてきた。子ども自身が自分で決めた運動を目標を持って取り組むようになり、いきいきと活動している。

このように、教科体育や教科外体育の場の中で、子どもが自分で選んだり、決めたりする機会をつくることは、単に体力を高めるということだけでなく、自分の力で目標に近づいたり、実現させたりする力にもなり、いわゆる「生きる力」につながると考えている。

子どもたちが選択した運動は、なわとび、竹馬、一輪車、マラソン、跳び箱となっている。

写真は、跳び箱を選択した子どもたちの様子で、目標をもって運動している。



2) 心づくり

心づくりの活動では特に体験ということがキーワードである。なかでも生き物を育てる体験や自分の意志を表現する体験は、大切な活動として位置づけをしている。

一例であるが、3年生の理科学習「チョウを育てよう」では、子どもたちの優しさや思いやり等、健康的な心が育つ学習となった。

- ・あんなに小さいたまごから、こんなにりっぱなチョウになるなんてはじめて知ったよ。勉強にやくにたったよ。元気いっぱいとおい空にとんで行ってたびをつづけてキャベツ畑にたまごをうんでね。(A児)
 - ・たまごからせい虫まで、よくからをぬいだりいろいろがんばったね。さいしょは1ミリもないたまごだったのに、少しずつよう虫、せい虫になってやっと大きくなったね。(B児)
 - ・ここまでくるのに、からをぬいでくろうしたね。これからもがんばって生きていってね。(C児)
 - ・とんでいくのを見て、「元気でね」と思った。たまごから育っていろいろなできごとがあったけど、やっとなびたって行ってよかったね。さようなら、元気でね(D児)
- たまごの小ささに驚き、幼虫が動くのを見て歓声をあげ、さなぎを見てさわり、成虫になったと大喜び、教室から飛んでいく時は、皆でバイバイをしました。3年生の教室から、次々とモンシロチョウが飛び立っていきました。(担任)

週一回、4、5、6年生に位置づけている「北小タイム」での創作「すこやか太鼓」の表現活動、毎週月曜日の読書タイム、3年生を中心として実施している養護学校との交流学习なども、それぞれ豊かな心を育む大切な体験活動である。

3) 生活づくり

小さい時に身につけた習慣は大人になっても変えにくいといわれることから、子どもの時にこそ、日常生活での基本的な生活習慣を身につけさせる指導を大切にしたいと思い次のような取り組みを行っている。

①すくすく点検

基本的な生活習慣の定着を目標に、保護者の協力で年3回、生活の点検を行っている。点検の結果は集約され、分析を加え、保護者と子どもに報告するようにし、よりよい生活をするための啓発資料としている。

②すこやか指導

月1回、学級指導の20分間をとり、歯の健康指導を中心に身体の清潔、風邪の予防、目の健康、耳の健康等の健康指導を行っている。歯みがき指導では、給食後、歯をみがき、「ぴかぴかカード」に記入、むし歯予防に努めている。

③薬物乱用防止教室

近年、薬物乱用について、低年齢化や日常的な場面での勧誘などが社会問題となっている。子どもたちは、シンナーや覚せい剤という言葉は耳にしているが、その実態や身体に及ぼす害などについては正しい知識はもち合わせておらず、身近な問題とし捉えてはいないところがある。そこで、6年生では、青少年補導センター・補導員をゲストティチャーとしての授業を展開し、子どもたちは、薬物の恐ろしさを知るとともに、自分の生命や身体を大切にすることの心構えをもつことができた。

④喫煙防止教室

タバコや大人社会に興味を持ち始めるこの時期にタバコが身体に及ぼす影響を学習し正しい知識のもとに自分の健康について意志決定できることが大切と考え、5年生では青少年補導センター長を講師に、「あなたはタバコを吸いますか」の授業を展開し、子どもたちは、生涯にわたって自分の健康を守るためにはどうすればよいのかに気づいてくれた。

⑤子どもすくすく委員会

子どもすくすく委員会は、自ら進んで健康的な生活づくりや健康的な体づくりを目標に、自分たちの身近な問題を取り上げて話し合い、実践していく全校的な活動である。

月に1回委員会を開き、「みんなが取り組めること」を中心に考え実践している。

4) 環境づくり

①安全指導

子どもが被害に遭う事件が増加しているなか、安全な学校生活や登下校は重要な課題である。本校は集団登校を実施しているが、月1回、保護者の協力を得て、登校指導を行っている。

②給食指導

生活習慣病の要因となるものでは、日常の食生活が大きなウェイトを占めるといわれている。こうしたことから、学校では学校給食の充実を図っているところである。また、PTA組織に給食委員会を置き、給食試食会やおやつづくり講習会を学校栄養士の指導で行っている。

③学校すくすく委員会（学校保健委員会）

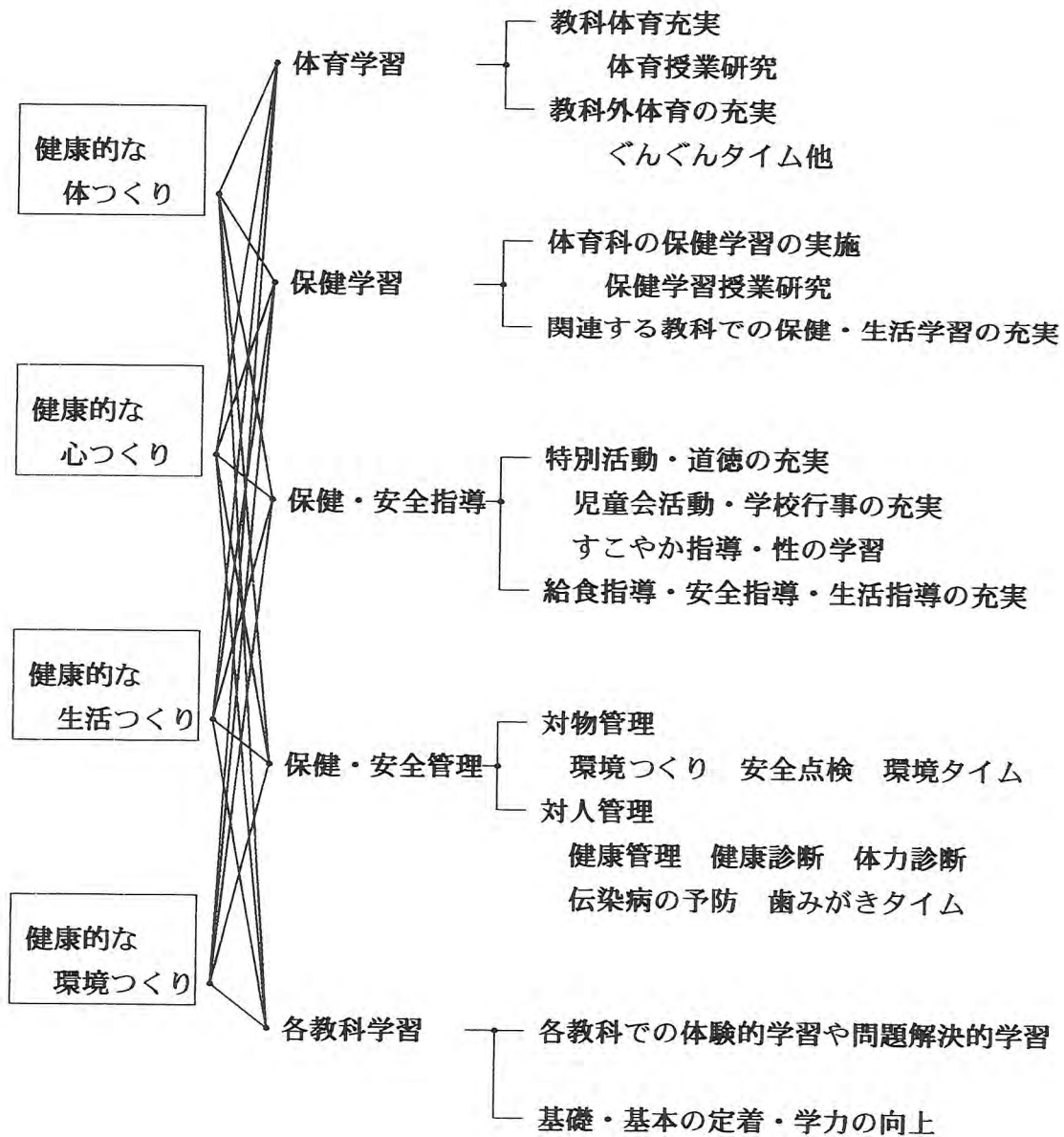
学校医、薬剤師、公民館、民生児童委員、地域の方々、PTA等の協力で年3回開催し、ここでは、学校保健に対し幅広く意見を聞き、本校の健康教育に資するよう努めている。

④地域との連携

教育は学校だけのものではなく、地域との連携は不可欠である。学校は地域に向けて発信し、地域の人々の視線を子どもに向けてもらう必要がある。このためのひとつの組み合わせとして、健康祭り「ふれあいフェスティバル」があり、この行事は今まで学校が取り組んできたものを集約し開催しているものである。内容としては、子ども絵画展、音楽会、マラソン大会、高齢者との交流会などで、この中で、子どもたちは、地域の方々から多くのことを学んでいる。

◎資料1 〈健康教育推進構造図〉

いきのよい北小っ子を育てるために



◎資料2 〈保健組織活動〉

本校の教育目標「いきのよい北小っ子の育成」を達成する道筋で児童の実態から明らかにされた課題で最も大切に考え合い実践への具体化を図らなければならないことは、保健、安全、環境であろうといえる。

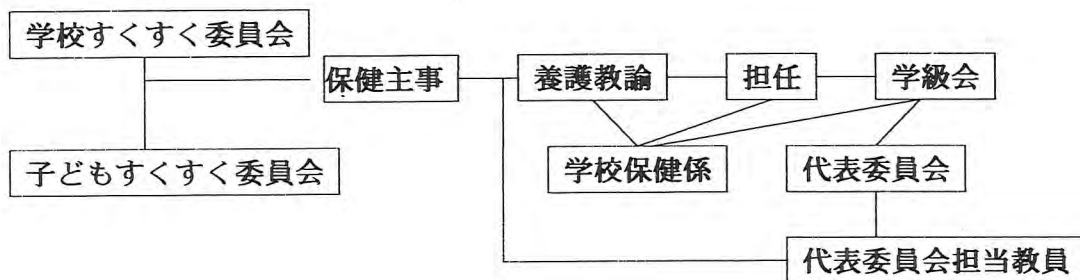
そこで、計画的で組織的に活動し、実質的に「いきのよい北小っ子」づくりのために次の2つの委員会を設け、健康教育の推進を重視し、一人ひとりの自己認識の高めから始まって、学級、家庭、地域ぐるみでの活動を進める。

1. 子どもすすすく委員会

〈ねらい〉

- ①健康な心や身体づくりをめざして自分たちの身近な問題を取り上げて、話し合い、全校へ、学級へ広めていく。
- ②健康なよい習慣づくりや病気やけがの予防などについて、学級の様子を出しあって日常活動を進めます。
- ③学級では、保健係がリーダーシップをとり、みんなが健康な生活をきづいていく活動を進める。

〈組織〉



〈活動計画〉

- ①「ねらい」の達成を目指して、月1回の会議と必要に応じて臨機応変に会議を開く。また学校すすすく委員会に参加し、協議に加わり、時には提案発表をも行う。
- ②月目標のもととなるための工夫、手だてなどを考え合う。
- ③がんばりカードやアンケートの結果で反省できるデータを作っていく、みんなが高まり合う資料にしていく。
- ④他の委員会の活動と協議し合う。

2. 学校すすすく委員会（学校保健委員会）

前述

活力があり健康なライフスタイルを 営むことができる児童の育成を目指して

～学校からの発信によって広がる地域との連携・交流の輪～

赤来町立来島小学校

1 学校概要

本校は、児童数59名の小規模校で、校区は飯石郡最南の中国山地にあり、神戸川上流に沿って開けた自然豊かな農山村である。町の基幹産業は農林業で、水稻を中心に、畜産、施設園芸、林業などを組み合わせた複合経営であり、ほとんどが兼業農家である。『健康』をキーワードとした学校教育の推進を学校教育の特色として掲げ、健康教育の推進体制を整備し、全教職員が共通理解を図りながら、心身ともに健康な児童の育成を目指している。児童は、純朴で明るく素直であるが、自分の思いをうまく相手に伝えることが苦手で、基本的な生活習慣が十分に身につけていない子や情緒の安定しない子の割合が高い。

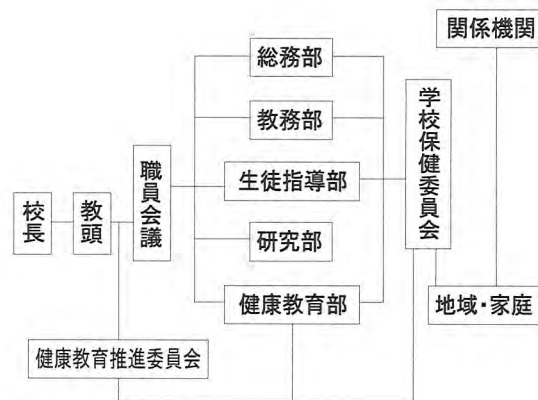


2 健康教育推進に当たって

(1) 活性化のための組織作り

本校では、子ども達を取り巻く現代的諸課題の解決に向けて、『健康』をキーワードとした教育活動を積極的に推進していくために、学校運営の組織に健康教育推進委員会と健康教育部を設置した。

健康教育部の部長は保健主事を兼ね、養護教諭および学校安全主任、学校栄養士等と協力しながら、コーディネーターとして児童の実態や課題に応じた活動を焦点化し、健康教育に関する行事や授業等の企画・運営を行っている。また、全教職員が健康教育・管理の各分野における役割を分担して健康教育に関する活動を展開できるようにするとともに、教務主任や教科等の主任と連携し、教育計画全体との調整を図るよう務めている。



(2) 地域を巻き込み企画・展開する学校保健委員会

本校の学校保健委員会は、健康に関する課題の解決に向けて、児童会や教師、PTA、地域の関係諸機関が積極的に組織活動を推進するための企画・調整・検証の場、いわば母体として機能してきている。会則の改正から3年を経て、ますます地域の関係機関や団体との適切な協力が得られるようになり、学校と保護者、地域がそれぞれの場で、あるいは一体となって児童の健全育成のための組織活動を企画・実践している。

1 学校保健委員会運営の実際

平成14年度のテーマ
自己存在感を感じて生き生きと取り組む児童の育成

(1) それぞれの課題を持ち寄り対策を検討する準備会

学校保健委員会の実施に先立って、保健主事、養護教諭、PTA 担当者、学校栄養師、公民館主事、町保健師等で構成した準備会を開催している。前年度末に決定しているテーマに沿って学校およびPTA、関係諸機関等が立案した今年度の取組みについての意見交換や要望を出し合い、学校保健委員会に提出する原案を作成している。計画を発表するとともに、互いの企画に対する意見や要望を出し合う。



今年から、スクールカウンセラーが配置されることになりました。学校保健委員会のメンバーとして、子ども達や保護者の皆さんに関わっていただきましょう。

食に関する指導の冊子ができました。栄養士さんとのT・Tで、学級活動の時間を増やしたいのですが・・・。

子育ての悩みについて相談できる機関が、もっと近くにあるといいなと思うのですが。

(2) 年2回開催の学校保健委員会

●企画・調整をする第1回…5月に実施される第1回学校保健委員会では、準備会で話し合ったこと等について意見交換をし、それぞれの活動内容について決定するとともに、協力体制の充実を図っている。また、テーマに沿った講話等などの研修内容も取り入れるなど、関係者の資質向上も図っている。



明るくて楽しい学校作りを進めます(児童会)

【平成14年度の取組み】

| | |
|--------|--------------------------------|
| 学校 | 環境整備、総合単元的道徳学習の推進、学級活動の充実 |
| 児童会 | 心が明るくなる学校作り、花作り少年団の活動、楽しい集会活動 |
| PTA | 親子料理教室の継続、井戸端会議、性教育パネルディスカッション |
| 保健センター | 栄養師・保健師の派遣、食生活改善推進委員さんとの交流 |
| 給食調理場 | バイキング給食、外国料理、地産地消の推進 |
| 公民館 | 子ども料理教室、土曜日の施設開放 |
| 民生委員 | アクションプラン、あいさつ運動 |

- それぞれの取組みについてまとめと検証をする第2回…3学期には、実践の様子や成果と課題を発表し、次年度のテーマを決めている。

学校からの呼びかけに応じて保護者や地域において様々な取組みがなされ、子ども達の情緒の安定を図り、自己存在感を感じさせることのできるような活動が多数実践されるようになってきた。その結果、学校生活に意欲を持って取り組む児童の姿が多く見られるようになったことは成果のひとつと考える。

2 家庭・地域等との連携を図った健康教育

(1) 口と歯に関する指導の充実

本町では、赤来町歯科保健連絡協議会を設置し、う歯予防を中心に昭和50年度から歯科保健に積極的に取り組み、フッ素塗布、歯科衛生教室、治療完了者の表彰、虫歯予防デー関連事業、歯ブラシの斡旋等を行ってきた。本校においても、この協議会と連携し、『口と歯の健康に関する学級活動年間計画』を作成し、6月の歯科衛生週間と、11月に実施する歯科衛生教室の時間を中心として、学校歯科保健活動を行っている。歯科衛生教室では、歯科衛生士と養護教諭がT・Tで、ビデオや学習効果を高める教材具体物を利用した指導を工夫することにより、児童の意識を高めることができ、効果は着実に現れている。

(2) 喫煙防止に関する指導

喫煙については、これまでも薬物乱用防止教育として、6年生の保健の時間に担任と養護教諭のT・Tで授業を公開する等の取組みをしてきたが、低学年からの繰り返し指導が必要と考え、13年度は、木次健康保健センターから担当の方を招き、『喫煙防止教室』を実施した。また平成14年度には、全学年に、発達段階を考慮した指導を計画的に行った。

(3) 性と生を考えるパネルディスカッション（性教育ワークショップ）

本校では、自尊感情を高め、自他を尊重する態度を育成することを旨として、保健指導を学級活動の中に明確に位置づけ、ゲストティーチャートとのT・Tや多様な集会活動等により、知識を身に付けさせるとともに実践への意欲化を図っている。

性教育についても、町の養護教諭部会で作成した『性教育年間指導計画』に基づき、小・中が連携して系統的に指導することにより、効果を上げている。

これまでも、性教育の授業を公開し、内容や取組みについて保護者に理解を頂くためにワークショップを開催するなどしてきたが、14年度は、『性について語り合える親子関係作り』を目指そうと、標記のような会を企画した。保健センターの所長（医師）、本校養護教諭、助産婦（保護者）、父親代表らがパネラーとなり、それぞれの立場や参加者からの意見交換により、性教育と性をオープンに語り合える親子関係を築くことの重要性を話し合うことができた。



(4) 総合的な学習の時間を使って、高学年に継承される生活習慣病予防の取組み

平成12年度、学校保健委員会のテーマ『よりよい食習慣の形成』を受けて、6年生が『古代人の食生活』についての学習をした。13年度には、保健師から生活習慣病の罹患率の高さについての講話を聞いたことをきっかけに、生活習慣病を予防する食生活について学習し、学んだことをもとに野菜の直販をしたり、地域の方を招いて、ウォークラリー大会を実施したりした。14年度は、大豆の栽培や豆腐作りを学び、保健師や栄養師と協力して、食生活改善推進委員会の方に豆腐やおからの調理法を知ってもらうための料理教室を開き交流したり、町主催の健康作りシンポジウムに出席したりし、生活習慣病を予防する食生活等について学習した。地域の健康課題を総合的な学習のテーマにすることは、児童自らの食生活をよりよいものにしようとする意識を高めるとともに、学んだことを地域に発信することを通して、地域に貢献する喜びや満足感を味わうことができ、自己存在感を味わうことにつながった。



3 保健室機能を生かした健康教育・管理活動

(1) 健康教育への参画

養護教諭は、専門的な知識を生かし、資料提供等を通して学級担任の支援をするとともに、学級活動や保健の授業を積極的に行っている。

(2) 保健室相談活動

児童にとって居心地のよい保健室づくりのために、環境を整えるとともに、『オアシスルーム(第2保健室)』、『安らぎコーナー』を設置し、生徒指導担当との連携を図りながら心身の相談活動に取り組んだ。

(3) 保健室の環境整備

清潔で明るく使いやすい保健室を目指し、休養、治療、学習などのエリアを設け、養護教諭以外の職員も積極的に活用できるようにしている。なお、年度始めには活用のための校内研修を行っている。



健康相談コーナー

4 食に関する指導の充実

(1) 『食』に関する指導を生かした収穫祭

『食は、自然・人・体との出会い』をテーマに、サツマイモや野菜、大豆など栽培した作物を生かし、地域の自然や人に学びながら、保護者や学校栄養士、食生活改善推進委員会の積極的な協力を得て、地域の方とともに、よりよい食生活のあり方を探る取組みを続けている。ふるさとのよさを生かし、『心』と『食』を結ぶ取組みを継続することにより、『食の自己管理能力』を高め、情緒の安定を図ることができると考えている。

(2) 学校給食の充実

① 望ましい食習慣をはぐくむ学校給食

学校給食年間指導計画に基づき、ランチルーム給食での全体指導や学級活動等で計画的に指導を行った。低・中・高学年別にねらいを持たせたバイキング給食のためのワークシートの工夫など、児童が自分なりの課題をもって取り組めるよう工夫している。

② 楽しい学校給食

給食の行事献立を利用し、お花見給食、青空給食、こいのぼり給食、七夕給食、色別給食、ハローウィン給食、バイキング給食時の調理員さんとの交流等を行い、楽しい雰囲気の中での給食を計画的に実施した。また、雰囲気を変えて少人数で会食するレストラン給食も児童に人気がある。



5 学校安全の推進と充実

(1) 安全の日の設定

毎月一日を安全の日と定め、安全主任による月の重点項目および学級活動における指導内容の確認、安全点検の実施、防犯ベル・安全たすきの点検などを行っている。

(2) 児童が主体的に取り組む交通安全教室

駐在所との連携による交通安全教室を実施する際、最高学年の児童が学習したことを下学年に伝える形式が定着した。6年生は、『子ども自転車大会』参加に向けての取組みにより、確かな知識と技能を身に付け、自信を持って指導できるようになってきている。

(3) 危機管理の推進

池田小学校における児童殺傷事件を教訓に不審者等侵入事件対応マニュアルを作成するとともに不審者対応避難訓練と防犯訓練を積極的に実施した。また、来校者リボン、看板、各教室にハンドマイクや防犯ブザーを設置するなど防犯用備品も整備をしている。

6 快適・教育的な環境作り

(1) 学校環境衛生活動の充実

学校保健計画に学校環境衛生活動の実施計画を位置づけ、適切な点検表を作成して、対物管理と定期環境衛生検査、日常点検等を計画的に実施し、事後処置と指導の徹底を図っている。

(2) 美化活動

情緒の安定を図るために、管理職による校舎内外の巡視、ガーデニング、明るく楽しいトイレの工夫等により、安らぎのある空間作りを目指している。



(3) 教育的効果を目指す環境

保健指導で扱った教材教具や、教科や各種教育の担当による、工夫を凝らした掲示物や具体物を配置することで児童の興味・関心を高め知識の定着を図るよう努めている。

《資料1》 学校保健計画

赤来町立来島小学校

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
|-------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 目 | 自分の体を知ろう | 手洗いをしよう | 歯を大切にしよう | 暑さに負けないで すこすこ | 外で運動し体を鍛えよう | 目を大切にしよう | 姿勢を正しくしよう | かぜに気をつけよう | 寒さに負けないで すこすこ | 教室をきれいにしよう | 自分の成長をふりかえろう 耳を大切にしよう | | |
| | 自分の健康を正しく知る ・健康診断から ・生活評価から | 自分のからだに込めよう 心をもとう ・根芝居 | 歯みがきのしかたを身につけよう | 1学期の反省をしよう | 生活リズムをととのえよう | 目の体操運動 | 姿勢を正しくする ・よい姿勢 ・机といすの調整 | かぜやインフルエンザの予防 ・うがい 2学期の反省 | 冬の健康 | 冬の健康 | かみかみメニューを考えよう | 1年間の反省 | |
| 保健指導 | 給食後のほみがき呼びかけ 健康診断事前指導 | 歯科検診結果報告 | 歯の衛生週間 | 夏の過ごし方 救急法(5・6年) | けがの予防にことめ 応急処置の仕方を知る ・簡単なけがの手当 | 近頃の予防 ・テレビの見方 | 【歯科衛生教室】 ・上手にえらぼう たしのおやつ(1年) ・おやつの上手なり方 ・おやつのとり方を考えよう(3年) ・よくかんでおいしく食べよう(4年) ・かむことの大切さを知ろう(5年) ・食生活と歯・口の健康(6年) | 冬の健康に注意 ・ひび、しもやけ ・冬に多い病気と予防 | 冬の健康に注意 ・ひび、しもやけ ・冬に多い病気と予防 | かみかみメニューを考えよう | 1年間の反省 | | |
| | 学級活動 | | | | | | | | | | | | |
| 委員会活動 | 1年間の計画 | 手洗い場、足洗い場の清潔 | 歯みがき調べ 歯の保健指導 | 夏休みのおやつ紹介 | 夏休みの反省 | テレビ時間調べ | 骸骨を作ろう | 換気の呼びかけ 手洗い指導 | 換気の呼びかけ 手洗い指導 | タバコを調べよう | 1年間の反省 | | |
| | 保健学習 | 3年：毎日の生活とけんこう 4年：着ちかぐ体とわたしたち(体の發育・思春期の体のへんか、思春期の心のへんか) 5年：けがの防止(学校のけがの防止、交通事故の防止、交通安全とかんきょう、心の発達、心と体のかかわり、思春期の心の健康、心の健康アトバイス) 6年：病気の予防(病気の原因、病原体と病気、O157・EHEC、生活習慣病の予防、むし歯や歯ぐきの病気の予防、たばこの害、酒の害、薬物乱用の害) | 自分の健康観察 健康診断と事後措置 個人カルテの記入 歯科検診・尿検査 | 1年間の生活とけんこう 2年：毎日の生活とけんこう 3年：毎日の生活とけんこう 4年：着ちかぐ体とわたしたち(体の發育・思春期の体のへんか、思春期の心のへんか) 5年：けがの防止(学校のけがの防止、交通事故の防止、交通安全とかんきょう、心の発達、心と体のかかわり、思春期の心の健康、心の健康アトバイス) 6年：病気の予防(病気の原因、病原体と病気、O157・EHEC、生活習慣病の予防、むし歯や歯ぐきの病気の予防、たばこの害、酒の害、薬物乱用の害) | 日常の健康観察 健康診断と事後措置 個人カルテの記入 歯科検診・尿検査 | 夏休み健康状況の把握 夏休みの健康観察 運動会への健康管理 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 手洗い、うがいの励行 心の健康への配慮 冬休みの健康管理 冬休みの健康観察 手洗い、うがいの励行 | 日常の健康観察 インフルエンザの早期発見と予防 手洗い、うがいの励行 欠席状況把握 | 日常の健康観察 インフルエンザの早期発見と予防 手洗い、うがいの励行 欠席状況把握 | 日常の健康観察 インフルエンザの早期発見と予防 手洗い、うがいの励行 欠席状況把握 | 日常の健康観察 健康診断票の記入 1年間の健康生活的反省とまとめ 次年度の学校保健計画等の計画 | |
| 対人管理 | 保健調査・健康観察 の要領の確認 健康診断・事後措置 身体測定・内科検診 視力・色覚検査・ツ反・BCG・聴力検査・治療動告 職員健康診断 健康相談 速足の健康管理 | 日常の健康観察 健康診断と事後措置 個人カルテの記入 歯科検診・尿検査 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 | 日常の健康観察 歯科検診 歯垢測定検査 歯茎炎の健康診断 手洗い、うがいの励行 換気指導 心の健康への配慮 |
| | 対物管理 | 日常点検 机・いすの調整 飲料水検査 校庭の安全管理 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 |
| 保健管理 | 清掃計画配布 大掃除 日常点検の励行 飲料水の検査 | 日常点検 机・いすの調整 飲料水検査 校庭の安全管理 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | 日常点検 飲料水の検査 大掃除 | |
| | 定期環境検査 | 照度及び照明 机・いすの整備 ごみ | 飲料水 ねずみ・衛生害虫等 プール | 足洗い場 排水 水飲み・洗口・手洗い場 | 足洗い場 排水 水飲み・洗口・手洗い場 | 照度及び照明環境 黒板の管理 | 教室の空気(二酸化炭素測定) | 教室の空気(二酸化炭素測定) | 教室の空気(二酸化炭素測定) | 教室の空気(二酸化炭素測定) | 教室の空気(二酸化炭素測定) | 教室の空気(二酸化炭素測定) | |
| 組織活動 | 健康推進部会 | 学校保健委員会 | 地区懇談会 | 地区懇談会 | 地区懇談会 | 地区懇談会 | 地区懇談会 | 地区懇談会 | 地区懇談会 | 健康推進部会 | 学校保健委員会 | | |

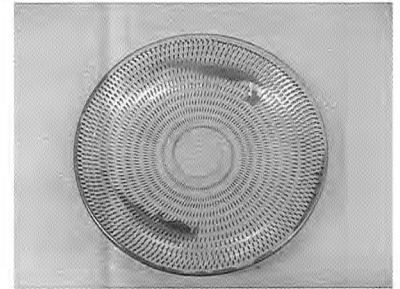
| 月の重点目標 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
|---------------|--|--|---|--|---|---|--|---|---|---|---|---|---|
| 主な学校行事等 | 通学路を正しく歩こう 入学式・健康診断・修学旅行・遠足 | 安全に休み時間を過ごそう 避難訓練・町内交通安全大会・交通安全教室・学校保健委員会 | 雨の日にも安全に生活しよう 朝立上大会・体ナテスト・プール掃除 | プールのままを守ろう。 プール開き・町内交通安全大会・緊急法講習会・宿泊訓練・キャンプ | 自転車のままを守ろう 運動会・避難訓練 | 校外生活を安全に過ごそう 春休作業 | 乗る物の降り降り気をつけてよう 遠足・収穫祭・郡ミニバス大会 | 安全に学校生活を過ごそう 交通安全大会 | 安全な冬の生活をしよう 学習発表会 | けがをしないように運動しよう 学校保健委員会 | けがをしないように運動しよう 学校保健委員会 | 安全な生活ができるようにしよう 6年生を送る会・卒業式 | |
| 安全指導 | 低学年 ○通学路の確認 ○子ども110番の家 ○遠足の約束 ●遠足の安全(2年) ○安全な給食調理 | ○休み時間の約束 ○通学路の確認 ○安全な下校 ○給食の起こる場所 ○遠足の約束 | ○雨天時の約束 ●教室・廊下などにおける安全(1年) ○遊び場や行き帰りの安全 | ○プールの約束 ○落雷の危険 ○夏休みの約束 ●止まっている自動車(2年) | ○自転車乗車時の約束 ○道路での安全な歩行 ○雨降りの安全な通車 ●自転車乗車時の約束 ●歩道の歩き方 ●冬休みの安全な通車 ●止まっている自動車(2年) | ○雨天時の安全な通車 ○安全な下校 ○給食の起こる場所 ○遠足の約束 | ○乗物の安全な降り方 ○自転車の降り方(1年) ●止まっている自動車(2年) | ○校庭での安全な遊び方 ●自転車の降り方(3年) ●雨の日や夜間の歩行(4年) | ○校庭での安全な遊び方 ●自転車の降り方(3年) ●雨の日や夜間の歩行(4年) | ○雨天時の安全な通車 ○安全な下校 ○給食の起こる場所 ○遠足の約束 | ○雨天時の安全な通車 ○安全な下校 ○給食の起こる場所 ○遠足の約束 | ○雨天時の安全な通車 ○安全な下校 ○給食の起こる場所 ○遠足の約束 | ○雨天時の安全な通車 ○安全な下校 ○給食の起こる場所 ○遠足の約束 |
| 安全教育 | 児童会活動 委員会活動開始 ・班会 ・交通安全大会 ・交通安全大会 ・交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 生活 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 理科 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 図工 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 家庭科 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 体育 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 総合的な学習の時間 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 道徳 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 安全管理 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |
| 学校安全を推進する組織活動 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 | 交通安全大会 交通安全大会 交通安全大会 |

豊かな心を持ち、たくましく生きる 子供を育てる健康教育

福岡県朝倉郡小石原村立小石原小学校

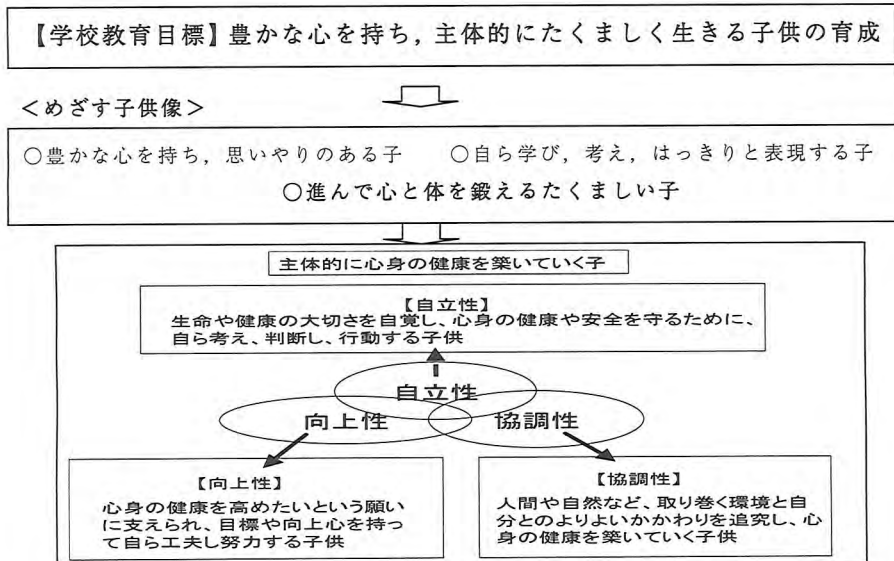
1 学校紹介

小石原小学校は、福岡県と大分県の県境に近い場所に位置し、標高500メートルの高さにあるへき地山間小規模校である。四季を通じて風光明媚な自然条件に恵まれ、また、行者杉をはじめ数々の史跡が点在する小石原村は、伝統工芸「小石原焼」が著名で、現在50軒あまりの窯元が300年来の伝統を守り続けている。こんな豊かな自然環境の中でのびのびと生活する本校70名の児童の生活にも現在の社会状況の変化は、少なからず影響を及ぼしてきている。自然とのふれあい、遊び等を通じた人間同士のかかわりなどの機会の減少、生活習慣や生活のリズムの乱れ、人に対する思いやりや自主性、忍耐力や体力、むし歯の保有率などに不安な一面が見られる。



そこで、「豊かな心を持ち、たくましく生きる子供を育てる健康教育」を具現化していくことが、本校児童のよさである素直さや明るさ、やさしさを健康の基盤として生かし、心身ともに健やかな児童の成長につながると考えている。

2 学校教育目標と健康教育



3 自分の生活へ発展させる歯・口の健康づくり

<健康教育の重点課題>

<現代社会の要請>

<本校の学校教育目標>

【健康に関する自己管理能力の育成】

- ・急激に変化する社会で、食生活をはじめとする生活習慣の乱れが、心身の健康に様々な問題を生じている。

【豊かな心を持ち、主体的にたくましく生きる子供の育成】

- ・本年度重点を置く子供像
「進んで心と体を鍛える逞しい子」

<健康教育で育てたい子供>

【主体的に心身の健康を築いていく子供】

生涯にわたって自分の健康を考え、自らその保持・増進を図る能力や態度

<本校の子供の健康課題>

【本校児童も健康の自己管理能力を】

- ・病気の予防，けがの防止に関する自己管理能力向上の必要性。
- ・食事の軟食化によるあごの骨の未発達と歯並びの乱れ。
- ・糖分摂取過多、偏食などによるむし歯、そして歯周病の増加傾向。

<歯・口の健康づくりの意義>

【歯・口を通して生活が見える】

- ・小学校6年間は、歯の交換と、歯を支えるあごの骨の顕著な発達による歯・口の最大の成長期。
- ・歯・口を通して、食生活，生活習慣や成長に関する課題が意識され，主体的な健康観の構築が期待できる。

<本校健康教育の重点課題>

【自分の生活へ発展させる「歯・口の健康づくり」】

- ・子供が自分の生活を見つめ、歯・口の健康にかかわる健康課題を自覚し、解決への願いに支えられ活動を展開していく中で、よりよい実践や確かな情報を見出して自分の生活に生きて働く健康観を築いていくことができるようにする。

<課題解決のための実践の方向性>

| | 低 学 年 | 中 学 年 | 高 学 年 |
|----------------------------|--|--|---|
| 重 視 す る 学 習 | 【学級活動】 ・歯・口の健康につながる基本的な生活習慣の定着をめざす過程で、自分の健康を大切にする具体的実践を築く学習。 | 【総合的な学習の時間】 ・歯・口の仕組みや働きを追究する過程で、歯・口の役割や大切さを見出し、自分の生活に生かしていく学習。 | 【総合的な学習の時間】 ・歯・口の健康について広い視野から追究する過程で、健康の大切さを実感し、自分なりの健康観を築いていく学習。 |

4 具体的実践

(1) 第1学年 学級活動 題材「6歳臼歯を自分で守ろう」 6月

① ねらい

6歳臼歯の大切さが分かり、磨きにくくむし歯になりやすい6歳臼歯を自分で守るために、適切な磨き方を実践することができるようにする。

② 学習指導の実際（1時間）

<ふれる活動>

歯の日活動（8のつく日の業間活動）で芽生え始めた6歳臼歯の大切さを学んだ子供たちに、午後の授業で歯垢染色体を使ってプラーク検査を行った。

子供たちは、磨いたはずの自分の6歳臼歯などが真っ赤に染まっている様子に驚き、6歳臼歯君（マスコット人形）の悲しい表情に、「自分の大切な歯を上手に磨くにはどうしたらよいか話し合おう」という切実なめあて意識を高めた。



<追究する活動>

手鏡を見て一生けん命歯磨きを工夫し始めた子供たちは、特に赤く染まった部分に目をつけ、「歯と歯茎の間をよく磨く」「歯のうらまでよく磨く」ということを見つけた。そこで、養護教諭に6歳臼歯に合った磨き方（突っ込み磨き）を指導してもらい試してみた。すると、自分の6歳臼歯などが無理なくきれいに磨けることを実感した。

<あじわう活動>

そこで、教師が準備した「歯磨きカード」を渡すと、子供たちは「奥歯をきれいにしたいです」「6歳臼歯をきれいに磨く」というめあてを書き込み実践への意欲と見通しを高めた。そして、夏休みにも家庭で粘り強く歯磨きを頑張る姿が見られた（家族の話から）。



③ 考察

プラーク検査と擬人化した6歳臼歯との対話から自分の歯磨きの仕方に課題を見出し、その適切な磨き方を習得したことは、子供が自分の歯への思いを深め、歯・口の健康づくりに主体的に取り組む意欲と見通しを高める上で有効であった。

(2) 第4学年 総合 テーマ「おいでよ！歯・口ワールドへ」 10月

① ねらい

歯・口の多様な働きやしくみについて自分が調べたことを多くの人に発信し自分の歯・口の健康づくりへの危機感や向上心を高め、自ら健康を守っていこうとすることができるようにする。

② 学習指導の実際（14時間）

<ふれる活動>

歯科技工士から歯・口の秘密（歯の性質や顎の成長と退化、歯の位置と形、動物の歯…）について聞き、歯・口の秘密についてもっと調べたいという思いを高めた子供たちは、次のような課題を立て、発表会を開く計画を立てた。

- ・一つ一つの歯には、どんな役割があるのだろうか。
- ・歯の成長の様子。
- ・歯はどんなもので出来ているのだろうか。
- ・昔と今の人の歯や顎の違い。
- ・歯と顎の関係や顎のいろいろな働き。
- ・人と動物の歯の違い。

<追究する活動>

子供たちは、図書室や保健室の本やビデオ、資料、またインターネットや歯科医、養護教諭への取材などを通して、課題についての情報収集をおこなった。

そして第1回歯・口ワールド（発表会）で全校児童や教師に成果を発表し、新たな情報や伝え方の工夫などの必要性を感じ、保護者、地域の人、来校者に向けた第2回歯・口ワールドに向けてさらに意欲的に追究を深めた。

<あじわう活動>

いよいよ第2回歯・口ワールド。体育館に築き上げた様々な観点からの歯・口情報コーナーで、収集した動物の歯の骨などの展示品や自分が準備した資料を提示しながら、子供たちは、追究の成果を多くの参観者に向けて堂々と発表した。そして、「自分の歯がこんなに素晴らしいものだとことを伝えられてよかった」と、自分の歯・口の巧妙さや尊さを改めて実感した。



③ 考察

歯科技師と出会って高めた歯・口のしくみや働きに関する自分の課題について情報を収集し、中間報告会をしてさらに追究を深め、多くの対象に成果を発信するという活動構成をおこない、子供理解をもとに個々の子供の必要に応じた資料や実物などを準備する支援を行ったことは、子供が主体的に歯・口の多様な働きやしくみを追究しその達成感を味わうとともに、自分の歯の素晴らし



さを自覚し大切にしようとする考えを築く上で有効であった。

(3) 第6学年 総合 テーマ「開こう！歯・口の健康づくりシンポジウム」 11月

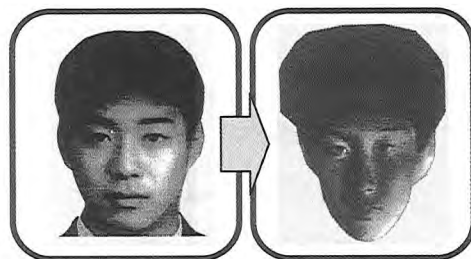
① ねらい

かむことと運動や情緒，思考力などとの関係について調べ，シンポジウムを開催して多くの参加者を前に，将来に向けて自分の歯・口の健康を自ら築いていこうとする主体的な健康観を述べるができるようにする。

② 学習指導の実際（13時間）

<つかむ活動>

現代人の顎が50年後，100年後には大きく退化するというコンピュータによる輪郭の変化の予想写真に衝撃を受けた子供たちは，原因が軟食化であると知り，その影響を知りたいと願った。そこで，養護教諭から食いしばる力の減退による筋力の低下や，かまないことで記憶力や思考力が鈍る，ストレスが増大するなどといった影響を知り，将来への不安を感じて問題を克服したいと願い，自分の歯と口の健康づくりをいかに進めていくべきかという課題を見出し，かむ力が重視されるスポーツ選手や栄養士，大学教授などを学ぶ対象に追究計画を立てた。



<追究する活動>

A 児は，プロボクサーのパンチ力とかみ合わせの関係について情報収集を行った。しかし，中間報告会で友だちが，スポーツ選手や栄養士に直接取材をし，具体的事実から健康の意義を見出したことを知り，自分も，具体的な事実をもとに確かな自分の考えを持ちたいという願いを高め，プロボクサーへの直接取材をおこなった。そして，チャンピオンをめざして厳しい練習を積み重ねる姿と自分の力の可能性を最大限に発揮しようと，かみ合わせに合ったマウスピースを使用したり，常に歯と口の健康を気遣っている姿を重ね，夢の実現に向かって健康を大切にしたい生活のしかたを考えていこうとする考えを見出した。



<あじわう活動>

A 児は，取材で得た確かな事実に活動の有用感を感じながら，「ほくも，自分の力を精一杯発揮できるようになりたい。そのために，自分で自分の歯・口の健康を大切にしたい。彼の努力に負けないように」とシンポジウムで語ったのである。



③ 考 察

歯・口の確かな健康課題を意識する体験から、課題に応じた取材活動、そして自分が築いた健康観を語るシンポジウム開催という活動構成と、子供の願いに対応する取材対象確保や臨場感のあるシンポジウムの場の設定といった支援をおこなったことは、子供が歯・口の健康づくりの意義について主体的に追究し、自分なりの確かな健康観を築いていく上で有効であった。



5 全体考察

(1) 主な成果

- ① ていねいな歯みがきやよくかむことの習慣化とともに、歯ごたえのある食べ物や栄養バランスなどへの関心が高まり、子供が自分の生活の中でそれらを意識して実践できるようになってきた。
- ② 歯・口の健康を運動や食生活など多面的なつながりからとらえ、それが自分の生活の基盤であるという自覚と、これからも自分の健康を自分の手で築いていこうとする主体的な健康観が生まれてきた。
- ③ 実践を重ねる中で、学校歯科医などの関係者や保護者による歯・口の健康づくりへの理解が深まり、授業協力や家庭での実践への協力がなされ、健康づくりへの地域の基盤づくりが整備された。

(2) 今後の課題

- ① 歯・口をはじめとする子供の健康づくりをさらに継続・発展させる系統的・総合的な健康教育のカリキュラムの工夫と実践。
- ② 子供の継続的な健康づくりを支援する家庭とのさらなる連携のしかたの工夫と授業間活動など学校における日常指導の内容の工夫・改善。

(1) 健康教育年間計画

| 継 方 針 | 保 健 | | | 安 全 | | | 給 食 | | |
|-------------|--|-----------------------------|---------------------|------------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------------|--|
| | 目 標 | 管 理 | 環 境 | 目 標 | 管 理 | 指 導 | 目 標 | 管 理 (◎は縦割り) | |
| | 健康で安全な生活を営むために必要なことがらを体得させ、積極的に健康を保持増進できる態度や習慣を養う。 | | | | | | | | |
| 4 月 | 自分の体を知ろう | ○健康診断と事後指導 ○机・椅子の調整 | ○水質検査 | 交通ルールを守って学校の登下校に気をつけよう | ○交通指導 ○安全点検 | ○登下校時の安全 | 清潔で楽しい給食の仕方を工夫しよう | ○給食指導 (年間) ○誕生給食 | |
| 5 月 | 体を大切にしよう | ○健康診断と事後指導 | ○水質検査 | 遊具の安全な使用方法をしよう | ○安全点検 ○交通安全教室 (地方) | ○集団生活における安全 ○交通機関の安全 | 気持ちのよい食事の仕方を工夫しよう | ○誕生給食 ◎なかよし給食 | |
| 6 月 | 歯を大切にしよう | ○健康診断と事後指導 ○歯磨き指導 1年 | ○水質検査 ○プール水管理 | 雨の日の過ごし方を考えよう | ○安全点検 ○水難訓練 | ○梅雨時の安全 ○プール使用時の安全 | 清潔に心がけよう | ○誕生給食 | |
| 7 月 | 暑さに負けない体を作ろう | ○歯磨き指導 2年 ○事後処置の奨励 | ○プール水管理 ○プール水質検査 | 家や学校での安全に気をつけよう | ○安全点検 | ○夏休みの安全 (花火、水の事故、交通事故防止) | 夏を元気にすごせる食事を考えよう | ○誕生給食 | |
| 9 月 | けがをしないように気をつけよう | ○発育測定 ○歯磨き指導 3年 | ○プール水管理 | 運動会のときのけがに気を付けよう | ○交通指導 ○安全点検 | ○運動会の安全 ○体育時の安全 | よくかんで、自分に合った早さで食べよう | ○誕生給食 ◎紅白給食 | |
| 10 月 | 目を大切にしよう | ○視力測定 ○歯科検診 ○歯磨き指導 4年 | ○水質検査 | 誘いにのらない | ○安全点検 | ○誘拐防止 | 収穫に感謝して食べよう | ○誕生給食 | |
| 11 月 | 身の回りを清潔にしよう | ○歯磨き指導 5年 | ○水質検査 ○照度検査 | 火事のときの安全について知ろう | ○安全点検 ○避難訓練 | ○災害時の安全 | マナーを守って楽しく食べよう | ○誕生給食 | |
| 12 月 | 寒さに負けない体を作ろう | ○事後処置の奨励 ○歯磨き指導 6年 | ○水質検査 | 冬の登下校の安全に気を付けよう | ○安全点検 ○避難訓練 | ○雪道の安全 | 冬の食事を考えよう | ○誕生給食 | |
| 1 月 | 冬を元気に過ごそう | ○発育測定 ○風邪の流行状況調査 | ○水質検査 | ストーブに気を付けよう | ○交通指導 ○安全点検 ○地震避難訓練 | ○暖房時の安全 | 給食について考え、みんなで感謝して食べよう | ○誕生給食 ◎感謝給食 | |
| 2 月 | 正しい姿勢を身につけよう | ○風邪の流行状況調査 | ○水質検査 | 雪遊び・そり遊びを安全にしよう | ○安全点検 | ○冬の遊びの安全 | 何でも食べて丈夫な体を作ろう | ○誕生給食 | |
| 3 月 | 1年間を振り返ろう | ○机・椅子の必要量調査 | ○水質検査 | 1年間を安全に過ごせたか反省しよう | ○安全点検 | ○春休みの安全 ○交通事故防止 | 1年間の給食について反省しよう | ○誕生給食 ◎お別れ給食 | |

のびのびいきいき小谷場っ子

—— 特色ある健康教育の実践 ——

川口市立小谷場中学校

1 本校の概要

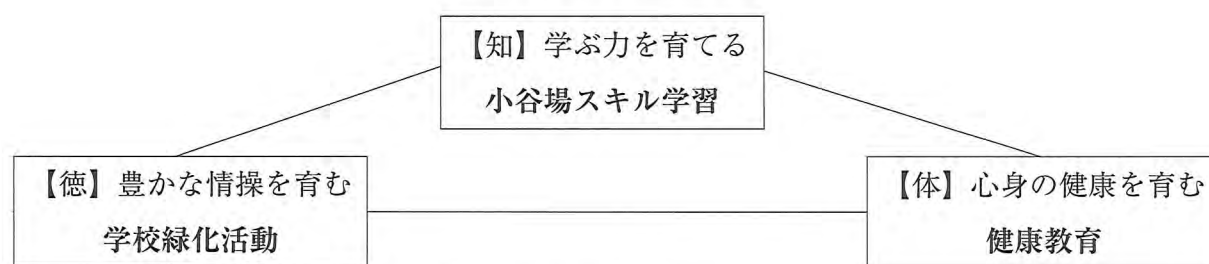
小谷場中学校は、京浜東北線南浦和駅徒歩15分の住宅地にありながら、驚く程緑豊かで閑静な環境の中にある。全学年7学級の小規模校であり、緑化、健康教育、情報教育、放送教育の推進を通じて特色ある学校づくりを進めている。

地域との連携が深く、「親子緑化活動」などには、半数以上の保護者が参加し、地域に根付いた学校と言える。



- 2 学校教育目標 … 「自主・共生・創造」
- 学校経営方針 … 「美しい学校で、夢の実現に力の限り努力する生徒の育成を家庭・地域との連携で進める」
- 目指す生徒像 … 「自己実現力（豊かな心、確かな学力、健康な心身）をつける生徒」
- 特色ある学校づくり … 「知徳体のバランスのとれた特色ある教育活動の推進」

3 特色ある教育活動について - 知徳体のバランスのとれた特色ある教育活動 -



- 1) 「知」…確かな学力の向上をめざす学習指導の充実
- ①学習環境の改善・充実（教科センター方式、放送教育全国大会会場）
 - ②小谷場スキル学習の推進（学び方を学び意欲を持って学習する生徒）
- 2) 「徳」…豊かな人間性を育む教育活動の推進
- ①学校緑化の推進（文部大臣賞、内閣総理大臣賞受賞の緑化の維持・発展）
 - ②ボランティア活動の推進（福祉ボランティア、親子緑化）
- 3) 「体」…特色ある健康教育の推進
- ①学校歯科保健活動の推進（校医との一層の連携）
 - ②組織的な健康教育の推進（全国で優秀校とされた健康教育の更なる前進）



4 健康教育について

1) これまでの歩み

歯科保健を軸とした開校以来の取り組みは、平成7年度あたりから、埼玉県よい歯のコンクールや学校保健で受賞しはじめ、昨年度は、市と県の表彰と同時に、日本学校保健会「21世紀・新しい時代の健康教育推進学校表彰」優秀校として、2月20日に全国表彰を受けることができた。この成果の背景には、まず学校保健委員会の充実がある。毎回学校医の皆様に出席いただき、生徒保健委員会の調査発表、PTA 保健部の活動など熱心な取り組みが行われている。また、職員保健部会の毎週の活動、校内研修での蓄積、学級指導の活性化など、全校あげての努力もある。中でも、地域の学校のために開校以来25年にわたり、歯科個別指導などで年に数十回も学校に足を運んで頂いている学校歯科医大島先生の熱心な指導は、特筆される。

2) 健康教育の方針

- 本校の健康課題解決のために（埼玉県学校健康教育指針に基づき、健康診断・実態調査・観察等の健康情報から）
- 今日的な健康課題を踏まえる（国・県・市の動向把握、教育委員会との連携）
- 教育計画との適切な関連を図る（学校保健年間計画の十分な検討、組織的実践）
- 家庭・地域との連携（学校医・学校歯科医・学校薬剤師・保健所・PTA 保健部等との連携）

3) 健康教育の推進体制

①職員保健部会（職員の推進組織として）

構成…各学年1名・養護教諭・保健主事

定例会…毎週1時間、時間割の中に設定

議題…保健管理・保健教育全般に関する協議、特活の学習

指導案検討、各種行事の詳細な計画・立案等

共通理解…全教職員へ報告・連絡、必要に応じて職員保健部会報告の文書配布

②学校保健委員会（学校・家庭・地域の連携の核として）

開催…年3回実施（学期1回）

構成 校 医 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学 校 校長・保健主事・養護教諭・保健部職員

P T A PTA 本部役員・PTA 保健部

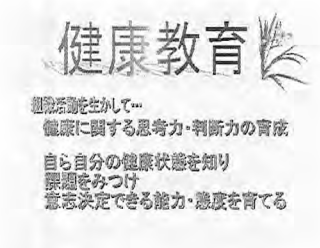
生 徒 生徒保健委員会（生徒給食委員会など…テーマによって）

その他 県・市指導主事、保健所保健師・給食センター栄養士など…テーマに応じて派遣依頼

③健康教育校内研修（職員の共通理解・意識啓発のために）

H13年度 第52回関東甲信越静学校保健研究大会で本校が発表したプレゼン資料をもとに本校の健康教育を振り返り、今後の在り方について研修した。

H14年度 「ライフスキル教育」について演習を中心に実践的な研修を行った。



実践の記録・資料

健康的な生活習慣を身に付けさせるために（歯科保健活動を中心に…）

■健康課題の設定

- 本校の実態から（定期健康診断結果や埼玉県学校健康教育指針を基に作成したアンケート調査結果）→食事・睡眠等に関する健康課題
- 現代的健康課題として→喫煙・飲酒・薬物乱用、性の逸脱行動、心の健康問題

■特色ある取り組み

- ①歯・口の健康づくりから全身の健康づくりへ
歯・口の健康づくり（歯科保健活動）を通じて、日常の基本的な生活習慣の育成や食生活の改善・ライフスタイルの確立を行う
- ②学校保健委員会を中心とした組織的な健康教育推進
学校・家庭・地域・関係機関の連携を生かして
- ③小規模校のメリットを生かした健康教育
個別指導の充実、個に応じた健康課題解決の援助→自己決定能力の育成

1 歯科保健活動

1) 定期・臨時の健康診断…

本校では、健康診断を健康教育の大切な機会ととらえており、待ち時間等も有効に使うため健康診断の内容に関連のあるビデオを視聴するなど工夫をしている。

歯科健診時には、健診前にクラス毎の指導も実施し、健診時にも必要に応じて口腔内の様子について説明が行われる。



待ち時間の様子（ビデオ視聴）



健診前、歯科校医からの保健指導



歯科健診の様子



臨時歯科健診の前には RD テストを実施

2) 健診後の指導

定期健康診断の結果をもとに全員を対象に個別指導を実施している。

養護教諭が聴力測定時に個別指導を行う。また、学校歯科医による個別指導（C・CO・GO・G・口腔内清掃不良のある生徒対象）が実施され、個に応じた健康問題解決への援助を行い、自己決定能力の育成を図っている。

臨時健診後には、本人の口腔内の状況を個票と歯のファイルによって確認しながら本人の課題に沿って歯科衛生士による歯磨き指導を実施している。（全員が実施）



歯科校医による個別指導



歯科衛生士による歯磨き個別指導



歯のファイル

***歯のファイル**

健診の結果をはじめ、歯垢染め出しの結果・RDテストの結果などを3年間記録しておく。自分自身の課題を把握するために役立つほか、学校医による個別指導、衛生士による歯磨き指導など様々な場面で活用している。

3) むし歯予防キャンペーン

①ポスター標語コンクール

毎年、ポスターは全校より募集し、標語は全員が作成している。表彰も実施され、コンクールを通じて啓発が行われている。
(コンクール終了後も優秀作品は、掲示など活用している。)



ポスターコンクール

②歯科講話

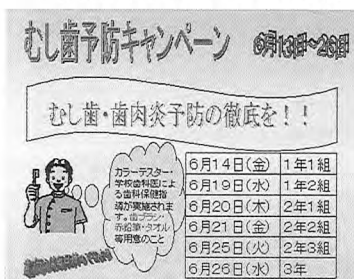
学校歯科医による講話が行われている。平成14年度の演題は「歯・口の健康は、予防が大事！」で、むし歯・歯肉炎予防を中心に全身の健康づくりからめてお話ししていただいた。



H14年度

③歯垢染め出し・歯科校医による指導

キャンペーン期間中、全クラスで歯垢染め出し（カラーテスター）を実施し、あわせて歯科校医によるクラス毎の保健指導を実施している。



キャンペーンポスター



歯科校医による指導



歯垢染め出し

④特活 学級活動「歯科保健指導」

年間指導計画に沿って、全クラスで担任による授業を行っている。(1年生は、平成13年度は、歯科校医と養護教諭のTTを実施・平成14年度は、担任と歯科校医のTTを実施)

〈1学年〉川口歯科医師会・川口市教育委員会が監修・発行した「かがやけ歯肉」の冊子を使って『歯肉の健康を守ろう』をテーマに授業を行った。

授業の様子



担任から…

学校歯科医の指導

〈2学年〉『歯・歯肉の健康と食生活』をテーマとした授業を行い、食品に含まれる砂糖の量を知り、自分の食生活を振り返りながら食生活について学んだ。

授業の様子



担任より砂糖の量を示しながら…

保健委員より食事の調査報告

〈3学年〉『歯周疾患から学ぼう…創ろう私のライフスタイル…』の授業を行い、一人ひとりが自分のライフスタイルについて反省し、健康的なライフスタイルについて考え学んだ。

授業の様子



4) 学校保健委員会での取り組み

3学期に行われる第3回学校保健委員会は、歯科保健に関わることをテーマの中心としている。平成13年度は『歯並びと全身の健康』をテーマに開催された。歯並びが健康に及ぼす影響について、また生活習慣が歯並びに与える影響などについて歯科校医から指導を受け、全身の健康づくりについて話し合いを持った。平成14年度は、「脳に良い生活をしよう」をテーマに咀嚼(かむこと)を中心に小谷場中の健康課題解決に向けた話し合いが行われた。



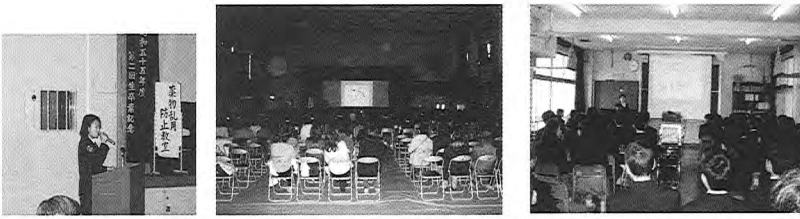
プレートを実際に噛んで、自分の歯並びを確認

2 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育

1) 薬物乱用防止教室

平成13年度は、PTA 保健部と共催で実施し、2学期末に全校生徒・保護者・教職員を対象に埼玉県警察本部薬物乱用防止広報班から指導者を招いて実施した。

(平成14年度は、対象を1年生と保護者に絞って実施。)



薬物乱用の恐ろしさが充分伝わる内容だったと思います。自分だけでなく生まれてくる子供の世にまで影響することなど驚くことがたくさんありました。家で子供達と薬物乱用の恐ろしさなどについて話し合いたいと思いました。ビデオやコンピュータの画面がわかりやすくよかったです。

保護者の感想より

2) 特活 学級活動『喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育』

平成13年度は、『薬物乱用防止教室』の内容をふまえて、各クラスで授業を実施した。

- 1年…パンフレット・薬物乱用防止学習ノートを使っでの授業
- 2年…たばこの害を中心に新聞などを活用した授業
- 3年…もし誘われたら…断り方を中心にした授業

平成14年度

- 1年…薬物乱用防止教室 埼玉県警察本部生活安全課
ビデオ「NO!からの警告」・パンフレットを使って事前事後指導
- 2年…たばこの害・もし誘われたら…(ロールプレイ) 冊子・薬物乱用防止学習ノートを活用
- 3年…ビデオ「HEIP ME」視聴・もし誘われたら…(ロールプレイ) 薬物乱用防止学習ノートを活用



パンフレット・薬物乱用防止学習ノートを使って…



新聞やビデオを活用して…



断り方を中心に…

3 性教育

1) アンケートの実施

性教育を実践するに当たって生徒の実態、知識や興味関心等を把握するため、また家庭・地域と一体となって性教育を進めていくために、生徒・保護者にアンケートを実施した。

2) 学校保健委員会での取り組み

平成13年度は、第2回学校保健委員会のテーマを『性教育…性感染症…』とし、アンケートの結果も踏まえて、今後の性教育についてや家庭・地域・学校が連携を図るために必要なことについて、川口保健所の保健師を交えて話し合いを持った。



生徒アンケート結果の発表
(生徒保健委員会)



保護者のアンケート結果発表
(PTA 保健部)



性感染症の地域の状況と予防
川口保健所保健師

3) 特活 学級活動 『性教育』

平成13・14年度は、3学期に1・2年は学級担任が、3年は養護教諭が実施した。

〈1学年〉『思春期の身体と心』の授業

…ビデオ「こんにちは13歳」とアンケート結果を使いながら…

〈2学年〉『異性とのかかわり』の授業

…アンケート結果と資料を使って…

〈3学年〉『STDの予防・自分を大切にできる生き方と行動』の授業

…アンケート結果・パンフレット・養護教諭が作成した資料を使って…



4 学校保健委員会

1) 年3回(学期に1回)学校保健委員会を開催している。

本校の健康課題を分析し健康課題解決に向けての話し合いや、今日的健康課題への取り組みなど、学校・家庭・地域の連携を図りながら健康づくりを推進している。

2) 平成13年度は、県の指針を受け、本校の健康課題をさぐるため日常生活アンケート調査を実施した。アンケート結果を指針と照らし合わせて各組織ごと(生徒保健委員会・職員保健部会・PTA保健部等)において課題を検討し、学校保健委員会で話し合いをもった。

平成13年度テーマ

| | | |
|-----|--------------------------------|-----------|
| 第1回 | 小谷場中の健康な子どもたち…埼玉県学校健康教育指針をうけて… | H13. 7.12 |
| 第2回 | 現代的健康課題への取り組み『性教育…性感染症…』 | H13.12.18 |
| 第3回 | 歯科保健の取り組み…歯並びと全身の健康… | H14. 2.22 |

○平成13年度第1回学校保健委員会

テーマ『小谷場中の健康な子どもたち…埼玉県学校健康教育指針を受けて…』



保健委員からアンケート結果報告と保健委員会の取り組み



学校医・学校歯科医からみた課題と取り組みについて



県教育局健康教育課主任指導主事から

3) 平成14年度は、埼玉県健康教育指針をもとに作成したアンケートの結果及び健康診断結果等から出てきた本校の健康課題を解決するための話し合いを中心に学校保健委員会を行った。

平成14年度テーマ

| | | |
|-----|---------------------------------|-----------|
| 第1回 | 小谷場中の健康な子どもたち…健康課題解決にむけて…「食事睡眠」 | H14. 7.11 |
| 第2回 | 小谷場中の健康な子どもたち…健康課題解決にむけて…「姿勢」 | H14.12. 5 |
| 第3回 | 小谷場中の健康な子どもたち…心の健康を保とう…「脳に良い生活」 | H15. 3. 7 |

○平成14年度第1回学校保健委員会

テーマ『小谷場中の健康な子どもたち…健康課題解決に向けて…「食事・睡眠について」』



PTA保健部より「朝食について」



PTA保健部のみなさんに各家の朝食の様子を写真にとってもらい発表しました。

朝食には、各家で工夫が凝らされている。前夜の残り物を上手に利用したり、夕食の支度の時に次の日の朝食の下ごしらえをすませたりしている



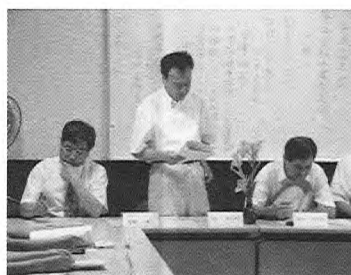

保健委員より睡眠についてと安眠枕の作り方



給食委員から食事について



栄養士より中学生の食事について



学校医・学校歯科医より

○平成14年度第2回学校保健委員会

テーマ 小谷場中の健康な子どもたち 健康課題解決にむけて「姿勢について考えよう」




アンケート結果報告
【生徒保健委員 PTA 保健部】

4-姿勢を良くするための改善策

正しい姿勢を意識します。
(背中の筋肉を意識して伸ばします)

- 肩甲骨をのりめ。
- 肩の力を抜く。
- アゴを引っかく。
- 柔軟体操をする。
- 肩甲骨トレーニングをする。
- 日常生活習慣をしっかりと規則正しく過ごす。



インタビュー報告
〈VTR. コンピュータを使って〉



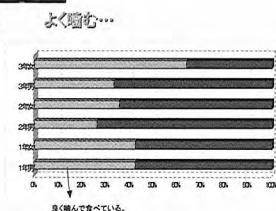
指導・助言
【学校医】【学校歯科医】

○平成14年度第3回学校保健委員会


テーマ 小谷場中の健康な子どもたち 心の健康を保とう「脳に良い生活をしよう」



アンケート結果報告及び
脳に良い生活について
(養護教諭)



PTA保健部



各家庭でカミメニューを作ってもらい噛んだ回数や様子・感想等を発表してもらいました。



当日も、栄養士西村先生に指導して頂き、あざり入りきんぴらごはんをつくりました。

カミメニューあざり入りきんぴらをお腹に食べてみました。



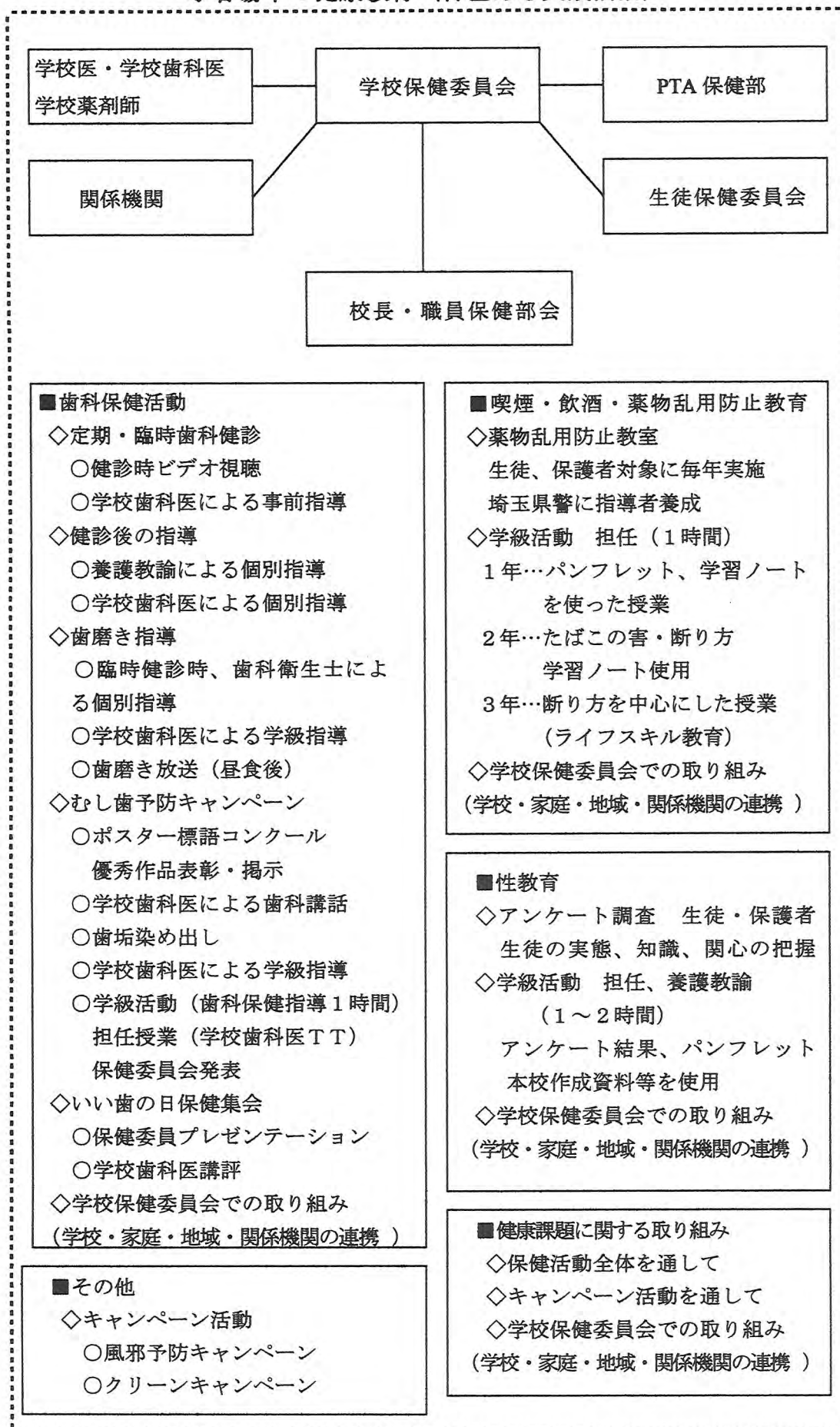
学校歯科医大島先生
歯の活性化や口腔内の健康の他にもよく噛むことの効果はたくさんあると話して良く噛んで食べて欲しい。



栄養士西村先生
お袋の味を伝えていって欲しい。日本食(根菜の煮物などは、良く噛んで食べても、便通にもよい)

来年度に向けて
給食委員会も協力し、給食の支度を早くして食べる時間をできるだけ確保し良く噛んで食べるような取り組みをしていく。脳に良い生活をするように呼びかけたい。
○テレビ・ゲーム・メールの時間を少なくする。
○規則正しい生活をするなど…

小谷場中の健康教育〈特色ある実践活動〉



平成14年度 学校保健年間計画

保健目標 「生涯に渡り健康で安全な生活を送る能力態度を育成する」 川口市立小谷場中学校

| 月 | 月間目標 | 保健行事 | 保健管理 | | 保健指導 | | 組織活動 | | | |
|----|---------------------------|--|--|--|---|-----------|----------------|------------------|---------|--------------|
| | | | 主体管理 | 環境管理 | 短学活・健康診断時 他の保健指導 | 特活 1時間 | 健康委員 生徒保健 | 保健職員 | PTA | 健康委員 学校保健 |
| 4 | 自分の体を知ろう | 定期健康診断 * 発育測定・視力検査 * 内科検診 * 心臓検診(選別) * 歯科検診 | 定期健康診断計画及び実施 保健調査の実施 健康観察の要領作成及び実施 | 救急体制の整備 清掃計画区域分担 机椅子の適正配置 校地校舎内の環境整備 トイレの管理 | 保健室の利用のしかた 健康診断の意義と活用 定期健康診断の事前・事後指導 トイレの使い方 | | 健康診断 | 健康診断 | 部会 | |
| 5 | 生活のリズムをつくらう | 定期健康診断 * 結核検診ツ反 * 内科検診 * 尿検査 * 心臓検診 * スポーツテスト 水上自然教室 | 定期健康診断実施及び事後措置 水上前保健調査・健康管理 | 教室の環境整備 空気検査 照度及び照明環境の検査 | 基本的な生活習慣について 定期健康診断の事前・事後指導 健康診断結果個別指導 | | 生活リズム | 関係外等学習 | 部会 | |
| 6 | むし歯予防を徹底しよう | 歯の衛生週間・歯科講話 むし歯予防キャンペーン 定期健康診断 * 耳鼻科検診 * X線直接撮影 * 脊柱検診 * 眼科検診 * 心臓検診 修学旅行 | 定期健康診断実施及び事後措置 修学旅行前保健調査・健康管理 歯の衛生管理 | 害虫駆除対策 ゴミの処理 給食定期検査 保健室温度・湿度の管理 緑化活動 | むし歯予防キャンペーンについて 梅雨時の健康 修学旅行前事前指導 歯科個別指導 健康診断結果個別指導 | 全身の健康から | むし歯予防キャンペーン | 歯科保健 | 歯の衛生週間 | |
| 7 | 食生活について考えよう | 避難訓練 学校保健委員会 | 疾病等のある生徒の治療促進 健康相談 夏休み健康管理 | 水泳プールの水質管理等検査・衛生安全管理 危険個所の管理 学年末大掃除安全点検 受水槽高架水槽清掃 | 水の事故防止安全指導 夏休み中の保健安全指導 部活動の安全指導 健康診断結果個別指導 | | 食生活について | 学校保健委員会 | 学校保健委員会 | 第一回委員会 |
| 8 | | | | 親子緑化活動 | | | | | | |
| 9 | けがの防止に努めよう | 発育測定 運動会 水上林間学園 | 発育測定の実施及び事後措置 夏休みの健康調査 けがが状況まとめ | 清掃用具点検補充 給食配膳室衛生検査 教室の環境整備 | けがの防止と応急手当 運動と健康 夏休み健康調査結果個別指導 | | けが予防 | けが防止の | 給食試食会 | |
| 10 | 目を大切にしよう | 目の愛護週間 臨時歯科検診 歯科衛生士による歯磨き個別指導 | 歯科検診の実施と事後措置 | 黒板照明の整備 | 目の健康について 読書学習時の姿勢指導 低視力者個別指導 歯科個別指導 | | 目の健康 | 乱用防止指導 飲酒喫煙薬物 | 部会 | |
| 11 | 風邪の予防をしよう | いい歯の日集会 風邪予防キャンペーン 長距離走大会 | 風邪(インフルエンザ)予防対策 長距離走大会前健康管理 歯の衛生管理 | 教室の採光及び照明検査 給食配膳室衛生検査 | 風邪(インフルエンザ)予防指導 いい歯の日になんだ 歯科保健指導 歯科個別指導 | | ヤンペーン | 風邪予防キ ヤンペーン | 部会 | |
| 12 | 薬物乱用防止について考えよう | 避難訓練 世界エイズデー 学校保健委員会 | 風邪(インフルエンザ)予防対策 | 暖房器具の整備 暖房開始(換気保湿) 温湿度計の設置 | 風邪(インフルエンザ)予防指導 世界エイズデー保健指導 ストーブ使用時の保健安全指導 冬休み中の保健安全指導 薬物乱用防止 | 乱用防止教育 | 薬物乱用防止 | 学校保健委員 学校保健委員 | 学校保健委員 | 第二回委員会 |
| 1 | 身の回りを清潔にしよう | 発育測定 クリーンキャンペーン | 風邪(インフルエンザ)予防対策 発育測定の実施及び事後措置 | 教室等の空気検査 室内の換気と保湿 トイレの衛生管理 | 健康的な環境整備について トイレと環境について 発育測定時個別指導 | | ヤンペーン クリーンキ | 性教育 環境衛生 | 性教育 | |
| 2 | 睡眠休養について考えよう | 学校保健委員会 | 受験前の健康管理 風邪(インフルエンザ)予防対策 健康相談 | 室内の換気と保湿 空気定期検査 | 疲労について 受験前の生活健康管理指導 | | 休養について | 学校保健委員 学校保健委員 | 学校保健委員 | 第三回委員会 |
| 3 | 心と体を大切にしよう | 耳の日 | 1年間の反省まとめ 次年度保健安全計画等立案 | 暖房用具の整備保管 机・椅子の整備 カーテンの整備 年度末大掃除 | 耳の健康について 健康生活の反省 春休み中の保健安全指導 性に関する指導 心の健康について | 性教育 | 心の健康 | 反省評価 年度計画 | 部会反省 | |
| 毎日 | ☆健康観察 ☆水質検査 ☆トイレ点検 ☆歯磨き放送 | | 毎週 ☆職員保健部会 ☆生徒保健委員会 | | 毎月 ☆緑化活動 ☆安全点検 ☆保健便り発行 ☆健康センター手続き | | | | | |

地域学校保健委員会の取り組み

千葉県大多喜町立西中学校

1 学校紹介

本学区は、房総丘陵地帯の中央部、清澄山系の北東部に位置し、豊かな自然環境に恵まれた農山村地帯にある。しかし、社会構造及び産業構造の変化により、農業や林業従事者は激減し、会社員や公務員が全体の95%と多く占めている。また、人口の流出や少子化などの影響を受けて過疎化が進行し、生徒数も減少の一途をたどっていたが、近年になり、やや安定している。しかし、数年後には再度減少化が始まり全校生徒数100名前後になることが予想されている。現在、生徒数148名(学級数7クラス)の小規模校である。

地域や家庭の学校への協力意識は強く、生徒のいない家庭も賛助会員として組織されており、学校の様々な活動に地域や保護者からの協力がある。また、学区内の一部は、観光地として栄えている養老溪谷にあり、学区全体が自然環境に恵まれ、自然と触れ合う機会と場が多く、心豊かな人間性を培うにふさわしい土壌をもっている。

2 健康教育について

近年の都市化、国際化、高齢化、情報化等による急激な社会構造や生活環境の変化は児童生徒の日常生活に様々な影響を及ぼしている。また、国民の生活水準も向上し、人々の健康管理に対する意識が高まり、まさに「人生80年」という長寿社会を迎え生涯を通じて健康で、明るい豊かな生活を営むことは、すべての人々の願いであり、今日の重要な課題となっている。本校では、学校教育目標に、心豊かでたくましい生徒の育成を掲げ、自他の生命を尊重し、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う観点から、健康・安全に関する基礎的・基本的な知識を理解させ、生徒が発達段階に応じて自主的に健康な生活を実践することのできる能力と態度の育成を目指している。本校の健康教育は、生徒や教職員の心身の健康の保持増進を図り、学校教育の目的を実現するため、保健教育と保健管理を計画的、継続的に、しかも組織的に行う活動として位置付け、学校経営の重点の一つに、健康に係る事項を設定している。保健教育や保健管理を円滑に効果的に進めるためには、生徒、教職員、保護者、地域の人々の協力と相互の連携が必要であり、保健組織活動の充実が不可欠な条件となっている。

3 学校保健（安全）計画（別紙参照）

生徒の健康増進に必要な自律的能力、すなわち、保健学習と保健指導を通して知識や技能の習得、身近な健康問題の判断と処理などの健康な生活に対する実践的な態度や能力を育てることにある。本校では、健康に関心を持ち、自分の健康づくりにとりくむ生徒を育てる保健教育のありかた

を目指し、組織的・計画的に学校教育全体を通して取り組んでいる。本校では平成9年度から3年間文部省より健康教育総合推進モデル事業の委託を受け、『心の健康』をテーマとして研究実践の中心校として生徒の悩みやストレスの原因を探り、その解決方法等について、学校はもとより教育関係機関・家庭・地域社会が一体となった研究を推進している。また、生涯学習の観点に立ち、これからの社会の変化とそれに伴う生徒の生活や意識の変容に配慮しながら、社会の変化に自ら対応できる自己教育力の育成を図り、『健康に対する自己教育力』の向上を目指すために、言われ・教えられて気付くのではなく生徒自らが関心を持ち、自分達の健康は自分達で守るという姿勢に立たせる指導を図るため学校保健（安全）計画を策定した。生徒一人一人に目を向け、生徒が自らの健康に関心を持ち、生涯を通じて健康な生活を送るための資質や能力を養うことの重要性を認識し、教師が一丸となって組織的・計画的に取り組んでいる。」

4 健康教育の推進体制

(1) 健康教育推進委員会

学校教育全体を通して健康教育の推進を図るために組織されている。平成9年度から継続的に取り組んでいる心の健康の研究推進をはじめ、毎年度実施する薬物乱用防止教室の企画・立案や保健体育科保健分野での保健学習を中心に研修を進めている。養護教諭・学校栄養職員等が参画した授業展開や感染症（HIV 感染症）の予防について指導できる講師を招いての授業展開を予定している。保健指導についても性に関する指導の専門家（地域の産婦人科医）を招いての指導を実施している。構成員は、校長・教頭・教務主任・保健主事・体育主任・安全主任・給食主任・養護教諭・学校医・学校歯科医・学校薬剤師で組織している。

(2) 学校・家庭・地域社会との連携

- ・昨年度から地域学校保健委員会を設置した。
- ・生徒会保健委員会による保健だよりの発行（月1回）
- ・PTA 組織に保健厚生委員会を組織している。
- ・家庭教育学級『親子の心のふれあい』をテーマに専門講師による講演会

5 心の健康づくりについて

本校は平成9年度から3年間文部省より健康教育総合推進モデル事業の委託をうけ、「心の健康づくり」をテーマとして研究実践の中心校として生徒の悩みやストレスの原因を探り、その解決方法等について、継続的に研究を推進し、特に、健康教育については、学校教育全体を通して組織的・系統的に推進を図っている。本年度は、保健体育科保健分野での保健学習を中心に研修を進めている。

「保健体育科の保健分野（保健学習）での取り組み」

第1学年「心身の発達と心の健康」 12時間扱い（心の健康7時間）

- 第1時 ・ 知的機能や情意機能（感情や意志）は、さまざまな経験や学習によって発達すること
 - ・ 意志の発達（自分の行動を決め、目標を目指して努力を続ける心の働き）
- 第2時 ・ 思春期の心の発達（脳の発達）
 - ・ ころを豊かに発達させるために、これからどうしたらよいか考える
- 第3時 ・ 心理的自立の欲求 ・ 思春期の友人関係（悩みや不安について話し合える自分とは違う価値観・自分が認められ必要とされること）
- 第4時 ・ 自分を見つめる（自分を自分自身で冷静に見つめる・自分の性格）
 - ・ 自分らしさを築く（ありのままの自分を受け入れる。様々な生き方や考え方にふれる）
- 第5時 ・ 欲求とは（何かが欲しい・何かをやりたいなどの気持ち）
 - ・ 欲求の種類（生理的欲求・社会的欲求）
- 第6時 ・ 欲求不満への対処（自分が経験した欲求不満を分析・欲求を人間にとって自然なものにとらえる一方、耐える力を育てる）
- 第7時 ・ ストレス
 - ・ ストレスに対処する方法
 - ・ 心身の調和と心の健康（心と体のつながり）

6 地域学校保健委員会の取り組み

本校では学校教育目標に、「心豊かでたくましい生徒の育成」を掲げ、自他の生命を尊重し、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う観点から、健康・安全に関する基礎的・基本的な知識を理解させ、生徒が発達段階に応じて自主的に健康な生活を実践することのできる能力と態度の育成をめざし、学校・家庭・地域・関係機関の協力援助のもと、学校教育の具現化を図っている。14年度は学区内の小学校（2校）と連携して、地域学校保健委員会を開催した。

(1) 地域学校保健委員会の組織

・ねらい

生涯を通じての心身の健康づくりにおける基礎・基本となる資質や能力の育成と積極的な健康づくりを外部の専門家の協力を得ながら、学校と家庭・地域社会を結ぶ組織として推進する。

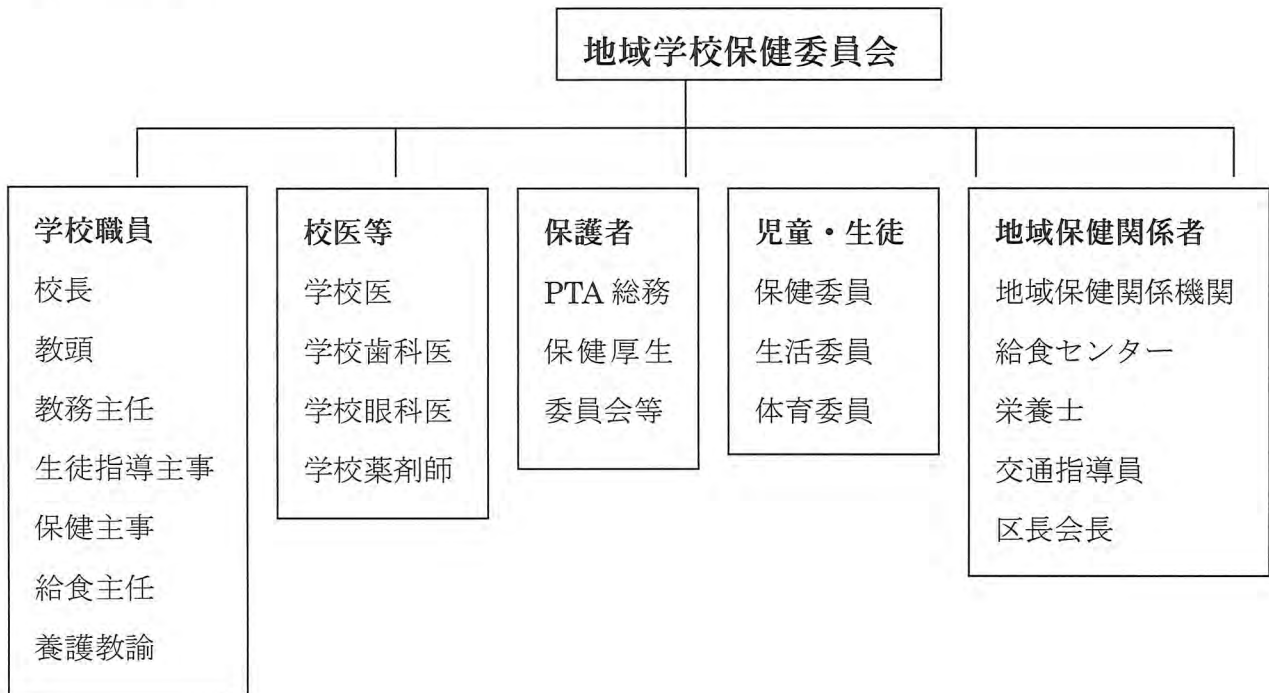
・役員及び組織

① 役員

委員長 1名 副委員長 1名 事務局 2名

委員長は学校長（代表）があたる。副委員長はPTA 会長（代表）、事務局は委員長の所属する学校の保健主事があたる。

② 組織



(2) 地域学校保健委員会設置までのアプローチ

地域学校保健委員会を組織するにあたり、今まで各学校ごとで行われていた学校保健委員会での問題点を見直し、話し合いを進める中で大きく分けて3つの問題点があげられた。

① 出席者について

各学校で年2～3回開催していたことを考えると次の人たちは学校保健委員会に年6～9回出席しなければならない。

（学校医、学校歯科医、学校薬剤師、大多喜町保健福祉課職員、町保健師、町栄養士、給食センター栄養士、PTA 役員、地区駐在所）

② 開催時期について

各学校が7月と2月頃に開催することが多いため、時期が重なり学校医、学校歯科医や関係機関の連絡調整が困難である。特に医療関係者の日程調整がつかないことが多いので休診日である木曜日以外の実施が困難である。

③ 協議内容について（食生活について）

協議内容が生活リズムや食生活、薬物乱用防止、性に関する指導等各学校独自で協議してきたが、学校と地域関係機関、保護者が連携して課題に取り組み、相互に意見を交換できる組織を構築する必要がある。

この3点を考慮し、以下のように地区合同の地域学校保健委員会を組織することになった。

(3) 14年度の実践

① 開催回数 年2回

定例会は2回、(昨年度第1回地域学校保健委員会を7月11日と2月27日に開催、また臨時に必要な場合は、会議内容により、関係職員の出席をもとめる。

② 協議題等

「こどもの食生活について」

ア 西畑小保健委員会の発表(朝食について)

イ こどもの食生活についてのアンケート結果について

西中学校区内における食生活の実態を知り、生活習慣病予防のための食生活に関する指導の資料とする。調査対象は西中1年1 西畑小、老川小4年、6年 の128名

ウ アンケート調査結果や塩分摂取状況、健康診断の結果、大多喜町の国保病類別統計、病類別受診件数、基本健康診査における高血圧の割合、夷隅郡市内高血圧の割合等について協議

(大多喜町に高血圧の人が多い原因、塩分摂取状況)

③ 出席者

学校医2名(内科、眼科)、学校歯科医、学校薬剤師、PTA3名

大多喜町保健福祉課係長、保健師、町栄養士、給食センター栄養士、

校長、保健主事、給食主任、養護教諭、小学校児童会 中学校生徒会 計49名

(4) 成果

第1回において食生活アンケート結果から、朝食を食べない生徒がいること、朝のめざめが悪いと答えた生徒が80%いる実態、町の住民検診から高血圧のひとが多いという実態がわかり、朝食内容についても調査していこうという次への広がりをも持つことができた。



また、町として塩分調査を保護者にもして見るための予算化をすることにつながった。協議が活発にされたことで、メンバーそれぞれの健康に対する意欲が高まり、栄養士さんは家庭科の授業に参加したり、親子の調理実習会を開催したり、保健師さんによる地域の老人や幼児に対する食生活の指導の機会が多くするなど積極的な活動がみられた。

学校保健委員会だより発行(7/17)

「第1回地域学校保健委員会」の内容の報告として各家庭に児童生徒を通して配布した。



地域学校保健委員会の活動

| 月日 | 議題 | 主な出席者 | 当日の様子 |
|-----------------|---|---|---|
| H14.7.11 (木) | <ul style="list-style-type: none"> ① 西畑小学校保健委員会の発表 ② 子どもの食生活アンケート結果について ③ 塩分摂取状況について | 学校医、学校歯科医 学校薬剤師、PTA 保健福祉課係長 保健師、栄養士、校長 保健主事、給食主任 養護教諭、児童生徒 |  |
| H15.2.27 (木) | <ul style="list-style-type: none"> ① 朝食調査結果 ② 老川小学校保健委員会発表 ③ 住民検診結果について | 学校医、学校歯科医 学校薬剤師、PTA 保健福祉課係長 保健師、栄養士、校長 保健主事、給食主任 養護教諭、児童生徒 |  |
| H15.7.10 (木) | <ul style="list-style-type: none"> ① 学区保護者の歯科保健状況 ② 「どのくらい噛んで食べているか」調査報告 ③ 西中学校保健委員会発表 | 学校医、学校歯科医 学校薬剤師、PTA 保健福祉課係長 保健師、栄養士、校長 保健主事、給食主任 養護教諭、児童生徒 |  |

(5) 地域学校保健委員会活性化のための方策

① 学校医、学校歯科医との連携

上記に記述したとおり、校長、教頭、保健主事との連携のもとに学校医と綿密に連絡調整をとりながら積極的な連携をこころがけている。特に内科医には生徒の保健委員会の活動の援助や指導をしていただいたり、学校歯科医には歯と口の健康づくりについて指導をいただいたりしている。

② 関係諸機関との連携

食事の問題であるために、保護者の理解と協力が必要であるので、PTA 会長、専門部の保者代表にも委員会の出席を依頼している。

町保健福祉課の保健士、栄養士には準備委員会に出席していただき、生徒に対して、朝食の大切さ、受験期の食事などに関する講話をしたり、塩分調査などの資料を用意したりすることで共に健康問題解決に向けて取り組んでいる。

(6) 養護教諭としてこころがけている点

ア 小中一貫した指導と連携の充実

- ・小学校で味噌汁の塩分調査をし、学校医の指導を得ながら、1日の塩分摂取量と食事の内容について学習、中学校では小学校の指導を生かすことをめざしながら、1年生で塩分摂取量を検査、生活習慣についての見直しをはかり、保健委員会を中心にバランスのよい食事について啓発活動をしている。
- ・各学校が連絡を密にし相互に情報交換している（生徒の実態等）。また、活動のまとめと反省をし、次年度の課題へとつなげている。
- ・養護教諭それぞれ各種の研修会に積極的に参加し、資質の向上に努めている。

イ 学校保健委員会の日程は年間計画に組み入れておく。

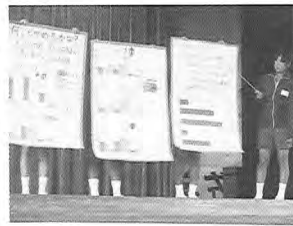
開催日の決定については学校医等各校との連絡調整、日程調整を早期に実施している。生徒保健委員会の活動において感染症予防のために学校医、学校薬剤師に指導・助言をいただくようにしている。

15年度の取り組み

議題 噛むことと食生活について

食生活のアンケート結果より、噛まずに飲み込む、あまり噛んでいない人が多いということを知り、15年度では食事と噛むことに関わりについて追求することになった。また、町関係機関との連携の一環として栄養士に家庭科の授業に積極的に参画してもらった。

かむことと食生活について全校朝会で発表
shall we いい歯のダンス全校で踊る
保健委員自ら、おじいちゃんおばあちゃん
達に噛めるもの、噛めないで困っているこ
と等をインタビューし結果を発表した。自
分の歯で噛むことの大切さをアピールし
た。



家庭科の授業で栄養士さんを招いての指導

日常生活をよりよくしよう ～食生活に関する指導～

本時の目標
・朝食について関心を持ち、砂糖や塩、脂肪(油脂)のとりすぎに注意し、食生活を改善しようとする。
・栄養のバランスを考えた食生活と生活のリズムを守り、生活習慣病を予防しようとする。

| 過程目標 | 活動内容 | 時間 | 生徒への役割 | 資料 |
|--|---|----|---|----------------------------------|
| | ・グループごとに集まっている。(それぞれ別のグループがはなさない) | 2 | 各グループ(赤・砂糖・茶・油脂・食塩)に、それぞれの札を渡す。本時はグループ学習です | グループの札 |
| ・アンケート集計結果から、クラスの実態に気づくことができる。 | ・自分の回答と、集計結果を照らしあわせる。 | 3 | ・アンケート集計結果を知らせる。 | アンケート集計表 |
| ・朝食について関心を持つことができる。 | ・朝食について考えよう 家庭にお菓子や飲み物を食べて、よく食べるお菓子・飲み物に含まれる。砂糖・塩・油脂の量を予想する。(グループ) *予想できたら、プリントに記入する。(各自) | 30 | ・用意したお菓子・飲み物を食べてから、それぞれの食品に含まれる砂糖、塩、塩を予想するように促す。(参考までに、含まれる量を提示する。) *飲み物については、冷えたものとそうでないものを用意する。 | お菓子 飲料用 えびせん 飲み物 |
| ・実際に含まれる量を知り、多量に摂取することの、体への影響に気づくことができる。 ・生活習慣病とはどういふものか理解する。 | ・各グループで担当の実際の量を計量し、他のグループに提示する。 砂糖・油脂・塩・油脂 塩・砂糖・塩 ・各コーナー行き、実際の量を知る。一プリントに記入 *砂糖・塩の量を実際に量りてみる。 | 30 | ・グループにはそれぞれ担当の数量が付き(砂糖・食塩・油脂・栄養士さん用・食料)。実際に含まれる量を計量する。担当グループの量を多量に摂取することによる病気や体への影響を知らせる。 ・お菓子や飲み物を、盛りすぎることや、不規則な食生活を怠ることがあるため、それに伴って起こる病気(生活習慣病=高血圧・脂質異常・肥満・糖尿病)など。 | 砂糖 塩 油脂 色紙 用 プリント |
| ・栄養士さんのお話をしっかり聞き、きちんとした食生活を営むことの重要性が分かる。 | ・正しい朝食の作り方、バランスのよい食事とはどのようなものか栄養士さんのお話を聞く。 | 3 | ・栄養士さんのお話 | |
| ・食生活を振り返り、改善点を考え、まとめることができる。 ・よりよい食生活を営んでいこうという意欲が持てる。 | ・自分の食生活の課題点を挙げる。 ・自分の食生活をよりよくなるにはどうしたらよいか、改善案を考え、まとめる。 | 10 | ・自分の食生活をよりよくなるにはどうしたらよいか、改善案を考え、まとめる。 ・本朝で学習したことを早速実践し、健康的で、よりよい食生活を営んでいこう。 | プリント |
| ・本朝を振り返り、自己評価できる。 | ・本朝の自己評価をする。 | 2 | ・自己評価をさせる。 | 自己評価カード |

評価
・授業に意欲的に取り組んでいるか(観察)
・朝食には、砂糖や塩、油脂などが多く食品が多く、食生活を規制正し(することの妨げ)になっていることを理解しているか(自己評価)
・自分の食生活について、自分なりによりよくなるよう改善案を出しているか(プリントの記入状況)
・食生活を健全に営むためには、栄養バランスのほかに規則正しい食生活が大切なことを理解しているか(自己評価・プリントの記入状況)



家庭科の授業
3年生
間食について
考える



栄養士さんのお話
(町福祉課)

7 今後の課題

健康教育の生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う観点から、健康・安全に関する基礎的・基本的な知識を理解させ、生徒が発達段階に応じて自主的に健康な生活を実践することのできる能力と態度の育成を図ることができ、地域の理解や協力をより一層得られるようになったが、課題も多くかかえている。

- ・ これまでは、学校単位での開催であったため、発達段階に応じた身近なテーマを扱ってきたが、小中学校合同の形のなかでは、年齢幅が広く、抱える課題が広範囲になるので協議題の選定についても地域の方々や学校医・学校歯科医等の専門的立場からの意見をもらい、決定していく必要がある。
- ・ 保健便りやPTA広報(地域全体に配布)、学年懇談会やミニ集会をとおして健康生活の意識の高揚に努めているが、家庭での積極的な生活改善にもつながるような啓発活動をどのようにすすめていくか課題である。

- ・地域学校保健委員会という名称を「健康」をイメージしやすい名称に変えていきたいと考える。
幼児期からの指導も重要となってくるため保育園との連携も考えていく必要がある。

今後の活動として、5ヶ年計画に基づいた実践及び追跡調査をしながら、地域とさらに連携を図りながら地域ぐるみで健康教育を推進していきたいと考えている。

平成14年度 学校保健十画

大多喜町立西中学校

| 月 | 行事関係 | 4 | 5 | 6 | 7・8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | |
|---------|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 努力目標 | | 生徒一人一人が生涯を通して健康な生活を送るための資質や能力を育てる | | | | | | | | | | | |
| 行事関係 | | 定期健康診断 身体測定 歯科検診 ツツ判、BCG | 尿検査 修学旅行 貧血検査 内科検診 生活習慣病検査 | 予防接種(風疹) (日本脳炎) 歯の衛生週間 家庭教育学級 | 水泳指導 バイキング給食 | 身長、体重検査 | 目の愛護デー 視力検査 心電図検査 バイキング給食 | 身にまわりの環境に注意して健康生活をしよう | 大掃除 | 身長、体重測定 教室環境検査 (健康・二酸化炭素) | 姿勢に注意して健康的な生活をしよう | 1年の反省をし、自己の健康管理の課題をもとめよう | |
| 月の目標 | | 自分の健康状態を正しく理解しよう | 生活のリズムを整えて規則正しい生活をしよう | むし歯や歯周疾患の予防に努めよう | 夏休みを健康に過ごそう | 積極的に体力づくりに取り組みよう | 目の健康に注意しよう | 環境に注意して健康生活をしよう | 進んで戸外での運動をしよう | インフルエンザの予防をしよう パラソルのよい食生活をしよう | 姿勢に注意して健康的な生活をしよう | 1年の反省をし、自己の健康管理の課題をもとめよう | |
| 保健管理 | | 校舎内外の整理整頓 大掃除 保健室の整備 全点検(毎月) 水質検査(毎日) | 初、イスの適性検査 屋外環境美化生活(花壇の整備) | 飲料水検査 プール水検査 屋外環境美化生活(P.T.A.・生徒合同美化活動) | 校舎内外環境検査 | 運動場の危険物除去 校舎内外の清掃美化 | カーテンの点検 環境管理関係施設設備の更新・新設 についての予算要求資料の作成 | 校舎内外の環境点検 | 大掃除 ストープの管理と換気 | 教室環境衛生検査(健康・二酸化炭素) ストープの管理と換気 | 初、イスの適性検査(2回目) ストープの管理と換気 | 大掃除 | |
| 心身の管理 | | 健康診断実施計画作成 健康観察計画 要保護生徒の把握(共通理解) | 健康診断取りまとめと事後措置 要保護生徒の指導 | 予防接種 健康相談 食中毒の予防 熱中症の予防 | 疾病未治療者への報告と指導 水泳不適格者の指導 日射病の予防 | 夏休み中の疾病事故調査 身長・体重測定 健康相談 | 視力検査 目の愛護PR | 手洗い、うがいの励行 | 冬季健康観察の強化 | インフルエンザの予防 身長・体重測定 健康相談 健康観察強化 | 健康観察強化 駅伝参加生徒の健康管理 | | |
| 生活管理 | | 基本的な生活習慣の定着 | 修学旅行時の保険対策 | 食生活アンケートの実施 | 水泳時の健康管理 夏休みの生活 | 体育祭の健康安全 | 視力低下者の受診 杖の把握 | 感染症の予防 | 生活リズムしらすべの実施 冬休みの生活 | 昼休み戸外運動の励め | 休み時間の過ごし方指導 | 春休みの生活 | |
| 保健指導 | | 健康診断の受け方の回り方の清潔、整頓 | 健康診断の事後指導 生活リズムについて | むし歯や歯周疾患の予防 食中毒の予防 梅雨時の健康 | 夏休みの健康生活 水泳時の保健指導 | 夏休みの生活反省 運動時の事故防止 | 目の健康 正しい姿勢 バイキング給食について | 感染症の予防(手洗い、うがい) | 冬休みの健康生活 冬に備えて衣服の調整をする | 受験期の健康管理 インフルエンザの予防(うがい) | 姿勢と健康 健康観察強化 性に関する指導 | 健康生活の反省と課題 アレルギ性疾患の予防 | |
| 保健教育 | | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) | 「心身の発達と心の健康」(12時間) 「心の発達と心の健康」(16時間) 「傷害の予防」(16時間) 「健康な生活と環境」(16時間) |
| 保健学習 | | 14 24 34 | | | | | | | | | | | |
| 生徒保健委員会 | | 組織作りと採り活動の決定 年語画の作成 健康観察(毎朝) | 修学旅行中の健康観察 保健だより | むし歯予防の広報活動(8020運動) 手洗いの励行 保健だより | 夏休みの健康安全対策 保健だより | けがの防止についての取り組み 保健だより | 目の愛護についての取り組み 文化祭での発表 保健だより | 感染症予防の取り組み 保健だより | かぜの予防についての取り組み 保健だより | インフルエンザ予防の取り組み(手洗い、うがい) 保健だより | 性についてのアンケート 保健だより | 1年間の反省 今後の課題 保健だより | |
| 地域保健委員会 | | 事前打ち合わせ(地域学校保健委員会設置と協議事項・構成員) | 事前打ち合わせ(地域学校保健委員会設置と協議事項・構成員) | 食生活アンケート 開催文書発送 調査とりまとめと資料作成 | 第1回地域学校保健委員会 | 第1回地域学校保健委員会 | | | 事前打ち合わせ(追跡調査と協議事項・役割分担) | 食生活追跡調査 調査とりまとめと資料作成 開催文書発送 | 第2回地域学校保健委員会 | 本年度の反省と今後の課題について協議(各学校の代表) | |

～性行動に対する賢明な意志決定や行動選択力を身につけ、 エイズとともに生きる生徒の育成をめざして～

熊本県立宇土高等学校

1 学校紹介

1) 本校の概要

本校は、熊本県のほぼ中央に位置し、創立83年目の全日制普通科高校である。生徒数は1039名で98%の生徒が上級学校に進学している。創立以来の綱領「質実剛健」の精神と80有余年の伝統を継承し、生徒一人ひとりの個性を伸ばしながら知・徳・体の調和がとれ、自ら行動し、逞しく生きる力の養成に努めている。そのため、全職員は一丸となって『情熱』と『愛情』そして『厳格』な態度で教育に徹し、地域に根ざした学校づくりをめざして次の目標を定めている。

- 基本的な生活習慣の確立を図る
- 逞しく生きるための基礎学力の向上と進路指導の充実を図る
- 部活動の振興と強化を図る
- 人権同和教育の推進を図る
- 地域に根ざした活力ある学校づくりを図る



グリーンクリーン活動

| | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 合 計 |
|------|-------|-------------|---------------------------------|---------|
| 生徒数 | 3 2 6 | 3 6 3 | 3 5 0 | 1 0 3 9 |
| クラス数 | 8 | 文系 6 ・ 理系 3 | 文 I 3 ・ 文 II 3 ・ 理 I 1 ・ 理 II 2 | 2 6 |

※出身中学校が20数校と広範囲のため、下宿生（49名）・寮生（43名）の割合も高い。



体育祭演舞



部活動行進の様子



赤ちゃんとのふれあい体験

2 実践の記録

1) エイズ（性）教育の目標

- ①生徒自身にエイズに対する知識を身につけさせる。
- ②生徒自身に正しい価値観を身につけさせ、性に関する責任ある意志決定や行動選択ができる生徒を育成する。
- ③主体的な判断により適切に行動することで偏見や差別をなくし、心豊かで、お互いを認め合い、助け合う社会をつくることのできる生徒を育成する。


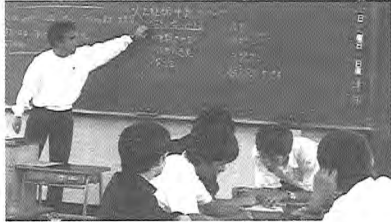
2) エイズ（性）教育の実際


① LHR

テーマ

| |
|-----------------------------------|
| 1年：思春期における性の特徴 |
| 2年：自分とは異なる特徴を持った人への理解と共生 |
| 3年：望ましい性行動の意志決定と性行動の選択ができる生徒をめざして |

平成13年度年間計画

| | | 第1回 | 第2回 | 第3回 |
|----|------|--|---|--|
| 1年 | 指導計画 | 性教育の必要性について 「冬の銀河」観劇 | 性感染症について VTR視聴 | エイズの正しい理解のために まとめ |
| | ねらい | なぜ、今性教育・エイズ教育が必要なのか知らせる 男女における青年期の身体面・精神面の特徴について考える | VTR「10代の女性が危ない」を視聴し、性感染症について正しく理解する | エイズの疾病概念・感染経路・予防法等必要な知識を理解する |
| 2年 | 指導計画 | エイズの正しい知識理解の確認 「冬の銀河」観劇 | 望ましい性行動の意志決定や行動選択力について 「エイズに関する指導の手引き」より | 共感・共生・まとめ 感染者の方との交流 |
| | ねらい |  観劇し、エイズが人々に何をもたらしたのかを考える エイズに関する正しい知識を確認する | 「アリソン・ガーツさんに学ぶこと」を読んで、望ましい性行動のあり方とは何かを考える  | 感染者の方との交流会を通して 感染者の方の思いを知り、受け止めることによって、共生とは何かを考える |

| | | | | |
|--------|------|----------------------------|--|---|
| 3 年 | 指導計画 | エイズの正しい知識理解の確認 「冬の銀河」観劇 | 共感・共生・まとめ 「秋桜」鑑賞 |  |
| | ねらい | 観劇し、エイズが人々に何をもたらしたのかを考える | 「秋桜」を鑑賞し、エイズ感染者を取り巻く問題点を明らかにし、今私たちに何ができるのか、どのようにすれば共生できるのかを考える | |

②教科活動

ア 保健

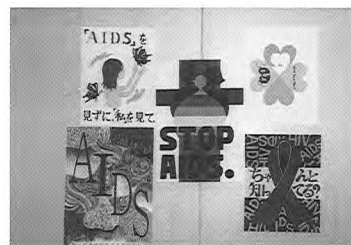
各自の課題解決力を高めることを主眼に、「課題学習」（1、2年生対象）を実施。まとめとして各クラスで発表会も行った。

イ 家庭

「ABCキルト」の製作（1年生）

「母子感染」や「子どもの権利条約」の学習（2年生）

ウ 美術・・・ポスター制作



③生徒の自主的な活動

ア 生徒保健委員会

【平成13年度の活動状況】

☆エイズ学習班との共同による ABC キルトの作成継続

☆エイズ（性）に関する情報コーナー設置

☆文化祭参加（教科「保健」課題学習・エイズ学習班共同）

テーマ「感染症を考える」

- ・エイズ、ハンセン病に関する展示発表
- ・ABCキルト趣旨説明及び製作、作品展示
- ・レッドリボン趣旨説明及び運動
- ・性感染症に関する特集番組、ルーマニアのエイズ孤児に関する番組放映
- ・フリーマーケット（アジアやルーマニアのエイズ孤児支援活動）

☆世界エイズデー関連企画／レッドリボン運動



イ エイズ学習班

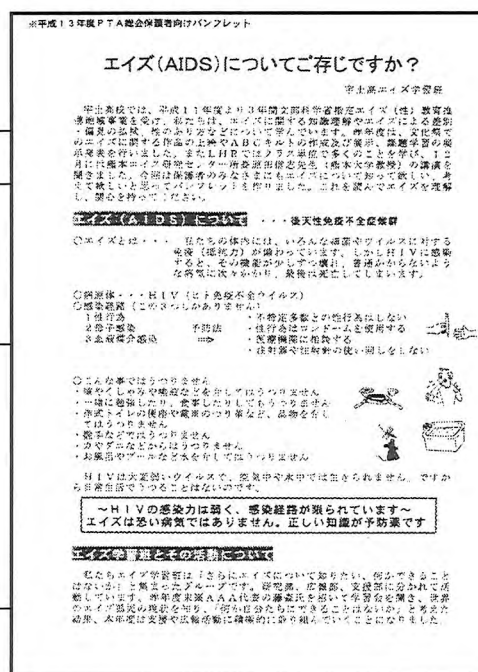
平成12年度、教科「保健」やLHRにおいて積極的にエイズ教育や性教育に取り組んだところ、「もっとエイズについて知りたい」、「エイズのことを知ってほしい」、「エイズで苦しんでいる人々の力になりたい」という生徒たちが集まり、『エイズ学習班』が編成された。



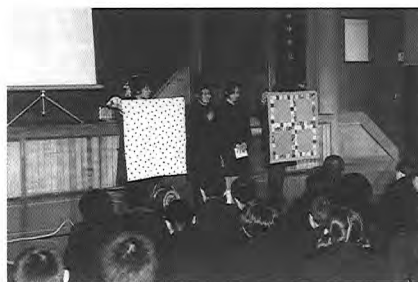
学習会の様子

平成13年3月、ルーマニアのエイズ孤児のことをもっと知りたいと、AAA代表の藤森氏を講師に招き学習会を開催した。その結果、「できることを、できるときに、できる範囲で」をモットーに自主的な活動を行うことになった。スタート当時の参加者は34名、現在は50名余りで、「研究部」、「広報部」、「支援部」の3つのグループに分かれ、連絡を取り合いながら活動をしている。

| | 活動内容 |
|-----|---|
| 研究部 | <ul style="list-style-type: none"> ○エイズの知識理解 ○全校生徒および保護者への研究発表 ○近隣中学校への研究発表 |
| 広報部 | <ul style="list-style-type: none"> ○学習班の意識調査等 ○保護者への広報活動（パンフレット） ○全校生徒への広報活動 ○地域への広報活動（課題学習展示・パンフレット） |
| 支援部 | <ul style="list-style-type: none"> ○エイズ孤児へのABCキルト製作 ○募金活動、古着等の収集及びルーマニアへの輸送 ○フリーマーケット販売品の製作及び収集 |



文化祭での発表



近隣中学校での広報活動の様子



平成13年度エイズ学習班活動報告

昨年度は、いろいろな活動を
行いました。

1. PTA総会での広報活動
2. 桐田中学校での広報活動
3. エイズ研究発表会でのエイズ学習班の取組み
4. 鶴城中学校での広報活動
5. 5月 守土シテの募金と広報活動
6. 12月 守土シテの募金とレイトライブ活動
7. 文化祭での研究発表及びフリーマーケット
8. キルト作成 (2枚のキルトが完成しました)
9. 古着の収集と輸送



多くの皆さんに御協力いただき
ありがとうございました。

今年度の活動内容

今年も「やる事は、やること、やる範囲で、
をモットーにがんばります。

1. 守土シテの募金活動
2. 周辺中学校での広報活動
3. 他校との交流
4. 文化祭での研究発表及びフリーマーケット
5. キルト作成 (アジアのエイズの予防ポスター)
6. 古着収集と輸送
7. 学校内での募金活動
8. 地域への啓発活動



ルーマニアの子供達と 送られてきた絵



● 支援活動を通して ●

活動を始めたころは、私たちが何ができるのか戸惑い、不安もありましたが、古着収集や募金活動で地域の方々の温かさに触れ、活動を続けていくことができました。人とのつながりや地域とのつながりの大切さを改めて感じました。これからも みんなでがんばります。

3 成果と課題

エイズ（性）教育の実践により、3つの目標についてかなりの成果がみられたことから、さらに継続した取り組みができるよう、平成14年度の取組みと課題を以下のようにした。

1) 年間計画

| | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
|----|---------|-----|------------|
| 1年 | 性教育の必要性 | 講演会 | 性感染症について |
| 2年 | エイズについて | 講演会 | 感染者の方との交流会 |
| 3年 | 秋桜（2時間） | 講演会 | |

※講演会（下記のアイウをローテーションする）

ア 性（エイズ）教育講演会

イ 薬物乱用防止教育講演会

ウ その他の健康教育講演会または「冬の銀河」鑑賞

2) 課題

①エイズの予防に対して、知識が曖昧なところが一部認められるため、更に正しい知識を深めさせる必要がある。

②性教育に対して、職員間の共通理解を更に深める必要がある。

③性教育をはじめ、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等、心身の健康教育の時間を確保する必要がある。

《資料》

1 エイズ学習班発表内容例

PTA 総会で発表後、保護者より依頼があり、近隣の中学校で発表を行った。

あり、中学生向けに一部変更し、宇土市立網田中学校で発表を行った。



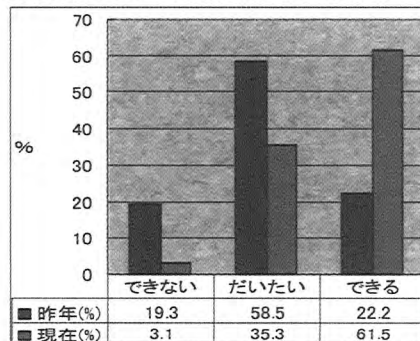
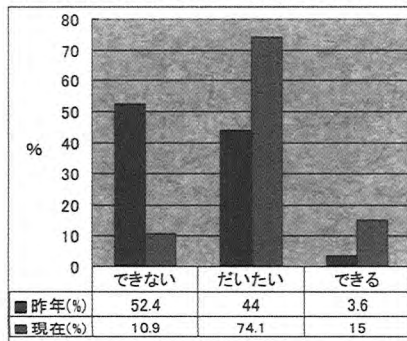
網田中学校での発表を終えて

初めは網田中学校で発表させてもらえるとは考えてもみなかったのに、すごく驚きました。でも、一生懸命にやってきた活動が評価していただけたのでとてもうれしく思いました。PTA総会での発表を終え、啓発活動の難しさや面白さを感じていたのもっと多くの人に知ってほしいという欲を持って取り組みました。網田中学校で、私たちがまいた種がしっかりと根づき、広がっていきたくて願っています。

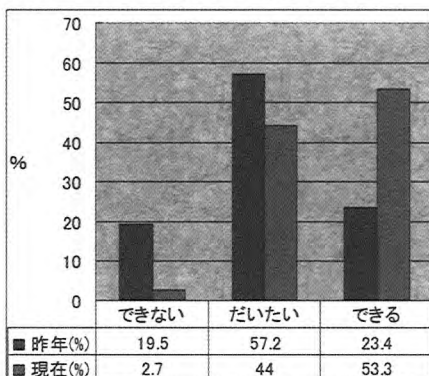
2 生徒対象アンケート

1 生徒アンケート調査結果 (平成13年3月1・2年生対象実施 昨年と今年を自己比較)

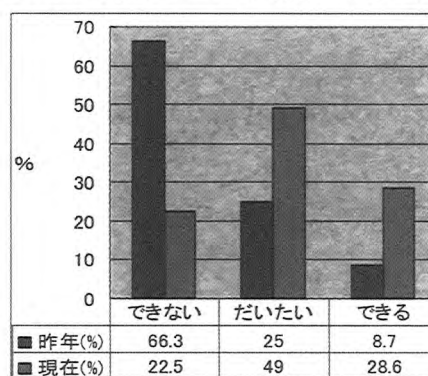
1 エイズウイルスについて説明ができますか。2 感染経路について説明ができますか？



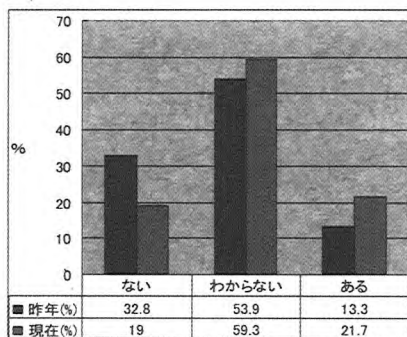
3 予防法について説明ができますか。



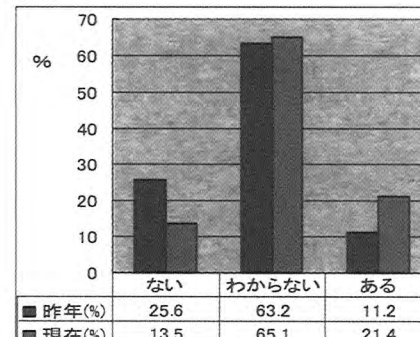
4 HIV とエイズの違いについて説明ができますか？



5 将来HIVに感染する可能性はあると思いますか。

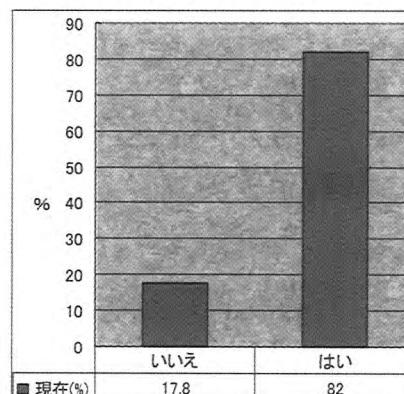
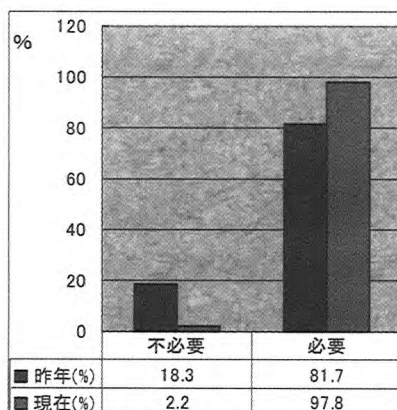


6 性感染症に感染する可能性はあると思いますか。



7 エイズ教育の必要性はあると思いますか。12 エイズについて今後知識を深めたり

支援活動を行いたいですか。(平成12年度)



平成13年度エイズ学習班活動報告

○PTA 総会時に保護者に対して研究発表（パワーポイント使用）を行うと同時にパンフレットを配布した。

発表内容はエイズの起源、HIV 感染とその予防、エイズ孤児について取り上げたものであった。保護者からは「エイズという病気は知っていたが、その内容については知らなかったので大変勉強になった。」「子どもたちの知識の深さに驚いた。」などの感想が寄せられた。

○PTA 総会での発表を聞いた保護者から「ぜひ中学生に発表をしてほしい」との要請があり、中学生向けに一部変更し、宇土市立網田中学校で発表を行った。その後さらに宇土市立鶴城中学校でも実施した。生徒たちは、発表の機会が広がったことを大変喜ぶと同時に、知識の正確な伝達に責任を持たなければならないなど、多方面から物事を考えるようになった。

○広報・支援活動として、5月のゴールデンウィークと12月に、宇土シティ玄関ホールにて、パンフレット配布及び掲示物、ABC キルトの展示を行った。また、ルーマニアやアジアのエイズ孤児の現状について紹介し、地域の人々の理解と協力を求めた。その結果集められた衣類を学習班全員で整理し AAA（埼玉県）に送り、ルーマニアへの輸送をお願いした。

○文化祭では、全校生徒対象に「エイズを通して学んだこと」という内容で研究発表（パワーポイント使用）を行った。学習班で企画運営した活動を通して何を考え、何を学んだか、そしてこれからどのようにあるべきかを全校生徒に投げかけた。また、エイズ孤児のための募金活動の一環としてフリーマーケットを開催した。その中には生徒の手作りによる品物も数多くあった。

Ⅲ 特別奨励校

<高等学校>

生徒が主体的に取り組む健康教育

東京都立九段高等学校

1 本校の概要

本校は、大正13年、第一東京市立中学校として創立されて以来80年の歴史を刻み、多彩な人材を各界に輩出してきた。開校当初から「全人教育・生活教育」を教育理念として掲げ、知・徳・体の三位一体の全人教育を目指してきた。開校からの教育目標を継承しつつ、常に今日的課題にあった教育を推進してきた学校である。

特に、健康・安全教育に関わるものでは、大正14年に柔道場兼食堂を建設し、学校給食の先駆けともいえる「栄養給食」を開始している。また、昭和2年の至大荘の建設によって開始された臨海行事が、現在も継続されている「至大荘行事（游泳訓練）」である。

平成13年度から、心と体の健康づくりをテーマに取り組んでいる「健康教育週間」は、学校・家庭・地域が連携して行う健康教育の先進的な実践として高い評価を得ている。



2 学校経営における健康教育

本校教育のキャッチフレーズは「三つの満足（授業、行事・部活動、進路）」であり、教育活動全体を通じて、生徒が自らの未来を、自ら切り開く能力を身に付けることをめざしている。その中で、本校は、創立時より建学の精神・教育目標に「健全な心身の錬磨」を掲げており、心と体の健康づくりは自己実現の基盤となるものとして重視している教育活動である。



学校経営方針に「学習指導と分掌指導の機能的な連携を充実させ、心身の健全育成に向けて特別活動の一層の充実を図る」を掲げ、教科・分掌指導の重点に健康・安全教育を位置付け組織的な指導を推進している。

学校経営計画には、「体育祭・文化祭をはじめ、至大荘行事（游泳訓練、学習合宿）、健康教育週間の組織的な運営によって生徒の主体性をはぐくみ、自己実現への意欲を向上させる」、「学校、家庭、地域がより緊密に連携し、生徒が主体的に自ら企画し、運営に関わるとともに自己の課題をもって参加する健康教育週間を創る」を掲げている。

健康・安全教育活動は、年間計画を作成し、日常活動はもとより本校の特色ある学校行事「健康教育週間」や「至大荘行事（游泳訓練）」、体育祭など各行事や特別活動の事前指導に重点を置き、PDSを踏まえて実施している。

また、教職員の指導力の向上、カウンセリングマインドの涵養、新しい情報の共有化を図るための校内研修を位置付け、生徒が主体的に健康・安全の課題に取り組めるよう配慮している。

3 学校保健（安全）計画

学校保健（安全）計画は、「ヘルスプロモーションの考え方に基づき、組織的な活動を通して生徒の心身の健康の保持増進を図る」保健計画と、「至大至剛の精神に基づき、生徒の自主的で主体的な活動を身に付ける」安全計画により特色ある学校行事の充実と発展を目指して立案している。

生徒の健康・安全については、課題を明確にするために「健康実態調査」を毎年実施し、前年度の結果や東京都のデータと比較・分析して、学校保健（安全）計画に生かしている。「健康実態調査」は、保健委員会活動の一環として行い、分析結果を生徒に周知し啓蒙活動を行っている。

4 健康教育の推進体制

1) 健康教育の推進組織

健康教育を推進する中心的な組織は保健部である。保健部の構成は、保健部長・保健部教諭・学校医からなり、医療機関との緊密な連携体制をとっている。特に、保護者や地域と強い連携をもっており、保健部とPTA広報委員会が、健康・安全教育に関する調査・分析の情報を保護者に提供するなど、学校の活動を積極的にサポートしている。また、「健康教育週間」においては、千代田区との共催を含め、地域の人材活用、保護者参加を進めるなど、家庭・地域との連携が進んでいる。

2) 学校保健委員会

学校保健委員会は学校運営連絡協議会と一体化して開催している。生徒の健康実態や健康課題の把握、健康教育週間の提案などについて年に3回行っている。また、学校施設・設備・学習環境の整備状況を常に点検し改善に努力している。

学校保健委員会の成果として、保護者や同窓会・地域との連携がさらに密になり、健康教育週間への参加や講師派遣などの協力が得られるようになった。

3) 校内研修会

- ①例年、クラブ合宿の事前指導として生徒と教員を対象に「熱中症予防講座」を実施している。
- ②養護教諭だけでなく、すべての教員が心の問題に対応できるよう、平成13年に「今、学校できること」をテーマに都立梅ヶ丘病院院長（精神科医）による研修会と事例検討会を行った。
- ③至大荘行事を始め体育的行事の事故防止のために、平成14年に「学校生活を安全に過ごす」をテーマに実践女子短期大学教授による研修会を行った。

5 健康教育の推進

1) 心の健康

① エンカウンターを使った自己紹介

入学当初は友達ができにくいという課題に対応して、新入生対象にエンカウンターを使っ自己紹介を行っている。学年全体で行った後、担任がクラスでも実施することにより、課題を解決することができた。

② ピアサポート体制

養護教諭の指導のもとで、上級生が下級生の相談にのるピアサポートを行っている。学校生活で起きる様々な問題を相談することで、心の問題を抱えている生徒の支援や励ましになるばかりでなく、相談を受ける生徒の「心」のトレーニングにもなっている。

③ ケース会議

生徒の心の問題を共通理解するために、管理職をはじめ、学級担任・学年・養護教諭・その他の関係教職員や保護者と連携してケース会議を実施し、情報交換を行っている。必要に応じて主治医や専門家の意見を参考にしながら、日々の指導にあたっている。

2) 至大荘行事

至大荘行事（游泳訓練）は70年余りの伝統ある行事である。この行事を通して、生徒は自らの課題に挑戦し、それを貫徹する精神を鍛える場であるが、同時に、安全管理の重要性とその進め方を示す点で、本校における健康・安全教育の基盤となる行事である。

① 健康・安全指導

《事前指導》

健康・安全指導は、事前指導から始まる。体育の実技指導では、自分自身で健康管理を行うことや、一人一人が設定した目標に向けて泳力向上を図ることを目指している。健康に関する指導も、5月の事前健康調査から始まる。身体状況や既往症などに加え、心配事や配慮事項についても詳細に生徒本人と保護者が記入する。学校記入欄には、担任や体育担当教員の意見に加え、定期健康診断結果や養護教諭の意見も記入した上で、学校医が生徒全員の健康診断を行い、診察所見を記入する。その結果をもとに、管理職・担任・体育科・保健部など関係者全員と学校医によって判定会を実施し、健康面や心のケアを含め、一人一人の生徒について参加審査と配慮する内容について検討を行う。

《現地での指導》

期間中は、24時間体制で健康管理を行っている。毎日3回のミーティングでは、游泳部、保健部、医師・看護師により、一人一人の健康や体調、心の問題を検討し、留意点を周知する。実技訓練は綿密な計画により行い、生徒の安全管理には細心の注意を払う体制ができています。

② 至大荘行事の成果

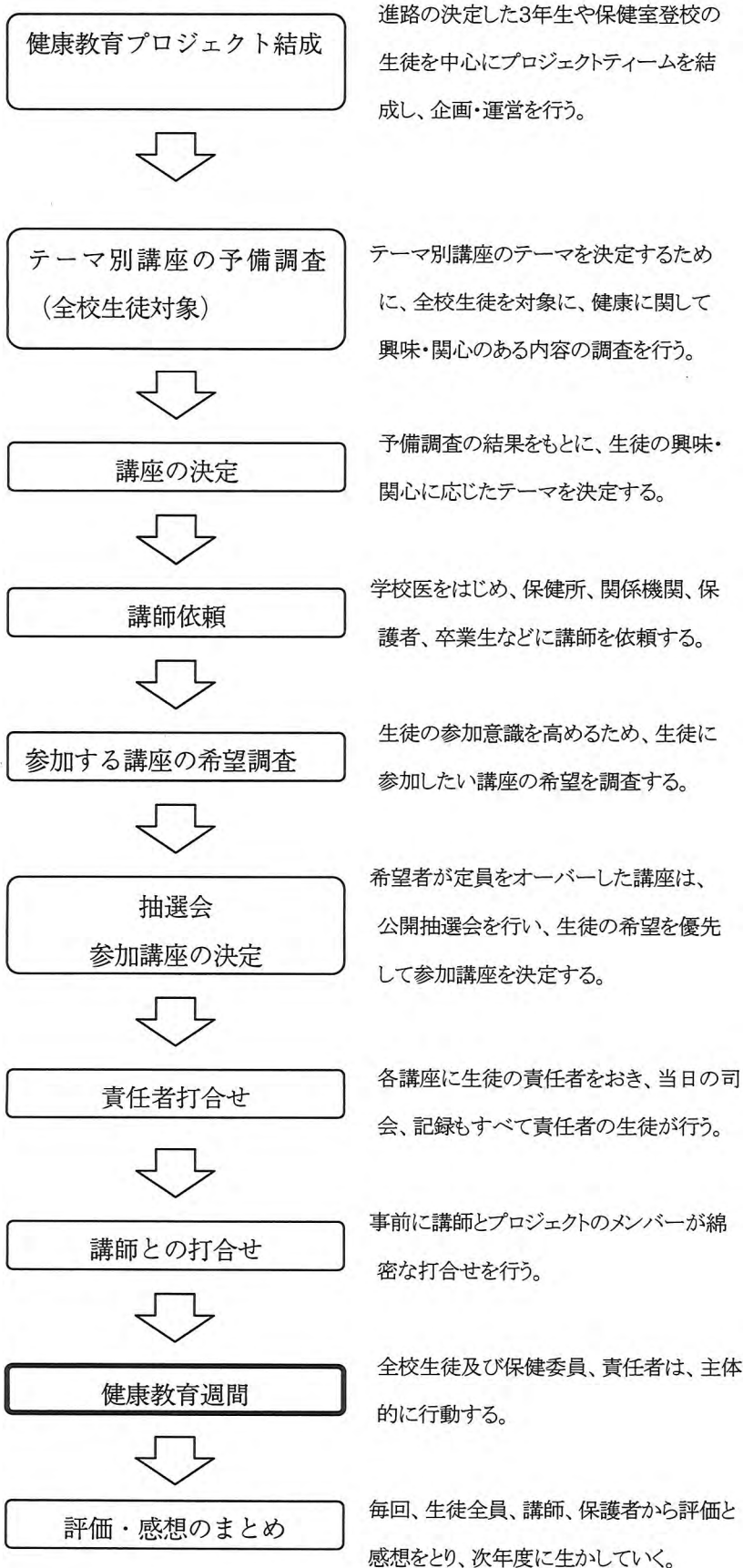
生徒が自己管理の重要性を認識し、その後の行動や日常の健康管理の面での変容がみられる。自己の健康（安全）管理を徹底させる事前指導と活動の成果は、他の学校行事における健康管理に生きている。

3) 健康教育週間

平成13年度から本校では、生徒が主体的に取り組む健康教育週間－心と体の健康づくり－に取り組んでいる。

健康教育週間は、企画・運営を行う健康教育プロジェクトと、保健委員会が協力し、全校生徒を対象とした健康教育を行っている。平成14年度の内容は、心と体のテーマ別講座（20講座×2日間）、対話式性教育、講演会、および保護者を対象とした講演会である。講師は、学校医をはじめ、保健所や関係機関の協力により、のべ75名の方にボランティアで参加していただいた。

① 準備から当日までの進め方



保健委員会



講師依頼



抽選会



責任者打ち合わせ



講師との打ち合わせ

② テーマ別講座のテーマと講師

| テーマ | 講師・協力者 |
|--------------|---------------------|
| 1 心理テスト | 本校保護者（専門学校講師） |
| 2 マンスリービクス | 日本助産師会 |
| 3 歯の健康 | 学校歯科医 |
| 4 医薬品 | 学校薬剤師 |
| 5 エイズ | AIDS&society 研究会議代表 |
| 6 薬物乱用 | 千代田区薬剤師会 |
| 7 ツボ健康法 | 本校職員 |
| 8 救急法 | 消防署職員 |
| 9 ダイエット | 本校卒業生（養護教諭） |
| 10 ビタミンと健康 | 大塚アカデミー講師 |
| 11 スポーツチャンバラ | 本校体育科講師、本校卒業生 |
| 12 喘息 | 学校医（内科） |
| 13 妊娠・出産 | 日本助産師会 |
| 14 食と健康 | 栄養士 |
| 15 健康ダンス | ダンスインストラクター |
| 16 健康増進 | 保健所栄養士 |
| 17 感染症 | 保健所医師 |
| 18 子育て | 保健所保健師 |
| 19 健康チェック | 医師 |
| 20 男女交際 | 大学生 |
| 21 スポーツとビタミン | 大塚アカデミー講師 |
| 22 血液の病気 | 赤十字センター医師 |
| 23 喫煙と健康 | 産業医 |
| 24 音楽療法 | 大学助教授 |
| 25 花粉症 | 学校医（耳鼻科） |
| 26 STD | 日本助産師会 |
| 27 心の健康 1 | 大学生 6 名 |
| 28 心の健康 2 | 大学生 8 名 |
| 29 十代の性 | 保健所保健師 |
| 30 コミュニケーション | DV行動変容プログラムファシリテーター |
| 31 健康をつくる歩き方 | 大学助教授 |



マンスリービクス



薬物乱用



ツボ健康法



スポーツチャンバラ



喘息



健康ダンス

③ 評価と感想

毎回、参加した生徒全員と講師、保護者から評価と感想をとり、終了後「健康教育週間を終えて」という冊子を作成する。実施後の反省をもとにして、次年度の計画を立てる。

〈生徒の感想の一部〉

- 健康増進 : 今の生活では将来病気になると思ったので、食事や運動など自分で気をつけられることはやっていきたいと思う。(2年女子)
- 感染症 : どんな病気でもかかった後でなく、かかる前に予防するために、普段から健康に気を付けて過ごしていないといけないと思いました。(2年男子)
- 心の健康 : 相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを伝える大切さを学ぶことができました。(2年女子)
- 薬物乱用 : 今まで何回も薬物の授業を受けたけど、知らないことがたくさんあった。役に立った。(1年男子)
- アルコール : お酒を飲むか飲まないかは、20歳以上になったら自由だけれど、自由だからこそ自分で責任を持つことが大切だと思います。(1年女子)
- 対話式性教育 : 自分の体は自分で守らなければいけないと思いました。(2年女子)

〈講師の感想の一部〉

- ・ 高校生の皆さんや先生方が熱心に聞かれていたので、私たちもとても楽しく勉強させていただきました。これからもこの企画を続けて、今から健康な体作りをしていってください。
- ・ 様々な角度から健康について考えていて良いと思いました。今後も続けていき、多くの知識を身に付けてください。
- ・ この様な企画は大変良いと思います。高校生の時に、いろいろ知識を得ることは大変良いことと思います。

〈保護者の感想の一部〉

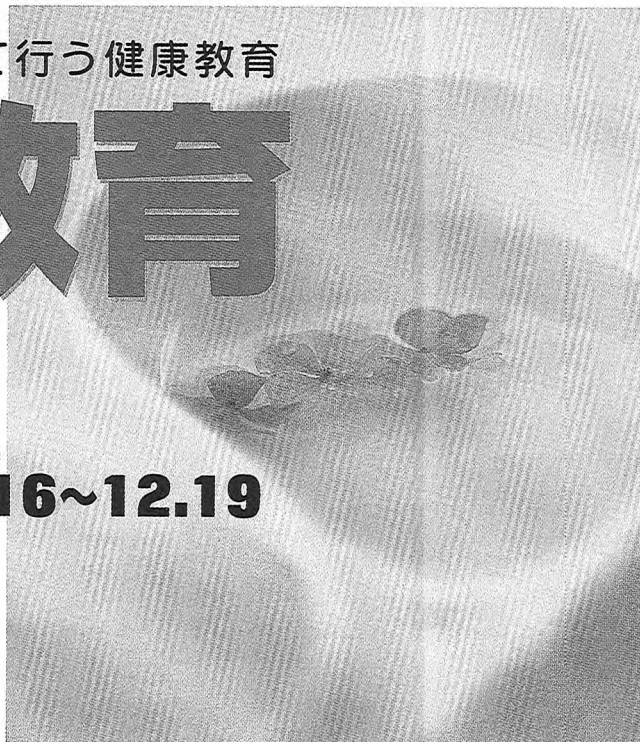
- ・ 今日は良いお話が聞けて、とても参考になりました。毎日、いろいろありますが、しっかり子どもと向き合っていきたいと思います。
- ・ 高校生の心のみならず、大人の我々にも考えさせられる問題が多く、とても良い講演でした。
- ・ 高校生を抱えた保護者にとって、いずれも気になることばかりでした。子育てに物差しがないので、今回のようなお話を伺い、自分の家はどうか、子ども達はどうかと考える機会となりました。

学校・家庭・地域が連携して行う健康教育

健康教育 週間

2002.
12.16~12.19

東京都立九段高等学校



12月16日(月) 10:40~12:00

心と体のテーマ別講座

対象:1・2学年生徒全員、3学年の希望者

- テーマ 20講座
食と健康/健康増進/健康ダンス/
喘息/救急法/男女交際/心理テスト/
健康チェック/妊娠・出産/子育て/
医薬品/歯の健康/マンスリーピクス/
ツボ健康法/ダイエット/感染症/
薬物乱用/エイズ/ビタミンと健康/
スポーツチャンバラ

- 講師 学校医 丸茂一義 先生 他23名
学校医/学校歯科医/学校薬剤師/医師/保健師/助産師/
栄養士/薬剤師/救急隊員/専門学校講師/医療系学生/
ダンスインストラクター/本校保護者/本校職員/卒業生

- 会場
教室(1-1~2-7) / 308教室/和室/柔道場/
剣道場/社会科教室/多目的ホール/体育館

◆◆◆

12月16日(月) 14:00~16:00

講演会

対象:保護者

「心の問題を抱えた子どもへの対応」
— 今、家庭でできること —

- 講師
都立梅ヶ丘病院 院長
精神科医 佐藤泰三 先生

- 会場 多目的ホール

12月18日(水) 10:40~12:00

講演会

対象:1学年生徒全員、保護者

「思春期におよぼすアルコールの害」

- 講師
国立療養所九里浜病院 臨床研究部長
精神科医 樋口 進 先生

- 会場 多目的ホール

◆◆◆

12月18日(水) 10:40~12:00

対話式性教育

対象:2学年生徒全員

- 講師
至誠会第二病院 産婦人科部長
助産師 田中幾子 先生 他14名

- 会場
教室(2-1~2-7) / 308教室/会議室/音楽室/
被服室/社会科教室/生物室/物理室/工芸室

12月19日(木) 10:40~12:00

心と体のテーマ別講座

対象:1・2学年生徒全員、3学年の希望者

- テーマ 20講座
歯の健康/花粉症/医薬品/喫煙と健康/
音楽療法/ツボ健康法/救急法/エイズ/
心理テスト/薬物乱用/マンスリーピクス/
血液の病気/スポーツとビタミン/
心の健康1/心の健康2/ダイエット/
STD/10代の性/コミュニケーション/
健康をつくる歩き方

- 講師 学校歯科医 中村泰士 先生 他33名
学校歯科医/学校医/学校薬剤師/産業医/医師/保健師/
助産師/薬剤師/大学助教授/救急隊員/専門学校講師/
医療系学生/本校保護者/本校職員/卒業生

- 会場
教室(1-1~2-7) / 308教室/和室/柔道場/
音楽室/社会科教室/生物室/多目的ホール



企画・運営: 保健部、保健委員会、健康教育プロジェクト

21世紀・新しい時代の健康教育推進学校の実践

— 第1集 —

平成15年10月31日 発行

発行者

財団法人 日本学校保健会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目3番17号

虎ノ門2丁目タワー6階

☎03(3501)3785・0968

印刷所

一世印刷株式会社

健